

平成27年度

事業報告書

社会福祉
法人 中日新聞社会事業団

はじめに

「社会福祉法人中日新聞社会事業団」は本部並びに北陸、東海、東京、岐阜の4支部及び児童福祉施設（所在地：愛知県日進市）の「中日青葉学園あおば館」、情緒障害児短期治療施設「中日青葉学園わかば館」の運営など幅広い活動を行っている。

当法人は児童福祉施設を運営していることもあり、児童福祉施設やファミリーホームなどの行うイベントなどに対する支援を柱とし、障がい者や高齢者福祉事業などへの支援も行っている。また、地域性やニーズに対応し、支部独自の事業を展開もしている。

発生から5年が経過した東日本大震災への義援金や復興支援金もまだまだ続いており、それに加え27年度は、国内外問わずネパール地震、関東・東北水害、台湾地震と多くの災害に見舞われ、「災害援護事業」も大きな事業展開となった。

支援や事業実施を行うための財源として寄付金の減少を食い止めるべく、情報発信と紙面での告知などに力も入れ、わずかではあるが、減少から現状維持となっている。

この場をお借りして、ご支援、ご協力をいただいている皆様方に感謝を申し上げ、今後、より一層のご理解を賜ることをお願いし、独自性を活かしながら皆様方のご期待に添うよう社会福祉法人としての社会的使命を果たしていく所存である。

平成28年5月
社会福祉法人 中日新聞社会事業団

中日新聞社会事業団の沿革

社会福祉法人中日新聞社会事業団は、昭和12年4月設立の新愛知新聞社会事業団、翌年設立の名古屋新聞善行会から始まり、社団法人中部日本弘徳会を前身とし、社会福祉法人中部日本新聞社会事業団を経て、昭和49年に現在の名称となった。昭和32年の事業団創立20周年を機に虚弱児施設の建設を決め、昭和35年、愛知県日進市に「中日青葉学園」の運営を開始した。

現在、施設経営のほか、本部、北陸・東海・東京・岐阜の4支部において年間件の主催、共催、後援事業を行っている。障害者や難病者の自立、社会参加への支援、生活保護家庭や施設入所児童の援助など地域福祉から災害地支援まで、幅広い社会貢献を行っている。

昭和18年7月	新愛知新聞社会事業団と名古屋新聞善行会が合併し、社団法人中部日本弘徳会を設立
昭和22年7月	社団法人「中部日本新聞社会事業団」を設立
昭和34年1月	沢井秀次氏と日進町岩崎区から土地(13,034㎡)の寄付を受ける
昭和35年4月	虚弱児施設中日青葉学園として児童定数30人、職員7人で事業開始
昭和35年7月	社会福祉法人「中部日本新聞社会事業団」として厚生省から認可
昭和37年1月	中日青葉学園を増築し、児童定数70人に増員
昭和49年6月	社会福祉法人「中日新聞社会事業団」と改称
昭和54年12月	中日新聞社会事業団北陸支部(金沢市)を設立
昭和57年3月	中日青葉学園は日本自転車振興会の補助と社会福祉・医療事業団から建設資金を借り入れ、全面改装
昭和58年11月	中日新聞社会事業団東海支部(浜松市)を設立
昭和59年12月	年末助け合い運動の一環として、美術品チャリティー販売の「第1回郷土の美術家100人展」を松坂屋本店で開催する
昭和63年3月	中日新聞社会事業団東京支部(東京都千代田区)を設立
平成10年4月	児童福祉法の改定により児童養護施設中日青葉学園となる
平成12年5月	中日新聞社会事業団岐阜支部(岐阜市)を設立
平成12年6月	「中日福祉ボランティア賞」(愛・三・岐対象)創設
平成14年10月	中国障害者芸術団を招聘し名古屋、岐阜、東京、札幌で7公演を行い、延べ13,000人を動員
平成15年10月	中日青葉学園の新園舎が竣工し、児童養護施設に情緒障害児短期治療施設を併設、複合施設として新たなスタート
平成18年3月	日本自転車振興会からの補助で小・中学校青葉分校新教育棟新築
平成22年4月	児童養護施設「中日青葉学園」創設50周年を迎える

〈主な災害義援金〉

☆阪神大震災義援金	平成7年1月18日～8月18日	84,104件	5,790,979,873円
☆東海豪雨災害義援金	平成12年9月24日～11月10日	2,209件	421,966,342円
☆新潟県中越地震義援金	平成16年10月25日～17年3月31日	7,865件	663,011,769円
☆新潟県中越沖地震義援金	平成19年7月17日～12月13日	1,490件	120,294,971円
☆中国・四川大地震義援金	平成20年5月14日～9月8日	1,569件	101,708,939円
☆東日本大震災義援金	平成23年3月12日～28年3月31日	93,503件	9,019,929,846円
☆フィリピン台風災害義援金	平成25年11月12日～26年3月7日	623件	24,019,977円
☆広島土砂災害義援金	平成26年8月22日～12月26日	802件	30,668,185円
☆台湾地震義援金	平成28年2月8日～29日	437件	4,619,465円

事業件数

	主 催	共 催	後 援	合 計
本 部	5	20	130	155
北 陸 支 部	4	1	3	8
東 海 支 部	8	0	10	18
東 京 支 部	1	1	6	8
岐 阜 支 部	16	5	19	40
合 計	34	27	168	229

寄付金収入一覧

(単位：円)

	本 部		北 陸 支 部		東 海 支 部		東 京 支 部		岐 阜 支 部		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一 般 寄 付 金	400	89,727,954	66	614,652	22	566,147	17	542,199	38	3,462,322	543	94,913,274
年 末 助 け 合 い	247	21,938,075	30	689,908	77	2,992,827	27	1,496,500	55	2,356,625	436	29,473,935
指 定 寄 付 金	191	30,497,371	17	135,000	16	596,561	87	4,782,263	133	5,632,936	444	41,644,131
災 害 義 援 金	1,732	72,779,006	44	1,371,913	123	6,112,198	819	30,556,304	89	3,057,360	2,807	113,876,781
合 計	2,570	214,942,406	157	2,811,473	238	10,267,733	950	37,377,266	315	14,509,243	4,230	279,908,121

主な災害義援金と指定寄付金

東日本大震災義援金

(平成23年3月12日～平成28年3月31日)

	件数	金額(円)
本 部	63,581	7,454,691,746
北 陸 支 部	1,856	81,553,340
東 海 支 部	5,973	489,428,755
東 京 支 部	7,145	195,167,436
岐 阜 支 部	14,948	799,088,569
合 計	93,503	9,019,929,846

東日本復興支援金

(平成26年8月11日～平成28年3月31日)

	件数	金額(円)
本 部	198	25,094,743
北 陸 支 部	0	0
東 海 支 部	5	86,149
東 京 支 部	49	3,971,217
岐 阜 支 部	127	3,738,284
合 計	379	32,890,393

※震災翌日からの合計金額

ネパール地震救援金

(平成27年4月28日～8月13日)

	件数	金額(円)
本 部	340	18,757,239
北 陸 支 部	6	101,408
東 海 支 部	15	897,199
東 京 支 部	75	1,368,500
岐 阜 支 部	27	809,498
合 計	463	21,933,844

関東・東北水害救援金

(平成27年9月11日～11月21日)

	件数	金額(円)
本 部	409	26,255,357
北 陸 支 部	9	80,000
東 海 支 部	41	1,876,634
東 京 支 部	431	15,249,852
岐 阜 支 部	53	1,063,138
合 計	943	44,524,981

本部(名古屋)

社会事業団本部では、各支部と緊密な連絡をとりながら、スムーズな運営に取り組んできた。また、中日新聞名古屋本社と連携し、平成27年度は155件に及ぶ福祉事業を主催・共催・後援をし、地域に密着した取り組みを行った。

◇社会福祉事業

(1) 児童養護施設等支援事業

・第13回スキー村（1月16日～17日・伊那スキーリゾート＝長野県）

児童同士の交流を深めることを目的に、愛知県内の児童福祉施設に入所の中学1、2年生を対象に1泊2日でスキー体験事業を開催した。児童29人と引率18人が参加した。

共催：愛知県児童福祉施設長会、
名古屋市児童養護連絡協議会



スキーを楽しむ子ども達

・第58回福祉施設「海の家」（7月21日～28日・篠島海水浴場＝南知多町）

心身の健やかな発達を促進することを目的に、名古屋市内の児童福祉施設、知的障害者支援施設の入所児童を招待する事業を支援した。6施設延べ120人の児童が参加した。

主催：名古屋市、
名古屋市児童養護連絡協議会



海で遊ぶ子ども達

そのほか、愛知県児童福祉施設長会や名古屋市児童養護連絡協議会などが主催する文化、スポーツ事業（音楽の集い、運動会など）に対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

(2) 第12回名古屋市老人福祉施設作品展

(11月11日～15日・名古屋市民ギャラリー矢田)

名古屋市内の老人福祉施設を利用しているお年寄りが趣味で制作した絵画、書、手芸作品など約3,500点を展示した。手作り体験コーナーや介護相談、福祉講演会などの事業も合わせて行い、会期中に延べ約6,000人が観覧した。

共催：名古屋市老人福祉施設協議会ほか

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

a. 児童

・交通遺児支援事業

「交通遺児のために役立てて」と個人や企業から寄せられた寄付金をもとに交通事故で親を亡くした子ども達を励ますために行う支援事業。東海交通遺児を励ます会が把握している遺児は東海三県で約500人。



これまでの体験をつづった作文を披露する交通遺児ら

7月：大相撲名古屋場所に招待

8月：サマーカヌーキャンプ
(滋賀県近江八幡市)

12月：交通遺児を励ます大会

3月：中学を卒業する交通遺児
を励ます集い

b. 障がい者

平成28年度から施行される障害者差別解消法についての講習会をはじめ、地域社会が障がい者の福祉の増進、理解および交流を深めるため、障がい者団体などが主催する文化、講演会、シンポジウム、研修事業などに対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

c. 高齢者

・第26回長寿社会フォーラム・長寿たすけ愛講演会2015 in 名古屋

(9月4日・ウインクあいち 大ホール)

健康で多様な生き方を選択し、かつどのようにしたら個性を発揮できるのかを探ることを目的に、長寿科学振興財団の祖父江逸郎理事長らの講演会を開催した。

共催：長寿科学振興財団、日本福祉大学、愛知医科大学、
東海テレビ福祉文化事業団

d. その他

・第7回福祉の星フォーラム (10月6日・国際センター)

「福祉」のイメージアップと福祉人材の確保を目指し「本音で語ろうあなたの『気』もち」をテーマに、講演会と現場で働く若者らによるシンポジウムを開催した。日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員・渡辺哲雄さんをコーディネーターに迎えディスカッションを行った。約250人が参加し、交流も深めた。

共催：愛知県社会福祉協議会、NHK厚生文化事業団



語り合う各分野のパネリスト

(2) 社会福祉の向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 児童

・第65回児童園遊会 (5月6日・東山動植物園)

児童福祉週間事業の一つとして、名古屋市内の生活保護受給世帯、母子生活支援施設等入所世帯、宿所提供施設の入所世帯の小学校1年生から3年生の児童と保護者の232世帯を招待した。

共催：名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

・母子寡婦福祉大会「中日賞」贈呈（愛知・岐阜・三重各県）

母子福祉向上を目指す母子寡婦福祉大会において、他の模範となる優良母子家庭の表彰として「中日賞」を岐阜（7月6日・岐阜市民会館）、愛知（11月3日・ウィルあいち）、三重（11月15日・志摩市阿児アリーナ）、各県2名、計6名に贈呈した。



愛知県の受賞者

b. 障がい者

・第53回特別支援教育展「きらめき展」（2月16日～21日・名古屋市博物館）

障害児教育への理解と認識を深めてもらうことを目的として開催。今回は「つなげよう みんなの思い」をテーマに名古屋市内の特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室など約300校で学んでいる児童・生徒らの個性あふれる作品約3,000点を展示した。

共催：名古屋市教育委員会、
同特別支援教育研究協議会



展示作品に見入る来場者

・第20回長良川ふれあいマラソン大会（10月4日・木曽三川公園）



高橋尚子選手と走る参加者

障がい者と健常者が共に参加し、ふれあいを図ることで、障がい者福祉についての関心を深めるマラソン大会を実施した。愛知、三重、岐阜の各県を中心に北陸、関東地区などから約1,000人が参加した。20回を記念して高橋尚子さんもゲストで大会を盛り上げた。

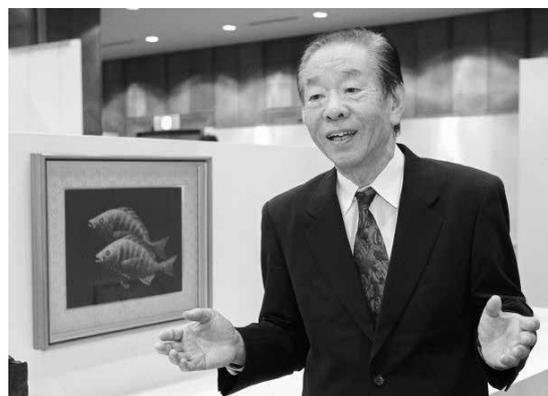
共催：長良川ふれあいマラソン実行委員会
連携：岐阜支部

c. その他

・年末助け合いチャリティー「第32回郷土の美術家100人展」

(12月8日～9日・松坂屋名古屋店南館 マツザカヤホール)

東海三県下で活躍する日本画、洋画、工芸、書の各部門の実力作家や、この地方にゆかりのある人気作家の最新作をチャリティー特別価格で販売した。また、昨年度に引き続き相国寺管長や清水寺貫主などの墨蹟部門も設けた。多くの美術愛好家にご購入いただき、地域の社会福祉のために役立てている。



作品について語る石垣種三さん

・助成を希望する公益事業に対する支援

▽第37回生活保護家庭の小中学生に「お年玉」を贈呈

12月下旬に愛知、岐阜、三重の各県と名古屋市に在住する生活保護家庭の小・中学生合わせて、6,779人に、各県市の福祉事務所を通じて「お年玉」(小学生1,000円、中学生2,000円)を贈呈した。
(昭和54年から継続)



目録を受け取る大村愛知県知事

	小学生		中学生		合計	
	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)
愛知県	1,319	1,319,000	758	1,516,000	2,077	2,835,000
岐阜県	286	286,000	191	382,000	477	668,000
三重県	743	743,000	422	844,000	1,165	1,587,000
名古屋市	1,960	1,960,000	1,100	2,200,000	3,060	4,160,000
合計	4,308	4,308,000	2,471	4,942,000	6,779	9,250,000

※年末助け合い運動(11月24日～12月28日)

寄せられた温かい善意は247件、21,938,075円に達し、この資金から支援をした。

▽第59回東海地区特別支援教育振興資金贈呈（6月26日・中日新聞名古屋本社）



特別支援教育研究5団体への贈呈

心身障害児や高機能自閉症児、学習障がい（LD）児らの教育研究、実践啓発活動を行っている愛知、岐阜、三重、静岡の各県と名古屋市の5つの特別支援教育研究団体に研究助成金として1団体20万円を贈呈した。

▽第44回難病者激励金贈呈

成田山名古屋別院大聖寺（犬山市）と同信徒団体「索（なわ）の会」から寄託された激励金（2,727,103円）を計18の難病者団体に贈呈した。愛知県8団体（9月3日）、岐阜県5団体（9月10日）、三重県5団体（9月17日）。



愛知県の8団体

県	団体名	県	団体名
愛知	NPO法人愛知県難病団体連合会	岐阜	つぼみの会 愛知・岐阜 岐阜支部 (日本小児糖尿病を守る会)
	愛知県筋ジストロフィー協会		岐阜県肝炎の会
	愛知心臓病の会 (全国心臓病の子どもを守る会愛知県支部)		岐阜県パーキンソン病友の会
	愛知県脊柱靭帯骨化症患者・家族友の会 (あおぞら会)		(公社)日本てんかん協会岐阜県支部
	つぼみの会 愛知・岐阜 愛知支部 (1型糖尿病の患者・家族の会)		日本ALS協会岐阜県支部(筋萎縮性側索硬化症)
	もやの会中部ブロック (もやもや病の患者と家族の会)	三重	NPO法人三重難病連
	NPO法人日本マルファン協会		日本リウマチ友の会三重支部
	全国膠原病友の会愛知県支部		三重もやの会
	三重県腎友会(腎臓病)		
			みえalsの会(筋萎縮性側索硬化症)

(3) 災害援護に関する事業

・東日本復興支援金

行政の支援の行き届かない東日本大震災被災地支援団体などを支援する「東日本復興支援金」を平成26年8月に創設。平成27年2月24日有識者による第三者配分委員会で配分先を決定。第2回目の配分として3月11日に下記6団体に贈った。

団体名	所在地
MPO法人MMサポートセンター	宮城県名取市
NPO法人アスイク	同県仙台市
山元町共同作業所「工房地球村」	同県山元町
NPO法人愛ネット高田	岩手県陸前高田市
NPO法人かまいし共生会「グループホームかみくり荘」	岩手県陸前高田市
NPO法人「居場所」創造プロジェクト	同県大船渡市

・東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対し、翌日の12日から義援金の受け付けを行い、本部に寄せられた義援金は、平成28年3月31日現在で63,581件、7,454,691,746円となった。他支部に寄せられた義援金と合わせて9,013,822,096円を各県に贈った。宮城（14回：4,741,625,000円）、岩手（14回：2,317,875,000円）、福島（13回：1,741,322,096円）、千葉（1回：1億円）、茨城（4回：113,000,000円）。

・ネパール地震救援金

平成27年4月に発生した地震災害に対し、本部に寄せられた義援金は340件、18,757,239円となった。他支部から寄せられた義援金と合わせて総額21,933,844円をネパール大使館などに贈った。

・関東・東北水害救援金

平成27年9月に発生した水害に対し、本部に寄せられた義援金は409件、26,255,357円となった。他支部から寄せられた義援金と合わせて総額44,524,981円を宮城、茨城、栃木各県に贈った。

・台湾地震救援金

平成28年2月に発生した地震災害に対し、本部に寄せられた義援金は358件、3,670,825円となった。他支部から寄せられた義援金と合わせて総額4,619,465円を日本赤十字社に贈った。

事業一覧

(本部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/1~3/31	中日青葉学園ボランティア「あおば友の会」助成	共催	中日青葉学園	中日青葉学園(日進市)
4/5	愛の音ALL for ONE! MUSIC for ALL! 第一楽章	後援	愛の音実行委員会	Dream Cube
4/12	第35回愛知県聴覚障害者体育大会	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会	西尾市総合体育館ほか
4/18 ~5/24	平成27年度愛知県障害者スポーツ大会	後援	(福)愛知県社会福祉協議会ほか	星ヶ丘ボウルほか
4/19	第5回ジョギング・フェスティバル	後援	(公財)スペシャルオリンピックス日本・愛知	瑞穂公園田辺陸上競技場ほか
4/19	第3回チャリティーマラソンin庄内緑地 介助犬の活動を応援しよう!	後援	名古屋栄ライオンズクラブ	庄内緑地公園内周回コース
4/19~3/20	名古屋手をつなぐ育成会青年教室	共催	(福)名古屋手をつなぐ育成会	手をつなぐ育成会福祉会館ほか
4/26	地域で生きるが自分らしい ~障がいがあっても関係ない~	後援	愛知県重度障害者団体連絡協議会	刈谷市総合文化センター アイリス
4/26	第7回豊田通商・あいおいニッセイ同和損保カップ 東海車椅子ツインバスケットボール刈谷大会	後援	東海車椅子ツインバスケットボール委員会	ウイングアリーナ刈谷
4/28	中部善意銀行ボランティア '15チャリティー芸能まつり	後援	(福)中部善意銀行	愛知県芸術劇場大ホール
5/3~4	第42回中日本グランドソフトボール愛知大会	後援	中日本グランドソフトボール連盟	愛知県一宮総合運動場
5/6	第65回児童園遊会	共催	名古屋市、(福)名古屋市社会福祉協議会	東山動植物園
5/8~11/22	第12回名古屋市障害者スポーツ大会	後援	名古屋市ほか	名古屋市瑞穂公園陸上競技場 ほか
5/9	第36回名古屋市聴覚障害者親睦ソフトボール大会	後援	名古屋市聴覚障害者協議会	名古屋市志段味スポーツランド 第2少年野球場
5/17	第52回日本リウマチ友の会愛知支部大会	後援	(社)日本リウマチ友の会愛知支部	ウインクあいち 小ホール1
5/21~23	第18回国際福祉健康産業展~ウェルフェア2015~	後援	名古屋市国際見本市委員会ほか	ポートメッセなごや
5/24	第30回わだちまつり	後援	わだちまつり実行委員会、AJU自立の家 後援会	AJU自立の家サマリアハウス ほか
5/28~10/16	平成27年度地域レクリエーション教室 (療育キャンプ)	後援	(一財)三重県知的障害者育成会	アクアトト、 昭和村(岐阜県)ほか
5/30~31	第21回日本電動車椅子サッカー選手権 中部ブロック予選大会	後援	中部ブロック電動車椅子サッカー協会	静岡市東部体育館
5/31	第58回自然に親しむ集い	後援	名古屋市視覚障害者協会	長良川国際会議場(岐阜市)
6/6~7	第15回全国障害者スポーツ大会 車椅子バスケットボール競技北信越東海地区予選大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	美浜町総合体育館(福井県)
6/7	第4回知的障がい者ボウリング大会	後援	三重県知的障がい者ボウリング協会	津グランドボウル
6/7、2/14	福祉レクリエーション講習会	共催	愛知県レクリエーション協会	愛知県教育会館
6/11~12/21	平成27年度面接教育相談事業	後援	(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団	愛知県教育会館ほか
6/13~14	東北大震災復興支援厚生労働大臣杯争奪 第28回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会	後援	日本車椅子ツインバスケットボール協会	パークアリーナ小牧
6/13	第51回重度在宅児・者研修旅行	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	ラグーナテンボス(蒲郡市)
6/14	平成27年度全国膠原病友の会愛知県支部総会と 医療講演会	後援	全国膠原病友の会愛知県支部	名古屋市 総合社会福祉会館7階
6/21~7/12	第19回サウンドテーブルテニスはなのき杯卓球大会	後援	愛知S.T.Tクラブ連盟	福祉の村友愛の家体育館 (岡崎市)
6/26	平成27年度東海地区特別支援教育振興資金贈呈式	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社第2会議室

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
7~12月	第29回ふれあいフォトコンクール	後援	(福)愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉協議会
7/4	子どもセンター「パオ」9周年イベント	後援	NPO法人子どもセンター「パオ」	名古屋市女性会館 イーブルなごや
7/5	第32回愛知県聴覚障害者大会	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会	長久手市文化の家
7/6	平成27年度岐阜県母子寡婦研修大会	後援	(一財)岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜市民会館
7/8	東海地区盲学校第28回野球大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	三重県身体障害者 総合福祉センター
7/10~12	第15回陶工房鳴海作陶展 第13回チャリティーバザー	後援	陶工房鳴海、東海丸二陶芸	東桜会館
7/10~21	現代高僧・名僧直筆大墨蹟展 「心に響くことば」チャリティー特別展示会	後援	NPO法人夢・同人	美術の森(岐阜県)
7/11~12	平成27年度療育事業(キャンプ)	後援	愛知県知的障害者育成会	光風閣くわるび(山梨県)
7/12	愛知県肝友会 第34回定時総会記念療養相談会	後援	愛知県肝友会	増子記念病院 第3会議室
7/12	第51回名肢体登山大会	後援	名古屋市肢体障害者福祉連合会	奈良県若草山
7/12	ソーシャルワーカーデー2015inあいち	後援	ソーシャルワーカーデー2015 in あいち 実行委員会	日本福祉大学東海キャンパス
7/18	第8回まいまい狂言会	後援	まいまい狂言会	名古屋能楽堂
7/18~8/31	平成27年度高校生ボランティア活動 並びに体験文募集	後援	(福)中部善意銀行	愛知県内社会福祉施設
7/21~28	第58回福祉施設「海の家」	共催	名古屋市児童養護連絡協議会ほか	篠島海水浴場
7/23	児童虐待防止啓発募金活動	後援	NPO法人子どもハートクラブ	一宮市本町アーケード 剣正幼稚園駐車場内
7/25~26	2015愛知県車いすテニス大会inNAGOYA (第53回東海車いすテニス大会)	後援	愛知県車いすテニス協会ほか	名古屋市 東山公園テニスセンター
7/26	愛の音 ALL for ONE MUSIC for ALL! 第二楽章	後援	愛の音実行委員会	BL Café
8/1	第15回アートセラピーを学ぼう 講演・一日体験	後援	アートセラピー研究会、 日本描画テスト・描画療法学会	中京大学名古屋キャンパス
8/1~2	2015FIDジャパン・チャンピオンシップ バスケットボール大会(第20回)	後援	日本FIDバスケットボール連盟	パークアリーナ小牧
8/3~5	サマーカヌースクール	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	休暇村近江八幡
8/5~27	第24回AICHI高校生交流会	共催	愛知県児童福祉施設長会、 AICHI高校生交流会	愛知県社会福祉会館ほか
8/6	第57回名古屋市立小中学校特別支援学級 ・特別支援学校連合運動会	共催	名古屋市特別支援教育研究協議会ほか	日本ガイシホール
8/7、9/3、 9/11、10/14	平成27年度赤十字健康教室	後援	日本赤十字社愛知県支部、 名古屋第二赤十字病院	名古屋第二赤十字病院 3 病棟 1 階研修ホール
8/8~9	D-NUGGETS CUP 2015全国ジュニア選抜 車椅子バスケットボール大会in愛知	後援	東海北陸ブロック 車椅子バスケットボール連盟ほか	名古屋市稲永スポーツセンター
8/8~10	第47回親子なかよしキャンプ	後援	愛知県自閉症協会・つぼみの会	乙女溪谷キャンプ場(岐阜県)
8/14~18	第42回東海地区小児糖尿病サマーキャンプ	後援	東海地区小児糖尿病サマーキャンプ研究会	四日市市少年自然の家
8/16~22	第30回中部ブロック動作法セミナー	後援	三重県心理リハビリテーション連合会	三重県立鈴鹿青少年センター
8/17	平成27年度愛知県児童福祉施設入所児童 ソフトボール大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	幸田町とほね運動場
8/18~23	第43回愛知心理療育キャンプ	後援	愛知心理療育親の会	ホテルボンセジュール (蒲郡市)
8/19	平成27年度愛知県児童福祉施設入所児童卓球大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	日進市スポーツセンター

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
8/23	第33回昭和区の福祉まつり	後援	昭和区の福祉まつり実行委員会	昭和区役所講堂
8/23~11/22	愛の音 大衆古典芸能「講談」教室・講談会	後援	愛の音実行委員会	山ちゃん本丸ホールほか
8/29~30	第20回登校拒否・不登校問題全国のつどいin愛知	後援	登校拒否・不登校問題全国のつどい in 愛知実行委員会	名鉄犬山ホテル
8/30	平成27年度愛盲文芸大会	後援	(福)愛知県盲人福祉連合会	豊橋市明生会館
8/30	優利民謡会第33回チャリティー民謡発表会	後援	優利民謡会	日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
8/30~12/20	平成27年度青少年の自立支援事業 「トライアルキャンプ2015」	後援	(公財)愛知県教育・スポーツ財団	愛知県教育会館ほか
9/3,10,17	平成27年度成田山難病者激励金贈呈式	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社本社、岐阜支社、 三重総局
9/4	第26回長寿社会フォーラム・長寿たすけ愛講演会 2015 in 名古屋	共催	日本福祉大学、愛知医科大学ほか	ウイंकあいち
9/6	平成27年度東海北陸ブロック 車椅子バスケットボール定期前期岡崎大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	岡崎市中央総合体育館
9/10~11	2015年度南障会一泊研修旅行	後援	南区障害者関係団体連絡会	伊東ホテル聚楽
9/10~12/10	第63回「手足の不自由な子どもを育てる運動」	後援	愛知県肢体不自由児協会	愛知県内の市町村、学校、 事業所、福祉団体
9/12	愛知障害フォーラム(ADF)	後援	愛知障害フォーラム(ADF)	北区役所講堂
9/12~13	平成27年度愛知県ファミリーホーム協議会 篠島研修交流会	後援	愛知県ファミリーホーム協議会	南知多篠島
9/16~22	現代高僧・名僧大墨蹟展「おもてなしの心」 チャリティー特別法話会	後援	NPO法人夢・同人	名古屋三越栄店 美術画廊
9/20	第25回中部ブロック電動車椅子サッカー定期大会	後援	中部ブロック電動車椅子サッカー協会	名古屋市稲永スポーツセンター
9/20	第33回名古屋障害者青年学級合同運動会	後援	名古屋障害者青年学級協議会	中村スポーツセンター
9/20~22	第16回全日本グランドソフトボール選手権大会	後援	全日本グランドソフトボール連盟	愛知県一宮総合運動場
9/25	第17回チャリティーコンサート	後援	(一社)名古屋東法人会	名古屋市熱田文化小劇場
9/26~27	第2回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会名古屋大会 併催：第48回手をつなぐ育成会東海北陸大会	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋国際会議場 センチュリーホールほか
10/1~8	第67回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール	後援	愛知県共同募金会ほか	NHK名古屋放送局センタービル 1階
10/3	生き生き長寿フェア2015「はつらつ健康プラザ」	後援	愛知県、(福)愛知県社会福祉協議会	あいち健康の森公園(大府市)
10/4	第20回長良川ふれあいマラソン大会	共催	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会 ほか	木曾三川公園特設会場
10/5	平成27年度作品展“てをつなぐ”	後援	愛知県知的障害者育成会	豊橋市こども未来館ニコニコ
10/6	第8回ふれあいアート展	後援	(一社)愛知県知的障害児者生活サポート 協会	電気文化会館
10/6	平成27年度福祉の星フォーラム	共催	愛知県社会福祉協議会ほか	名古屋国際センター
10/7	東海レディス・プラザ第43回チャリティーバザー	後援	東海レディス・プラザ	ダイテックSAKAE6階 クリエイトホール
10/9	第52回全国聾学校陸上競技大会	後援	全国聾学校体育大会	ウェーブスタジアム刈谷
10/11	シンポジウム「無農薬野菜が食べたい！」	後援	(一社)名古屋醫新の会	ウイंकあいち大ホール
10/12	愛知県難病団体連合会第43回定期大会	後援	NPO法人愛知県難病団体連合会	ウイंकあいち小ホール
10/14~11/21	第71回ボランティアスクール	共催	(福)あさみどりの会	さわらび園

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
10/15	第2回名古屋福祉支援チャリティーゴルフ (障害者チャリティーゴルフ)	後援	名古屋福祉支援チャリティーゴルフ事務局	東名古屋カントリークラブ (豊田市)
10/18	「待ちきれないハロウィンパーティー」愛の音 第三楽章	後援	愛の音実行委員会	ボトムライン名古屋
10/18	第27回東海障害者バドミントン選手権大会	後援	東海障害者バドミントン連盟	名古屋市障害者 スポーツセンター体育館
10/24	第62回児童福祉施設運動会	後援	名古屋市、 名古屋市児童養護連絡協議会ほか	瑞穂公園レクリエーション広場
10/24	名古屋城パディウォーク	後援	名古屋スマイルマイル	名古屋城
10/25	第15回土井貴紅子チャリティーコンサート	後援	セント・ポーリアの会	名古屋市千種文化小劇場
10/28～30	第11回労災重度被災者作品展	後援	(一財)労災サポートセンター	名古屋市中小企業振興会館
10/30	第63回愛知県社会福祉大会	後援	(福)愛知県社会福祉協議会ほか	愛知県体育館
10/31	脳外傷リハビリテーション講習会	後援	脳外傷リハビリテーション講習会 実行委員会ほか	名古屋市中区役所ホール
11/1	第39回'15愛のフェスティバル	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋手をつなぐ育成会福祉 会館・ひろば
11/1	エンターテイメントサーカス2015 10周年記念公演	後援	エンターテイメントサーカス実行委員会	ボトムライン名古屋
11/1	第14回車いすテニス岩倉大会	後援	愛知県車いすテニス協会ほか	岩倉市野寄テニスコート
11/3	AJUワインフェスタin多治見修道院(第12回)	共催	(福)AJU自立の家ピア名古屋	神言会多治見修道院
11/3	第60回名古屋市身体障害者福祉大会	後援	(福)名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市中区役所ホール
11/3	平成27年度愛知県母子寡婦福祉大会	後援	(福)愛知県母子寡婦福祉連合会	ウィルあいち
11/8	第61回東海車椅子ツインバスケットボール 定期大会(松本大会)	後援	東海車椅子ツインバスケットボール委員会	松本総合体育館(長野県)
11/11～15	第12回名古屋市老人福祉施設作品展	共催	名古屋市老人福祉施設協議会ほか	名古屋市民ギャラリー矢田
11/12	全国児童福祉安全委員会連絡協議会 第7回全国大会(愛知大会)	後援	全国児童福祉安全委員会連絡協議会全国大会 運営・実行委員会	岡崎ニューグランドホテルほか
11/15	平成27年度三重県母子寡婦福祉大会	後援	(一財)三重県母子寡婦福祉連合会	志摩市阿児アリーナ
11/15	第48回愛知県視覚障害者福祉大会 半田大会	後援	(福)愛知県盲人福祉連合会	アイプラザ半田
11/15	第14回あいち障害者フライングディスク競技大会	共催	あいち障害者フライングディスク協会	愛知県体育館
11/21	第37回音楽の集い「東三河大会」	共催	愛知県児童福祉施設長会、 (福)愛知県社会福祉協議会	豊川市文化会館
11/24～12/28	平成27年度「年末助け合い運動」	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社会事業団事務局、 支社、総・支局、通信部・局
11/27	第15回全国障害者芸術・文化際かごしま大会	後援	厚生労働省、鹿児島県、鹿児島市	かごしま県民交流センター
11/28	第53回愛知県子ども会大会	後援	愛知県子ども会連絡協議会ほか	名古屋市公会堂
11/29	第12回なごや手話フェスティバル	後援	名古屋市聴言障害者協会	名古屋市北文化小劇場
12/5	第33回愛知県心身障害児(者)福祉大会	後援	愛知県心身障害児 (者)福祉団体連絡協議会ほか	愛知県白壁庁舎 愛知県社会福祉会館
12/6	平成27年度東海北陸ブロック車椅子バスケットボール 定期大会後期富山大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	富山県滑川市 総合体育センター
12/8～9	中日新聞年末助け合いチャリティー 第32回「郷土の美術家100人展」	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	松坂屋名古屋店南館8階 マツザカヤホール
12/9	第20回中部善意銀行～年末たすけあい～ 愛のチャリティーバザー	後援	(福)中部善意銀行	名鉄百貨店本店本館10階 クローバーサロン

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
12/10	平成27年度社会貢献活動推進センター	後援	(福)愛知県社会福祉協議会	ナディアパークデザインホール
12/11	第13回尾西作家協会展チャリティー展	後援	尾西作家協会	一宮市三岸節子記念美術館
12/19	第55回東海車いすテニス大会in鈴鹿	後援	三重県車いすテニス協会	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿
12/20	第55回愛知県身体障害者福祉大会	後援	(一社)愛知県身体障害者福祉団体連合会 ほか	豊田市民文化会館
12/23	名古屋少年少女合唱団が贈る チャリティークリスマスコンサート	後援	三井住友海上しらかわホール	三井住友海上しらかわホール
12/23	第49回交通遺児を励ます大会	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
12/23	2015中日青葉学園招待スケート教室	共催	名古屋スポーツセンター	名古屋スポーツセンター
12/25	平成27年度第6回愛知県児童福祉施設入所児童 フットサル大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	テバオーシャンズアリーナ
12/26	第21回東海地区特別支援学校知的障害教育 サッカー大会	後援	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会	長良川サービスセンター
12/27	地球組コンサート2015“祈りの風景”	後援	少年少女合唱団 地球組	名古屋市公会堂
12/28	日本特殊陶業(株)がお贈りする ファミリーミュージカル	後援	日本特殊陶業(株)	日本特殊陶業市民会館
1/16~17	平成27年度第13回スキー村	共催	愛知県児童福祉施設長会	伊那スキーリゾート(長野県)
1/21~26	第39回世界の貨幣まつり	後援	日本貨幣商協同組合	丸栄8階大催事場
1/30	あした天気にな〜れ	後援	愛知県精神保健福祉士協会	熱田区役所講堂
2/7	NHKハートフォーラム名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋講演会	後援	名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋ほか	ウインクいあいち
2/7	平成27年度第30回愛知県児童福祉施設 親善マラソン大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	新城総合運動公園競技場 および周辺道路
2/9	第50回名古屋市障害者作品展示会	後援	名古屋市、 (福)名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市博物館
2/11	第1回愛知学習支援実践報告会	後援	虹色リボン運動事務局	日本福祉大学東海キャンパス
2/16~21	第53回特別支援教育展「きらめき展」	共催	名古屋市特別支援教育協議会	名古屋市博物館
2/18	第4回「あ・い・ち・ふ・く・し」シンポジウム	共催	(福)愛知県社会福祉協議会	中日パレスクラウンホール
2/20	第8回福祉セミナー	後援	(福)昭徳会	法音寺 開山堂
2/21	認知症のひとと家族の会愛知県支部 「35周年記念講演会」	後援	(公財)認知症のひとと家族の会愛知県支部	ユウナル東海
2/28	第31回名古屋手をつなぐ育成会交流スポーツ大会	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市昭和スポーツセンター
3/1~17	第36回障害者作品即売会「福祉の店」	後援	(一財)愛知県セルフセンターほか	イオンモールナゴヤドーム前 ほか
3/5	虹の架け橋陶芸教室	後援	虹の架け橋から養育者を支援する里親・ 家庭養護の会	中日新聞社北館ホール
3/5~6	内閣総理大臣杯争奪第44回日本車椅子バスケット ボール選手権大会東海北陸地区予選愛知大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	名古屋市中村区 スポーツセンター
3/6	第34回耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会ほか	豊川市文化会館
3/8~13	知的な障害のある人の作品展 第4回「アートi」展	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市民ギャラリー矢田
3/12	第1回パールオープン交流卓球大会	後援	西尾パール卓球クラブ	西尾市総合体育館
3/12	愛知障害フォーラム(ADF)地域フォーラム	後援	愛知障害フォーラム(ADF)	昭和区役所講堂

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
3/13	第22回全日本選抜フロアバレーボール愛知大会 ANGEL CUP	後援	愛知県フロアバレーボール協会	愛知県体育館
3/13	全国福祉レクリエーションネットワーク 東海・北陸ブロックセミナー	後援	あいち福祉レクリエーション・ネットワーク	あいつピア
3/19	青葉学園卒業祝い	主催	中日青葉学園、(福)中日新聞社会事業団	中日青葉学園(日進市)
3/20	第45回中学を卒業する交通遺児を励ます集い	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
3/21	第14回日本ブラインドテニス中部日本大会	後援	日本ブラインドテニス連盟中部地域協会	名東スポーツセンターほか

北陸支部

本部や中日新聞北陸本社と緊密な連携をとりながら北陸三県内の関係機関、団体などの協力を得て平成27年度の事業を推進した。

◇社会福祉事業

(1) 社会福祉事業に関する助成を行う事業

・大井中日就学（職）支援（3月11日～31日・石川県下児童養護施設）

七尾市の中高生の就学を支援してきた「大井中日奨学福祉財団」の解散に伴い、平成24年3月に引き継いだ残余財産を、趣旨及び継続を考慮した「大井中日就学・就職支援金」として27年度も実施した。

県内にある児童養護施設8施設で暮らす中学校の卒業生に贈呈。卒業後高校に進学、就職する子どもたち24人に新生活の準備に役立ててもらおう。

※「大井中日奨学福祉財団」（事務局：七尾市社会福祉協議会）は1985（昭和60）年に七尾市和倉温泉で旅館経営をしていた大井安次夫妻（当初は社会事業団への寄託）、1988年には息子の大井昭平夫妻から地域の児童福祉にと寄託された寄付金を基に、長年七尾市の中高生の就学を支援してきたが、その後の社会環境などの影響により事業運営が困難になり解散した。経過としては2012（平成24）年の理事会で解散決議。13年残余財産処分許可、中日新聞社会事業団北陸支部に引き渡した。

(2) その他

a. 招待事業

・「大恐竜ワールド」招待（8月6日～23日・めいてつ・エムザ）

石川県内の児童養護施設4施設に入所している児童155名を招待。

b. 助成を希望する障がい者関連施設に対する支援

・年末助け合い運動（11月24日～12月28日・石川県下）

年末助け合い運動を11月24日から12月28日まで中日新聞北陸本社と連携をとり、広く募金活動を展開。支部では、30件、689,908円の募金が集まり、石川県内の障がい者支援施設6施設へ届けた。

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

- ・あすなる親の会（ひきこもりを考える会）例会（月1回・石川県内各所）

ひきこもりの子どもを持つ親たちが、月1回石川県内の会場にて意見交換会や、ひきこもりへの理解を深めるため講師を招いて講演会を開いた。

(2) 社会福祉、保健医療の向上を目的とする事業の実施及び支援

a. 障がい者

- ・「第36回金沢手をつなぐ親の会水泳大会」を支援

(11月23日・金沢市西部市民体育館プール)

障がいのある子どもたちの保護者らで運営している金沢手をつなぐ親の会が開催。日常の体育訓練を通して、知的障がい児の身体的、心理的発達、社会的適合の促進向上を目指した水泳大会の参加者に、今回もメダルや参加賞を贈った。

b. その他

- ・平成27年度 中日ボランティア賞

石川、富山、福井各県で地道な社会活動や、子どもたちの隠れた善行、他の模範となるボランティア活動を続けている個人、グループや団体を顕彰した。

従来の「中日ボランティア顕彰」（成人対象）と「中日あおば賞」（青少年対象）を統合し、8回目。

北陸三県の福祉・教育関係機関、社会福祉協議会、公民館や図書館、病院、中日新聞北陸本社の支社、支局などから52件の推薦があり、社内外の選考会で32件(石川14件、福井8件、富山10件)が選ばれた。12月19日(土)、ANAクラウンプラザホテル金沢で表彰式を行い、受賞者に賞額、記念品を贈った。

後援：石川県、



富山県、福井県、
三県教育委員会、
三県社会福祉協議会、
金沢市教育委員会

(3) 災害救援に関する事業

・東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災における義援金が、5年を過ぎても多く寄せられた。

・たまきはる福島基金

平成24年3月1日より受け付けを開始した、福島原発事故で避難を余儀なくされた子どもや若者などを精神的、経済的に支援する「たまきはる福島基金」を引き続き受け付けた。

・ネパール地震救援金

平成27年4月に発生した地震災害に対し、支部に寄せられた救援金は6件、101,408円となった。

・関東・東北水害救援金

平成27年9月に発生した水害に対し、支部に寄せられた救援金は9件、80,000円となった。

・台湾地震救援金

平成28年2月に発生した地震災害に対し、支部に寄せられた救援金は7件、43,640円となった。

(4) その他

・東日本大震災チャリティーストリートライブ

永村幸治with Sound splash vol.7 (5月31日・金沢駅東広場)

津軽三味線奏者の永村幸治さんが中心となって東日本大震災の復興支援を目的としたライブを行い、寄付を募った。集まった寄付金は義援金として、支部を通し被災地へ送った。

事業一覧

(北陸支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
5/29~31	第34回百万石さつき盆栽展	後援	(社)日本阜月協会金沢支部	金沢市市民芸術村
5/31	東日本大震災 チャリティ ストリート ライブ vol.7	後援	永村幸治 with Sound Splash	金沢駅東広場(鼓門)
8/6~23	「大恐竜ワールド」招待	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
11/23	第36回金沢手をつなぐ親の会水泳大会	後援	金沢手をつなぐ親の会	金沢市西部市民体育館プール
11/24~12/28	年末助け合い運動	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
12/19	平成27年度中日ボランティア賞 表彰式	主催	北陸中日新聞社会事業団ほか	ANAクラウンプラザホテル金沢
3/11	大井中日就学(職)支援金贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
毎月	あすなろ親の会(ひきこもりを考える会)例会	共催	あすなろ親の会	石川県

東海支部

静岡県内を対象に中日新聞東海本社と緊密な連携を取り、地域社会の人々や関係機関、各種団体などの積極的な協力を得て、平成27年度の事業を実施した。

◇社会福祉事業

(1) 児童養護施設等支援事業

- ・「トリックアートとふしぎな視覚展」に児童福祉施設入所者招待

(7月8日・浜松市役所)

7月18日～8月30日に浜松科学館で開催された「トリックアートとふしぎな視覚展」(中日新聞東海本社など主催)の招待券189枚を、浜松市内の児童養護施設4カ所に贈り、入所者に同展を楽しんでもらった。

- ・第44回静岡県児童福祉施設夏季球技大会(8月20日・湖西市みなと運動公園)

静岡県内の児童福祉施設12カ所の入所児童・生徒による、中・高生部門、小学生部門に分かれてのソフトボール大会。大会を後援し、盾と参加賞を贈り大会運営に協力した。

主催：静岡県児童養護施設協議会

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

- ・第38回静岡県ボランティア研究集会(28年2月14日・プラザヴェルデ)

静岡県内でボランティア活動に関わる人が集い、情報交換や話し合いを通じた学習・ネットワークづくりを強化することを目的とした集会。集会を後援し、運営援助金50,000円を贈った。

主催：特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会、公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会

・東日本大震災5年の集い ふじのくに三陸復興応援フォーラム

(28年3月26日・静岡県勤労者総合会館)

風化しつつある震災の現状を憂い、復興支援を目的に開催されたフォーラム。集いを後援し、運営援助金30,000円を贈った。

主催：東日本大震災5年の集い実行委員会

(2) 社会福祉の向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 障がい者

・第26回東海聴覚障害者体育大会（6月20日、21日・藤枝市民体育館ほか）

東海地区の聴覚障害者が野球やバレーボールなどのスポーツを通して心と体を鍛え、自立や社会参加を促すことを目的とした大会。大会を後援し、開催を支援した。

主催：東海聴覚障害者連盟、藤枝市

・第29回静岡オレンジマラソン大会

(11月14日・静岡県草薙総合運動場陸上競技場)

福祉を育てる民間運動行事の一環として、毎年行われている知的障害者のマラソン大会。大会を後援し、メダルを贈った。

主催：静岡県知的障害者福祉協会、静岡県手をつなぐ育成会、NPO法人 静岡県作業所連合会・わ

b. その他

・第32回中日ボランティア賞（贈呈式=10月21日・ホテルコンコルド浜松）

静岡県内で積極的なボランティア活動に取り組む団体を発掘するとともに、その活動を支援するため優秀な受賞団体に奨励金を贈る主催事業。静岡県、同県社会福祉協議会、同県ボランティア協会、浜松市が後援し、浜松市を除く後援3団体より26件の推薦があった。受賞7団体（静岡県西部3団体、中部3団体、東部1団体）



第32回中日ボランティア賞贈呈式=浜松市で

を選考委員会で決定。10月21日、ホテルコンコルド浜松で贈呈式を行い、賞状・奨励金(1団体150,000円)を贈った。

・年末助け合い運動（11月24日～12月28日・中日新聞東海本社ほか）

中日新聞東海本社と連携をとり、広く募金活動を展開した。寄付金は77件、総額で2,992,827円となった。

・生活保護家庭の中学生に図書カード贈呈（12月15日・静岡県西部地区）

静岡県西部地区在住で生活保護を受けている家庭の中学生233人（浜松市206人、湖西市2人、磐田市13人、袋井市6人、掛川市6人）に、激励として図書カード1人5,000円分を贈った。



生活保護家庭の小・中学生や保護者から寄せられた礼状の一部

・生活保護家庭の小学校新入学児童に図書カード贈呈

（28年2月12日・静岡県西部地区）

静岡県西部地区在住で新年度小学校へ入学する生活保護家庭の児童53人（浜松市47人、磐田市1人、袋井市3人、掛川市2人）に図書カード1人3,000円分を贈った。

・年末助け合い

第34回ふるさと知名人チャリティー色紙展

（12月2日～4日・遠鉄百貨店8階スペース8）

静岡県にゆかりのある知名人（画家・書道家・版画家など）から、チャリティーで作品提供を受け、展示中に来場者が1枚4,000円で購



市民らでにぎわう第34回ふるさと知名人チャリティー色紙展＝浜松市で

入、その売上金を寄付する主催事業。中日新聞東海本社と連携をとり、浜松市の遠鉄百貨店8階スペース8で開催。経費を除いた売上金（520,000円）の半額を年末助け合い運動資金に、半額を12月14日に静岡県社会福祉協議会に贈った。

・寿会ゴルフ大会（毎月1回・豊岡国際カントリークラブ）

高齢のゴルフ愛好者で構成される、寿会が開催する「寿会ゴルフ大会」を後援した。

主催：豊岡国際カントリークラブ

・第22、23回スズキビジネスチャリティーゴルフ大会

（7月16日、12月3日・いなさゴルフ倶楽部浜松コース）

地元企業が主催するチャリティーゴルフ大会。困窮している浜松市のペルー人学校を支援する目的で寄付を募って社会福祉活動に貢献しており、本大会を後援した。

主催：株式会社スズキビジネスチャリティーゴルフ大会実行委員会

・2015浜松市民チャリティーゴルフ大会inいなさGC

（10月7日・いなさゴルフ倶楽部浜松コース）

浜松市ゴルフ連盟が主催し参加費の一部を浜松市津波対策事業に寄付するチャリティーゴルフ大会。大会を後援し支援した。

主催：浜松市ゴルフ連盟

・静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成（5月・静岡県）

昭和52年に民間のボランティア活動推進機関として設立された静岡県ボランティア協会が平成19年4月に30周年を迎えた。これを記念し、同協会ではその後毎年年次レポートを発行しており、今年も助成金として50,000円を贈った。

主催：特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

・社会福祉事業資金造成 第32回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会

（28年3月16日・豊岡国際カントリークラブ）

豊岡国際カントリークラブで開催し、上位入賞者にトロフィーを贈呈。参加費の一部をチャリティー寄付金とし、88,000円の社会福祉事業資金が集まった。

・交通遺児義援金の贈呈（28年3月25日・浜松市）

浜松市および近郊在住の人々から寄せられた交通遺児義援金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ届けた。今年度は478,798円。

(3) 災害援護に関する事業

・災害義援金

読者からの東日本大震災義援金は23年3月11日の地震発生後5年目となった27年度も64件3,293,804円の寄付があり、発生から27年度末までに東海支部に寄せられた義援金は計4億8900万円を超えた。

このほか、4月25日に発生したネパール地震救援金には15件897,199円、台風18号の影響により9月10日に鬼怒川の堤防が決壊した関東・東北水害救援金には41件1,876,634円が寄せられ、本部を通じて被災地へ届けられた。

事業一覧

(東海支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
27年4月～ 28年3月	寿会ゴルフ大会	後援	豊岡国際カントリークラブ	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
27年5月	静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	静岡県
6/2021	第26回東海聴覚障害者体育大会	後援	東海聴覚障害者連盟 藤枝市	藤枝市民体育館ほか
7/8	「トリックアートとふしぎな視覚展」に 浜松市内児童福祉施設入所者招待(贈呈)	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市子ども家庭部 (展覧会開催=浜松科学館)
7/16	第22回スズキビジネスチャリティーゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネスチャリティー ゴルフ大会実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
8/20	第44回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	後援	静岡県児童養護施設協議会	湖西市みなと運動公園
10/7	2015浜松市民チャリティーゴルフ大会 in いなさGC	後援	浜松市ゴルフ連盟	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
10/21	第32回中日ボランティア賞贈呈式	主催	中日新聞社会事業団東海支部	ホテルコンコルド浜松 (浜松市)
11/14	第29回静岡オレンジマラソン大会	後援	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県手をつなぐ育成会 NPO法人静岡県作業所連合会・わ	静岡県草薙総合運動場 陸上競技場(静岡市)
11/24～12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団東海支部	中日新聞東海本社ほか
12/2～4	第34回ふるさと知名人チャリティー色紙展	主催	中日新聞社会事業団東海支部	遠鉄百貨店8階スペース8 (浜松市)
12/3	第23回スズキビジネスチャリティーゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネスチャリティー ゴルフ大会実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
12/15	静岡県西部地区生活保護家庭中学生に 図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
28年2/12	静岡県西部地区生活保護家庭 小学校新入学児童に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
2/14	第38回静岡県ボランティア研究集会	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	プラザヴェルデ コンベンション ホールBほか(沼津市)
3/16	社会福祉事業資金造成 第32回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会	主催	中日新聞社会事業団東海支部	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
3/25	交通遺児義援金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市役所
3/26	東日本大震災5年の集い ふじのくに三陸復興応援フォーラム	後援	東日本大震災5年の集い実行委員会	静岡県勤労者総合会館 (静岡市)

東京支部

本部および中日新聞社東京本社（東京新聞）と緊密な連携をとりながら、新聞の発行エリアである東京都を中心に、「東京新聞社会事業団」名義で活動を行った。

◇障がい者福祉事業

・第19回全日本IDバレーボール選手権大会

（8月15、16日・浦安市運動公園総合体育館）

全日本IDバレーボール大会が開催され、東京新聞・東京中日スポーツと東京支部が後援。副賞（参加チームから各1名に優秀選手賞）を贈呈した。

◇東日本大震災・東京電力福島第一原発事故関連事業

（1）避難者支援事業

埼玉県への避難者が地元住民らと立ち上げた交流サロンのうち、別表の団体に活動費用の一部、合計75万円を助成した。

活動地区	団体名・活動名称	代表者名	主な活動場所
埼玉県新座市	震災支援ネットワーク新座	谷森 櫻子	新座市・国家公務員住宅集会所
埼玉県越谷市	越谷避難者の会	石上 清	コーププラザ越谷 ほか
埼玉県所沢市	青空あおぞら	岡田 恭子 震災支援ネットワーク埼玉	所沢市公民館
埼玉県春日部市	春日部つながりカフェ	震災支援ネットワーク埼玉	コーププラザ春日部
埼玉県加須市	双葉町民によるボランティアカフェ	震災支援ネットワーク埼玉	いきいきサポートセンター （双葉町 社会福祉協議会加須事務所内）

◇福祉事業

・レイプクライシスセンターTSUBOMIに助成金

都内に本部を置き、男女性暴力被害者からの電話・メール・面接・法律各相談と裁判所や病院への付き添い活動を行っている「レイプクライシスセンターTSUBOMI」（望月晶子代表）に本年も48万円を助成した。助成は4年目。

◇資金造成事業

（1）年末助け合い運動

11月28日から12月28日まで東京本社と同支局などの協力を得て読者らに呼びかけた。期間中に27件、1,496,500円の善意が寄せられ、従来の4団体に加え、新たに関東地方にある児童福祉施設への助成を複数年かけて行う事とした。助成額は各団体10万円とし、残額は社会福祉のための資金とした。

【継続助成団体】あしなが育英会、交通遺児育英会、東京都社会福祉協議会・東京善意銀行、日本点字図書館

【児童福祉施設】恩賜財団慶福育児会・麻布乳児院、二葉乳児院、白百合ベビーホーム、聖園ベビーホーム、唐池学園ドルカスベビーホーム、鳳雄会・乳児院エンジェルホーム、聖愛乳児園、富士見乳児院、康保会玉淀園、愛育乳児園

（2）東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で大きな被害を受けた被災者への義援金を募るため、翌12日より東京本社と協力して実施。昨年度に引き続き、郵便振替、東京本社や支局、ショッパー社、中日新聞社友会東京支部の総会での募金など善意が多数寄せられ、今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた義援金は198件13,244,952円。また東京支部の所轄であり、大きく報道されていないが津波・ライフライン被害が大きく現在も義援金を受け付けている茨城県へ500万円を贈った。茨城県への贈呈額は総額1億1300万円。

（3）たまきはる福島基金

東京電力福島第一原発事故で避難を余儀なくされた人たちを経済的精神的に支援する同基金への寄託を社会事業団でも実施。今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた義援金は58件、995,226円。

(4) 東日本復興支援事業

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手・宮城・福島3県の行政ではできない復興支援活動の為、昨年度に続き、今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた支援金は25件、3,709,037円。

(5) 関東・東北水害救援金

平成27年9月に発生した関東・東北水害は本支部管内の茨城県と栃木県で大きな被害が出た。直ちに義援金募集を行い、両県に義援金を届けた。

事業一覧

(東京支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/1~3/31	NPO法人「レイプクライシスセンターTSUBOMI」 助成の件	共催	NPO法人「レイプクライシスセンターTSUBOMI」、 中日新聞社会事業団東京支部	東京都内(東京都千代田区)
4/1~3/31	平成27年度震災・原発事故避難者支援 事業助成金の件	後援	震災支援ネットワーク埼玉、 越谷避難者の会	埼玉県内各地
4/1~3/31	第18回「がんばれ先生！東京新聞教育賞」	後援	中日新聞社東京本社	東京新聞紙上
8/15~16	第19回全日本IDバレーボール選手権大会	後援	日本IDバレーボール連盟	浦安市運動公園総合体育館
10/3	第13回本間一夫記念 日本点字図書館チャリティコンサート	後援	社会福祉法人 日本点字図書館	東京文化会館 小ホール
10/7~9	第42回国際福祉機器展	後援	全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会	東京ビッグサイト東展示ホール
10/12	2015グリーンリボンランニングフェスティバル	後援	中日新聞社東京本社	駒沢競技場
11/13~15	第52回全国聾学校卓球大会 千葉大会	後援	全国聾学校体育連盟	千葉ポートアリーナ
2/1	年末助け合い運動募金の配分について	主催	中日新聞社会事業団東京支部	社会福祉法人 中日新聞社会事業団東京支部

岐阜支部

岐阜県内を対象に本部・中日新聞岐阜支社と緊密に連携、関係機関・各種団体などの協力を得て地域に密着した福祉事業を企画・実施した。

◇社会福祉事業

(1) 社会福祉事業に関する助成を行う事業

・社会福祉施設花いっぱい運動（5月23日・県内50社会福祉団体）

社会福祉施設の環境美化を図るとともに、心に潤いのある生活を願って、県内の各社会福祉施設に苗・種子・球根を贈り、運動の成果を冊子にまとめ関係者に配布し、施設の内容や頑張りを紹介した。

協力：岐阜県遊技業協同組合

岐阜県中日新聞販売店会

岐阜県内社会福祉事業協力会



施設紹介を兼ねた報告冊子

◇公益事業

(1) 保健医療相談事業

・心の病家族相談センター

（毎週火、木曜日・特定非営利活動法人岐阜県精神保健福祉連合会事務所）

精神疾患に伴う悩みを抱えている人に相談窓口「心の病」を開設し、精神疾患者や、家族の支援をした。

共催：特定非営利活動法人岐阜県精神保健福祉連合会

・薬物依存症医療相談の実施。

（毎月第2水曜日・特定非営利活動法人岐阜ダルク事務所）

薬物依存症自立支援団体「岐阜ダルク」の協力で、同症の自立支援および啓発活動として、薬物依存症患者に対しての電話相談を実施

共催：特定非営利活動法人岐阜ダルク

・介護者のつどいの実施（年間72回・中日新聞岐阜支社など県内7ヶ所）

認知症の介護経験を持つ相談員による介護相談を、認知症の人と家族の会の協力で、県内7ヶ所で年間72回開催。

共催：公益社団法人認知症の人と家族の会岐阜県支部

(2) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

a. 研修会

- ・中部地区母子寡婦福祉研修大会（9月6日・岐阜グランドホテル）他

b. 講演会

- ・犯罪被害者支援講演会（11月26日・大垣市情報工房）他

c. 講座

- ・視覚障害者への理解講演会（11月29日・恵那市総合センター）他

(3) 社会福祉の向上を目的とする事業

a. 各種スポーツ大会や文化的事業（障がい者）

- ・第13回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

（11月15日・岐阜市、メモリアルセンター長良川競技場）

障がいのある人も手軽に楽しむことができるグラウンド・ゴルフを通して、全国の障がい者が交流と親睦を深めるとともに、グラウンド・ゴルフの一層の振興及び障がい者の自立と社会参加の促進に資することを目的に開催。中日新聞社ヘリによる祝賀飛行と花束の投下もあった。



熱戦を繰り広げた、グラウンド・ゴルフ始球式

共催：岐阜県身体障害者スポーツ協会

連携：本部

- ・岐阜県知的障害特別支援学校チャレンジ陸上競技大会

（10月4日・岐阜メモリアルセンター長良川競技場）

岐阜県内の特別支援学校の児童・生徒に、広く陸上競技の進行を通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに、相互の親睦を深め、社会性を育てることを目的に開催。

後援：岐阜県特別支援学校体育連盟

- ・CPサッカー全日本選手権（10月17、18日・長良川メドウ）

CPサッカーの認知度を高め、組織強化に繋げ、肢体不自由者のスポーツ参加の機会を促進する目的で、脳性麻痺のサッカー全国大会を開催。

後援：日本脳性麻痺7人制サッカー協会

- ・第24回手話スピーチコンテスト（11月14日・中部学院大学各務原キャンパス）

聴者と聴覚障がい者の共生ができる社会をめざし、手話の普及と聴覚障害者福祉の推進を目的に、手話によるスピーチコンテストを開催。

共催：中部学院大学、(社)岐阜県聴覚障害者協会

・第68回全国盲人福祉大会（5月29日～31日・岐阜市、都ホテル）

全国の視覚障がい者が一堂に会し、直面する課題や、日常の社会的バリアの解消に向け討論。

後援：岐阜県視覚障害者福祉協会

b. 子育て支援事業

・中日劇場「コロッケ公演」招待
（10月18日・中日劇場）

岐阜県内の各種福祉団体関係者を、名古屋中日劇場で開催されていた「コロッケ公演」に招待した。当コロッケさんが母子家庭に育ったこともあって、当日は母子家庭の親子が楽屋訪問し、歓迎を受けた。



コロッケさんの楽屋を訪ねた親子

・岐阜市母子寡婦福祉大会（7月5日・岐阜市民センター）

・岐阜県母子・父子家庭観劇会（8月14日・ヒマラヤアリーナ）

・岐阜市内の母子家庭親子を東京ディズニーランド旅行へ招待

（8月21日～23日・東京ディズニーリゾート）

岐阜市内の母子家庭の親子を対象に夏休みの思い出作りを目的に、バス2台を用意し、東京ディズニーランド旅行に招待した。岐阜社会福祉事業協力会より同事業に指定寄付を受け、6月に中日新聞の紙面や岐阜市の広報を通じ募集し、2泊(車中)3日で実施。

共催：岐阜市母子寡婦福祉連合会



キャラクターと興じる参加親子

c. その他

・社会福祉団体共催金・助成金贈呈式（8月5日・中日新聞岐阜支社）

岐阜県難病団体連絡協議会など、岐阜県内の各種社会福祉団体19団体に対し195万円を、今年度の事業共催金・助成金として贈呈した。

・岐阜県縦断プロジェクト 高山→岐阜市（7月11日～12日・高山市→岐阜市）



岐阜県庁に到着、歓迎を受ける走者

下肢まひのパラリンピックアスリート2名が、岐阜県高山市から岐阜市まで160^{キロ}を、ハンドサイクル、競技用車いすで縦断し岐阜県内のバリアフリー状況を体験しながら、障がい者に対する理解を深め、ハンドサイクリング、競技用車いすの楽しさを伝えて走った。

後援：岐阜県縦断プロジェクト

・年末助け合い運動（11月24日～12月28日・岐阜支社管内）

岐阜県内の福祉施設や福祉団体の支援のため、中日新聞岐阜支社と各支局・通信局部、販売店などの協力を得て、中日新聞紙面を通じ年末助け合い運動を展開した。

・郷土の美術家ぎふ展（12月5日～9日・岐阜高島屋シネックスホール）

東海3県内で活躍する日本画・洋画・工芸・書の各部門の実力作家や人気作家の最新作150余点を販売、当日は開場前から100人ほどが並び好評を得た。また、今回試験的に閉会后ネット販売を実施、28年度実施への道を模索した。

・岐阜ダルクチャリティーコンサート（9月26日・カトリック多治見教会）

薬物依存症自立支援団体、岐阜ダルクの活動に対し、協賛した音楽活動家によるチャリティーコンサートを支援。

後援：岐阜ダルク

・各種作品展

アートステーションぎふ・特別支援学校作業作品展など支援。

（4）災害援護に関する事業

・自然災害発生の援護活動

東日本大震災・関東・東北災害やネパール地震災害・台湾地震災害などの自然災害発生に際し義援金の受付などを実施した。また、中日新聞の紙面を通じ広く読者に支援を呼びかけた。

（5）その他

・招待事業

長良川球場で行われたプロ野球や、大相撲名古屋場所、各種美術展・イベントの招待券を福祉関係者に贈呈した。

事業一覧

(岐阜支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/2他	「心の病」家族相談センター開設(毎週火・木)	共催	岐阜県精神保健福祉連合会	県精神保健福祉連合会 (岐阜市)
4/8他	介護者のつどい(72回開催)	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜中日ビルほか(岐阜市)
4/10他	薬物依存症医療相談(11回開催)	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜ダルク(岐阜市)
4/22	チャリティーライブ(10回開催)	後援	岐阜県歌謡研究会	スタジオ105(岐阜市)
5/23	岐阜県社会福祉施設「花いっぱい運動」贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県内50施設
5/29~31	第68回全国盲人福祉大会	後援	日本盲人会連合会	都ホテルほか(岐阜市)
7/5	岐阜市母子寡婦福祉大会	後援	岐阜市母子寡婦福祉連合会	市民センター(岐阜市)
7/11~12	岐阜県縦断プロジェクト高山→岐阜市	後援	第30回長良川国際トライアスロン大会 実行委員会ほか	岐阜県内高山市~岐阜市
7/24	聴覚障害者への理解講演会	後援	中日新聞社会事業団岐阜支部	総合福祉センター(多治見市)
7/15	大相撲名古屋場所に福祉施設関係者を招待	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	愛知県体育館(名古屋市)
8/5	社会福祉団体共催・助成金等贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日新聞岐阜支社(岐阜市)
8/14	岐阜県母子・父子家庭観劇会	後援	岐阜県母子寡婦福祉連合会	ヒマラヤアリーナ(岐阜市)
8/18~31	アートステーションぎふ	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日茶房(岐阜市)
8/20	プロ野球公式戦招待	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	長良川球場(岐阜市)
8/21~23	東京ディズニーランドバス旅行	共催	岐阜市母子寡婦福祉連合会	東京ディズニーランド
9/6	中部地区母子寡婦福祉研修大会	後援	全国母子寡婦福祉団体協議会	岐阜グランドホテル(岐阜市)
9/26	岐阜ダルクチャリティーコンサート	後援	岐阜ダルク	カトリック多治見教会 (多治見市)
10/4	長良川ふれあいマラソン	共催	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会	木曾三川公園特設会場 (海津市)
10/4	岐阜県知的障害特別支援学校チャレンジ陸上競技大会	後援	岐阜県特別支援学校体育連盟	メモリアルセンター(岐阜市)
10/7	第37回岐阜県精神保健福祉研修会	後援	岐阜県精神保健福祉連合会	わかくさプラザ(関市)
10/16~25	三匹の仕事師展	後援	森瀬和廣ほか	シネックスホール(高山市)
10/17~18	CPサッカー全日本選手権	後援	日本脳性麻痺7人制サッカー協会	長良川メドウ(岐阜市)
10/18	第36回岐阜県視覚障害者文化祭	後援	岐阜県視覚障害者協会	市役所地下市民ホール (高山市)
10/18	中日劇場「コロケ公演」チケット贈呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日劇場(名古屋市)
10/24	かがり火講習会	後援	NPO法人ぎふ要約筆記かがり火	中央青少年会館(岐阜市)
10/31	第49回身体障害者飛騨ブロック体育大会	後援	飛騨市身体障害者協会	萩原小学校(下呂市)
11/3~16	アートステーションぎふ	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日茶房(岐阜市)
11/8	第49回岐阜県中濃ブロック身体障害者体育大会	後援	岐阜県中濃ブロック身体障害者協会	美濃市運動公園陸上競技場
11/14	第21回中部手話スピーチコンテスト	共催	中部学院大学、 (社)岐阜県視覚障害者協会	中部学院大学(各務原市)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
11/15	全国身障者グラウンド・ゴルフ大会	共催	岐阜県障害者スポーツ協会	メモリアルセンター(岐阜市)
11/18	ドームやきものワールド招待	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	ナゴヤドーム(名古屋市)
11/24~12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜支社と管内支局通信局部 及び中日新聞販売店
11/26	犯罪被害者支援講演会	後援	ぎふ犯罪被害者支援センター	情報工房(大垣市)
11/29	聴覚障害者への理解講演会	後援	NPO法人ぎふ難聴者協会	総合センター(瑞浪市)
12/5~9	郷土の美術家ぎふ展	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	シネックスホール(岐阜市)
12/9~21	岐阜県関特別支援学校高等部作業製品展	後援	岐阜県関特別支援学校	中日茶房(岐阜市)
12/10	花いっぱい運動冊子配布および感謝状贈呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県内60施設、協力団体
12/17	生活保護家庭の新入学児に図書券進呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県庁
12/17	愛のともしび基金寄付	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県庁
2/17~29	アートステーションぎふ	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日茶房(岐阜市)

中日青葉学園

社会福祉法人中日新聞社会事業団中日青葉学園は、昭和35年4月、虚弱児施設として開設、児童福祉法改正に伴い、平成10年4月、児童養護施設に種別変更、平成15年10月、児童養護施設「あおば館」（定員70人）に新たに児童心理治療施設「わかば館」（定員35人）を加えた複合型児童福祉施設となった。園舎は平成15年、複合型施設に変わった際、全面改築し、あおば館は70人が男女別で集団生活する大舎制から、男女別で15人から18人が4つのグループで生活する中舎制に転換した。「社会的養護」は、児童を大きな集団で育てる「施設養護」から小さなグループで育てる「家庭的養護」へ変わり、あおば館は平成41年までに施設定員を45人とし、生活形態も全て小規模化する家庭的養護推進計画を立て、25年10月、中舎1ホームを小規模2ホームに改造したのを皮切りに、今後、計画に従い小規模化を進めていく。開設当初から、敷地内に日進市立日進中学校・北小学校の青葉分校として学習棟を設け、生活と教育を一体化して社会的養護が求められる児童の支援に当たっている。青葉分校も平成18年5月に建て替えた。

（1）安全安心

児童福祉施設は、虐待など不適切な関わりを受けた子どもたちを預かる場として、子どもたちが「安全で安心して暮らせる」場所であることが求められている。子ども同士の「いじめ」「暴力」には適切に対応、被害が大きくなるように努めるため、「安全安心委員会」の名のもとに、関係職員が連携を取り対応に当たっている。月1回の避難・消火指導を行い、児童全体会で安全マップをもとに学園敷地内の遊び方、自転車の正しい乗り方などを伝えている。業者が遊具点検、グラウンドネット修繕、排水溝整備などをした。

（2）権利擁護

被措置児童虐待防止が児童福祉法に盛り込まれたのを受け、児童間の暴力、職員から児童への不適切な関わりがないように、最優先事項として取り組んでいる。11月の全職員意識レポートなどを通じ、権利擁護への取り組みを再確認した。児童全員が集まる毎月の全体会で①要望や苦情を口頭でも書面でもいつでも伝えてほしい②苦情を言っても不利益にならないと話している。7月、中央児相が児童にミニレターを配布した。

（3）合同職員研修

あおば館、わかば館両館の職員を対象に毎月の合同会議にあわせ研修を行っている。4月(27年度事業計画、県子育てプラン)5月(新入所児童ケース)6月(事業報告、決算)7月(食中毒・熱中症対策、被措置児童虐待防止)9月(入所児童

支援マニュアル)10月(外部講師保護者のためのスマホ教室)11月(マイナンバー)12月(安全委員会、ノロウイルス、インフルエンザ対策)1月(28年学園目標)2月(28年事業計画)3月(第三者評価受審結果)。6月、2班に別れ、児童養護施設「名古屋養育院」を見学した。

アスペ・エルデの会事務局長宮地菜穂子さんが講師となり「スタッフトレーニング」(ST)を両館職員を対象に7回開いた。正しい現状把握(アセスメント)の方法、課題設定の基礎(自立支援計画の策定方法)、具体的な支援方法、自己覚知を促し、よりよい他者理解につなげるチームワーク支援の重要性とコツを理解するなど、現場サイドの視点から方法論を学び援助技術の底上げを図った。

中央児童・障害者相談センターから講師を招き、1月に「被措置児童虐待防止」、2月に「児童面接・聞き取り」について話を聞いた。虐待防止に向け、職員としてどのように向き合えば良いかを豊富な経験と分析に基づき事例を交えながら講義を受け、「虐待はいつでも、誰でも起こしうる」問題であると認識した。面接・聞き取りは「何のために」「何を目的とし」「誰のために」を明確にし、入所児童が話をして良かったと思える展開が職員に求められることを学び、日々のケアワーク全てが、面接・聞き取り時に気をつけなければならない事柄を含んでいることを確認した。受講後、参加職員全員によるレポート提出を実施した。

中央児童・障害者相談センターが児童福祉司向けに作成した「施設入所児童支援マニュアル」を冊子にして職員に配布、児相と施設の協働に理解を深めた。

(4) ボランティア

福祉サービスの援助者として、また、地域に開かれた施設作りの一つとして学園ではボランティア活動に力を入れており、ボランティア組織「青葉友の会」が次のような活動を続けている。

▽「竹の子会」 毎月第3月曜日に多目的ホールで児童の理美容奉仕。活動55年に当たり、感謝状贈呈と懇親会開催▽「児童英語サークル」 月2回、名古屋外国語大学生の英語教室▽「園十会」 月2回、パンジー、チューリップなど季節の花壇づくり▽「ライラック」月8回児童の洗濯物や、衣類の繕い(児童インフルエンザ発症時は休止)▽「クローバー」 月4回、大学生が幼児と小学生と遊ぶ▽「若葉グループ」 社会人が青葉まつりなど各種行事への協力。

日本フラワーデザイナー協会愛知県支部が12月5日、クリスマスリース教室、3月18日、フラワーアレンジ教室を開いた。中日森友隊が12月12日、正面通路横植え込み整理と雑木林下草刈り活動。いちご動物園が3月25日来園。

(5) 恒例行事

夏の目的別活動。▽A班 岐阜県飛騨小坂(小学生)▽B班 静岡県竜ヶ岩洞など(あおば小学生)▽C班 伊那市など(わかば)▽D班 若狭海水浴(中・高

生)▽E班 岐阜県高鷲(幼児)一の5グループに分かれ、両館合同の活動では、子どもたちが行事を通して交流した。

第19回青葉まつりは10月31日、退園生、保護者、地域の子どもたちも集まり、全日本アミューズメント施設営業者協会連合会協力の無料ゲームや子どもたちが運営する模擬店などを楽しんだ。舞台では、あおば、わかば両館の児童が10台の和太鼓で共演した。クリスマス会は愛知中央ライオンズクラブ、もちつき大会はボランティアの協力を得て行った。

(6) 巣立ちの会

退園を祝う「巣立ちの会」を3月19日、開いた。ことしの対象者は、高校卒業し専門学校へ進学するあおば館女子1人、就職するあおば館男子1人、女子1人、わかば館男子1人。中学を卒業、家から進学するわかば館男子1人、女子1人。3人が思い出の写真を見ながら学園生活を振り返り、職員に感謝の気持ちを伝えた。

(7) 問題行動・事故

この1年間に、運動中事故3件(軽傷3人)、ガラス破損2件(軽傷1人)、小中学生の性化行動6件、自転車・バイク事故2件(軽傷2人)、児童間トラブル4件、児童の職員への威嚇・暴力5件、万引き2件、自傷行為4件、侵入盗1件があった。事案ごとに安全安心委員会として「聞き取り、背景分析、当事者への指導、関係者への報告・謝罪、再発防止検討」をした。

(8) 苦情・意見

「遊具を増やして」「いじめられる」「職員が嫌だ」など投書があった。遊具は、今あるものを利用し、今後の検討とする。また、内容から特定できるものは、職員が関係児童に面談、その都度対応に当たっている。児童相談センターへのミニレター1件は、該当職員と児童の個別の関係で、修復が進んでおり、児相の了承を得た。6月中旬、保護者から「子どもが痩せた。虫歯がある。蚊に刺されている」と苦情があった。毎月の健康診断では特に異常はなく、虫歯も治療中。蚊取り対策を講じた。10月末、青葉まつりの会場撤収時、フォークリフトの運用が適切でないとの指摘があり、今後、注意する。

(9) 指導監査

愛知県の指導監査が10月にあり▽児童手当の授与につき、一部書面の不備▽会計面で指名競争入札、リース契約についての指摘があり、是正する措置を取った。労働基準局の監査が2月にあり、指摘事項はなかった。

(10) 学園見学

自治体、学校など次のような施設見学があった。▽7月、愛知総合看護福祉専門学校50人▽8月、愛厚ならわ学園分校▽9月 清須市母子支援相談員30人

▽10月、浜松市民生児童委員30人▽11月、あま市民生児童委員30人12月、愛知
大学法科生7人

(11) 職員表彰

▽特別表彰 わかば館山本秋子心理士、村野知世保育士、辻本千絵美児童指導員。9月上旬、中学生2人の問題行動に際し、迅速に対応し、他の模範となった。▽あおば館川上知幸指導係長 中央児童相談センター施設現状分析を中心となって取りまとめた。▽あおば館加藤有美子児童指導員、瀧本恵保育士 全国秋季セミナーを受講、性・生に関する支援について全職員が見直す機会を作った。▽あおば館野村花枝・篠原江里児童指導員、角谷ひとみ保育士 青葉通信マイホーム自慢執筆特別賞。▽わかば館加藤千聖児童指導員、横井佑太心理士 ドックヒーリングについて日本子ども虐待防止学会第21回学術集会新潟大会で発表。▽わかば館児童指導員大嶋昭範 特別に対応の難しい児童を丁寧にケア。▽第37回音楽の集い東三河大会運営チーム(代表・あおば館浅田将義心理士) 和太鼓同好会初発表、器楽演奏、幕間コントが協調して大会を盛り上げた。

▽勤続表彰 田崎慎太郎事務長(40年)早崎幸代わかば館主任保育士(20年)浅田将義あおば館心理士(10年)磯輪美香、金山千穂美調理員(5年)。

▽愛知県社会福祉協議会会長感謝状 川上知幸指導係長、阿尾匡晃同、鵜飼直樹主任指導員、竜栄貴同、山内早苗主任心理士(あおば館)伊藤洋一主任指導員、岡部匡俊主任心理士(わかば館)園原基治事務主任、有田道子調理員。

(12) 施設整備

館内照明を蛍光灯から効率の良いLEDに切り替え、両館職員室コピー、ファクス複合機更新、専門業者に不要書類の処理を依頼、児童の寝具(リース)を中舎ホームでふとんからマットに変更、小規模ホームはふとんをリースから購入に変更、あおば館園車1台リース更新、あおば館3ホームで冷蔵庫、掃除機更新(CBCチャリティ利用)、栄養管理ソフト更新。

(13) 調理

児童嗜好アンケートを継続し、メニュー作りに生かしている。「食育」としてあおば館ホームで職員が子どもと一緒に夕食作り、わかば館では、女子ホームでおやつ作りをしている。また、ホームキッチンの衛生状態、冷蔵庫の使用状況をチェック、賞味期限切れの食品がある場合は注意するなど衛生管理に当たった。牛乳をビンから紙パックに変更、食材納入業者を一部見直した。

(14) 大学等進学支援

社会事業団の大学等進学支援として、大学、専門学校へ進学したあおば館4人、わかば館1人、あおば館退園生1人の計6人に前年度に引き続き支援金を給付した。うち1人は専門学校を中退、大学に入り直し福祉の道に進む。

(15) 外部との関わり

園長が日進市社会福祉協議会理事、尾張東部圏域保健医療福祉推進会議・尾張部虐待防止連絡会議・日進市保育推進委員会・日進市民生委員選定各委員、28年1月から、愛知警察署の警察署協議会委員を。わかば館長、事務長、指導療育部長兼あおば館指導課長、わかば館指導課長、あおば館指導係長が大学、専門学校で福祉関係者を養成する講座での非常勤講師を。あおば館指導課長、あおば館心理士があおば館での大学、大学院の心理士研修講師を務めた。あおば館わかば館両指導係長が日進市要保護児童対策協議会ネットワーク会議、わかば館指導係長が日進市障害者自立支援協議会子ども部会に参加、地域との連携を深めている。わかば館指導係長が名古屋市教育委員会の依頼を受け、名古屋市立高校で発達障害を含む障害のある生徒に対する就労支援指導・助言に当たった。

11月、日進市健康福祉フェスティバルに出展、パネルで学園紹介をした。

(16) 第三者評価

第三者評価は3年に1回受審が義務付けられ、27年度、評価基準が変更された。前回受審した25年度から2年だが、新しい基準をもとにあおば館は福祉サポートセンター、わかば館は愛知県社会福祉協議会福祉サービス第三者評価事務所に依頼、受審した。「養育治療・支援の基本方針と組織」「施設の運営管理」「適切な養育治療・支援の実施」など86-87項目にわたり評価があり、その結果をケアの改善につなげる。

(17) その他

6月、あいち小児保健医療総合センター主宰の「性の問題について考える会」を開き、施設、病院、児関係者45人が参加した。10月、元中日ドラゴンズ選手・小田幸平さんが来園、子どもたちと昼食を取った後、グラウンドでソフトボールを指導した。

くらちゃんハウスが青葉まつりで模擬店を出したり、年度末の日帰り旅行で「ナガシマスパーランド」へ一緒に行くなどファミリーホーム支援連携をした。

中央児童・障害者相談センターから専門里親研修1人7日間を受け入れた。

児童養護施設あおば館事業報告

あおば館は、中舎(15人)3ホームと小規模ユニット(8人)2ホーム。中舎は2階男子「けやき」3階男子「ひのき」女子「もみじ」。小規模は2階「しらかば」(女子小学生以上人)「さくら」(男女幼児人)。寺井陽一指導療育部長兼指導課長のもと、川上知幸、阿尾匡晃指導係長をはじめ職員21人(うち2人心理士、職員配置最低基準見直しで1人増)、パート職員5人が児童のケアに当たった。

(1) 入所実績

あおば館定員は70人。この1年間に新たに14人(男子10人、女子4人)が入所、15人(男子11人、女子4人)が退所。

27年4月、小学校へ3人(男子1人、女子2人)、中学校へ5人(男子2人、女子3人)、高校へ4人(男子2人、女子2人)それぞれ入学した。28年3月、小学校を5人(男子4人、女子1人)、中学校を5人(男子3人、女2人)、高校を3人(男子1人、女子2人)が卒業。中学校を卒業した5人は高校へ進学、高校を卒業した2人は就職、1人は専門学校に進学した。高校生2人(男子)が退学した。

26年度延べ入所者は21,227人。一時保護は19人、延べ472日。日進市、豊明市、東郷町の子育てショートステイ事業の対象者はなかった。

(2) 生(性)教育(安全安心)委員会

児童間のトラブル、性的な問題についてその都度、安全委員会として取り上げ、情報を共有、関係児童を指導して事が大きくなる前に芽を摘むようにしている。CAP暴力防止プログラムとして職員・幼児・小学低学年・同高学年各ワークショップを、児童間暴力問題の対応としてセカンドステップを取り入れた。このほか、男女別に小グループで性教育を、性的問題を起こした関係児童に対しては、加害者には指導・再教育、被害者には心のケアを行った。他児への暴力対応として男女各1人が一時保護所で一定期間、指導・教育を受けた。

(3) 食育委員会

月1回、各ホームの職員、栄養士、調理員が集まり、「残食を減らす。おいしく楽しく食事するためのマナー向上」について取り組んでいる。調理部と現場(子ども、職員)間で情報交換し、「子どもの声を調理部へ、調理部の声を子どもへ」と相互理解を深めている。また、各ホームで子ども、調理員、現場職員が夕食(ハンバーグ、ギョウザなど)作りをした。メニューを子どもとともに考え、買い物に行き、一緒におかずを作り、家庭的雰囲気の中で食事をした。

(4) 心理対応

常勤2人、非常勤1人の心理士3人体制。カウンセリングやプレイセラピー、

SST（怒りのコントロール）などの個別心理療法を19人に実施。小学生高学年に対して、集団心理療法「心の教室」を15回、「心の勉強会」を9回実施した。進路支援として中学生、高校生を対象に「進路発見応援セミナー」を開催し、職業適性検査を受けた。中学3年生5人には進路相談、面接練習をし全員が高校へ進学した。また、学園近くの椙山女学園大学心理臨床相談室の協力で3人が同大学へ赴き、心理療法を受けた。

（5）個別対応と家庭支援

個別対応職員と家庭支援専門員が児童と保護者の支援に当たっている。個別対応として被虐待児童28人に細やかな生活援助を実施、家庭支援は保護者と児童が再び一緒に暮らせるよう関係調整を進めていくもので11人が家庭復帰した。保護者がいても都合で帰省できない児童について、わかば館家族療法室や退所支援施設「のぞみ」で保護者と児童が生活を共にした。

（6）退所者支援

退所後、就職したが、対人関係から退職した1人について生活場所の確保、再就職など立ち直りを、専門学校に進んだが、中退した1人が大学進学するのを支援した。退所後、応援が必要な男女5人の支援を継続している。お盆、年末年始など中長期休暇期間には退所者が来園、退所支援施設「のぞみ」などで宿泊した。

（7）職員研修

職員の援助技術の向上を図るため、全国児童養護施設協議会、中部児童養護施設協議会、愛知県社会福祉協議会、愛知県児童福祉施設長会、全国児童養護問題研究会、子どもの虹情報研修センター主催の各種研修、子どもの虐待防止セミナー、性教育、心理職研究会などの研修に参加した。

（8）実習生

実習生受け入れは保育実習67人、社会福祉援助技術実習13人、心理実習24人、介護等体験12人、栄養士1人の計117人。

（9）学習

高校進学を目指す中学生8人が近くの塾へ通い、3人が学園内で家庭教師の形で学習指導を受けた。名古屋外国語大学ボランティアの英語教室（隔週）には小中学生が参加した。

（10）スポーツ活動

8月の児童福祉施設入所児童夏季球技大会（県児童福祉施設長会主催）では、ソフトボールで準優勝。卓球は中高生男子の部で3位入賞した。12月のサッカー交流会では準優勝、施設長会フットサル大会で優勝した。2月の親善マラソン大会では、小低男子で3位、小高男子で2、6位、中高女子で2位に入賞した。

(11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「社会福祉実習の受け入れ」「教員養成介護体験」「福祉人材育成」「福祉避難所」「被虐待児の受け入れ」「一時保護」「里親支援」「退所児童支援」の8項目で8.5ポイントを得た。

(12) 子ども会

地域との交流活動として、小学生（希望者7人）が市場町側子ども会に加入、ドッジボール・キックベースボール大会、運動会、清掃活動、夏・冬のお楽しみ会、歓送迎会に参加した。学園マイクロバスでの移動、担当職員の審判派遣などの協力に対し、日進市子ども会連絡協議会から感謝状を受けた。

(13) 現状分析

中央児童・障害者相談センターが進めている施設機能強化策第2弾として、前年度の職員研修「施設の現状と課題」「施設内不適應の理解と対応」に続き、現状分析を受けた。児童の構成、職員体制、過去の事例・対応から見える課題を洗い出し、全職員が共有し、今後のケアにつなげる。

児童心理治療施設わかば館事業報告

青葉学園は一つの理念のもと、あおば館との連携の強化を図り、夏の目的別活動など両館児童の合同行事に積極的に参加をした。

わかば館は、「もえぎ」(男子)「あさぎ」(女子)(いずれも2階)の2ホームで生活、食事は1階食堂でとる。石垣儀郎課長以下、指導員、保育士12人(職員配置最低基準見直しで1人増)、心理5人(同1人増)、看護師1人、パート職員2人が支援している。

暫定定員を解消し安定経営を目指して臨んだ年度であったが、女子2人のスタッフルーム侵入、別の女子2人の激しい自傷行為、男子1人の児童・職員への暴力など厳しい対応に追われた。

(1) 入退所実績

わかば館定員は35人。この1年間に新たに12人(男子8人、女子4人)が入所、11人(男子5人、女子6人)が退所した。27年4月、中学校へ4人(男子1人、女子3人)が入学した。28年3月、小学校を3人(男子3人)、中学校を4人(男子2人、女子2人)が卒業。中学校を卒業した4人は高校へ進学、男子1人と女子1人は家庭復帰し、残りの男女2人はわかば館から通学する。

高校を卒業した男子はグループホームに入所し、就労支援A型を活用しながら自立の道を目指す。

27年度延べ入所者は9,139人。一時保護は4人(男子2人、女子2人)延べ864日。

(2) 心理対応

不登校や情緒不安定な児童のほか、最近は発達障害児や重篤な虐待を受けた児童が増え、生活場面で特別な配慮が求められることが多くなっている。心理職5人がわかば館1階の治療棟で入所児童全員を対象に、小学生は週1回、中学生は隔週1回、箱庭・遊戯療法の心理治療や心理教育プログラムを、高校生には随時、カウンセリングを行った。

また、非常勤の精神科医3人には児童との面談、カンファレンスへの出席、行事への参加など、多様な側面から児童との関わり持って頂いた。児童の状態の見立てや療育方法についてのスーパーバイズを受けた。加えて、職員との面談を通して職員のメンタルヘルスについてもアドバイスを受けた。

(3) 家庭支援

児童一人一人のケアプランに従って生活指導、心理治療に当たっているが、成育歴など状況を調査検討するインテークを実施し家庭復帰に備えた。

被虐待児童が増えたことから、家族再統合に向け家庭支援専門員と生活担当職員が保護者支援にあたり、1人が社会自立し4人が家庭復帰を果たした。

(4) 児童支援

中学を卒業し、高校へ進学した児童については、入学準備金などの公的な社会資源の調整を図った。

医療機関との連携も密に行い、毎月1回9人の児童が通院（あいち小児保健医療総合センター、北津島病院、上林記念病院、月下香庵）し治療効果を向上させた。同センターでの年1回の定期カンファレンス（援助検討会）と虐待ネットワーク会議7回には職員4－5人が参加、日々の療育、心理社会的治療に役立てた。

日々の取り組みでは、男子女子児童ともに、「わかばの暮らしをよくするためのルール作成実行委員会」を組織し、自分たちの生活の向上を目指し実行委員を児童選挙で選出し、日課について話し合い入浴時間などの見直しを行った。また、暴力についての解決方法を話し合った。

(5) 職員研修

児童指導員、保育士、心理士、看護師21人が、全国情緒障害児短期治療施設協議会が主催する研修会をはじめ、専門性の高い各分野の研修に参加。受講後は、職員会議でその成果を発表、情報共有に努めた。

中部ブロックの児童心理治療施設5施設との共同研修として心理部会を年2回、生活部会を年2回、持ち回りで開き、交流を深めながら具体的なケース報告を指導にいかした。また、中部ブロック職員研修運営委員会は伊藤指導員が研修運営委員として活動した。

新潟で開催された第21回日本虐待防止学会学術集会で動物介在療法（ドッグヒーリング）の実践から「児童福祉施設での被虐待児童への療育療法」として3人の職員が発表を行い、高い関心と評価を得た。

(6) 実習生

実習生受け入れでは、保育士実習で大学生30人が8－10日間と、社会福祉士実習で13人の学生が15日間に1人と24日間に12人、合わせて43人（延べ477日間）の実習を行った。

(7) 学習

担当職員、学習ボランティアのアドバイスを受けながら高校受験に向けて中学3年生女子2人と、大学の英語の先生が英語教室のスタイルで学習指導を実施し、成績向上につながった。

(8) 生活訓練

家庭復帰や就職しての寮生活に向け家族療法室を使い、買い物、調理、洗濯など日常生活を体験したりバス、地下鉄の切符を自分で購入する外出のほか、児童がスーパーで材料を購入、自分たちで料理やお菓子を作った。

「ドッグヒーリング」による動物介在療法を取り入れ、小学生を中心に犬との

温かい触れ合いを通して、癒し効果と待つことや相手に合わせることを学ぶことができるようになってきた。

(9) スポーツ活動

愛知県児童福祉施設入所児童夏季球技大会（県児童福祉施設長会主催）では、ソフトボール2部に1チーム参加し初戦突破の健闘を見せた。卓球は個人戦に3人が参加し、ベストを尽くしてよく頑張った。

親善マラソンには11人が参加し、全員が完走を果たした。

(10) 和太鼓同好会

わかば館児童7人とあおば館児童13人の参加を得て、青葉祭りなど各種のイベントの機会を通して太鼓演奏を披露している。言語で表現が苦手な児童には太鼓を叩く・リズムに合わせて音楽を奏でることで、相互の協調性や連帯感を育むことに寄与し生活にはりと意欲を生み出している。

(11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「福祉人材育成」「教員養成介護体験」「福祉避難所」「社会福祉実習受け入れ」「一時保護委託の実施」の5項目で5.5ポイントを上げた。

中日青葉学園人員構成

▽職員構成・職員数（平成28年3月1日）

あおば館 (児童養護施設)	人員	担当職務
館長（学園長）	1	運営管理
指導療育部長（課長兼務）	1	統括（わかば館兼務）
事務長	1	事務統括（わかば館兼務）
指導係長	2	生活指導（統括）
主任指導員	2	生活指導
指導員・保育士	12	生活指導
心理士	2	心理治療（生活指導）
事務員	1	経理事務（生活指導兼務）
栄養士	1	栄養管理
給食係	4	給食実務
嘱託医	1	健康診断
非常勤・パート	4	生活指導補助、心理治療、幼児教育
小計	32	
わかば館 (情緒障害児短期治療施設)	人員	担当職務
館長	1	運営管理
医師（非常勤）	4	医療業務
指導課長	1	指導統括
指導係長	1	生活指導（統括）
主任指導員・保育士	2	生活指導
指導員・保育士	9	生活指導
看護師	1	健康管理
主任心理士	1	心理統括（生活指導）
心理士	4	心理治療（生活指導）
事務	1	経理事務
給食係	3	給食実務
非常勤・パート	2	生活指導補助
小計	30	
合計	62	

▽児童数（平成28年3月1日）

施設別	性別	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
あおば館	男子	1	9	8	8	1	27
	女子	6	10	6	5		27
わかば館	男子		8	5	2	1	16
	女子		2	7	2		11
計		7	29	26	17	2	81

中日青葉学園主な行事

開催日	事業名
4月 6日	北小学校入学式(3人)
7日	日進中学校入学式(9人)
24日	青葉分校スポーツフェスティバル
29日	退園生、退職職員交流の「第5回つつじの会」
5月2～5日	GW外出・名古屋市内、陶芸体験など
6日	マリオカート学園訪問
25日	施設長会総会・児相センター長合同会議
29日	社会事業団理事会で26年度決算・事業報告承認
6月3～5日	中部児童養護施設協議会金沢大会参加
13日	青葉スポーツ大会、ボランティア活動
20日	児童健康診断
26日	性の問題について考える会開催
7月 2日	熱中症・食中毒対策、被措置児童虐待防止の園内研修
18日	安藤産業マイクロバス寄贈式
21、22日	目的別活動A 飛騨小坂
23、24日	目的別活動B 竜ヶ岩洞など、C 伊那市
26、27日	目的別活動D 若狭湾
30、31日	目的別活動E 高鷲
8月 1日	あおば館劇団飛行船白雪姫招待
5日	高校生交流会Ⅰ部参加
19日	施設長会卓球大会参加
21日	施設長会ソフトボール大会参加
26、27日	高校生交流会Ⅱ部参加
21、28日	ボウリング招待
9月 14日	竹の子会理美容奉仕
18日	日進中学校体育大会
21、22日	シルバーウィーク外出(ボウリング、ジブリ展など)
25日	清須市母子支援相談員見学
10月 1日	職員スマホ教室
3日	北小学校運動会
6日	福祉の星フォーラム参加

- 10日 ベタニヤ幼稚園運動会
- 14日 県監査
- 30日 日進中学校文化祭
- 31日 第19回青葉まつり
- 11月 7日 中部善意銀行USJ招待
- 8日 日進市健康福祉フェスティバルに出展
- 14日 愛知韓国青年商工会焼肉訪問
- 16日 北小学校学習発表会、竹の子会55周年で感謝状贈呈
- 21日 音楽の集い東三河大会に参加
- 12月 5日 NFDクリスマスリース教室
- 12日 中日森友隊園内整備
- 13日 ドラゴンズ大島選手来園
- 22日 スケート招待、クリスマス会
- 25日 フットサル大会あおば館優勝、社事団理事会
- 30日 もちつき大会
- 1月 1日 猿投神社初詣
- 16、17日 伊那スキー村に参加
- 17日 ポップサーカス岡崎公演招待
- 19日 児童ホーム部会被措置児童虐待防止研修会
- 27日 被措置児童虐待防止研修会(中央児相)
- 2月 2日 寿し正さんの恵方巻き
- 6日 中部善意銀行テーブルマナー教室
- 7日 親善マラソン大会に参加
- 15日 さくらあんぱんまんミュージアム。竹の子会55年感謝懇親会
- 20日 あおば館3階ナガシマスパーランド
- 27日 わかば館ナガシマスパーランド
- 3月 1日 高校・特別支援学校卒業式(4人)
- 4日 日進中学校卒業式(9人)
- 13日 けやきナガシマスパーランド
- 18日 北小学校卒業式(8人)、UFJ銀行ライフプランセミナー
- 19日 巣立ちの会・お別れパーティ、ベタニヤ幼稚園卒園式(2人)
- 20日 しらかば伊勢旅行
- 25日 いちご動物園来園

主な行事の写真



ゴールデンウィーク外出(5月2日)



ゴールデンウィーク外出(5月5日)



マリオカート学園訪問(5月6日)



青葉スポーツ大会(6月13日)



安藤産業様マイクロバス寄贈(7月18日)



目的別活動川遊び(7月21日)



目的別活動バーベキュー(7月23日)



目的別活動海水浴(7月26日)



施設長会卓球大会(8月19日)



施設長会ソフトボール大会(8月21日)



日進中学校体育大会(9月18日)



職員スマホ教室(10月1日)



北小学校運動会(10月3日)



中部善意銀行USJ招待(11月7日)



竹の子会55年感謝状贈呈(11月16日)



寿し正さん恵方巻き(2月2日)



施設長会マラソン大会(2月7日)



年度末外出ナガシマスパーランド(3月20日)



北小学校卒業式(3月18日)



いちご動物園来園(3月25日)

高額寄付(一般)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
(株)さなる	名古屋市	全ヤマナカ労働組合	名古屋市
(株)ふじや本店	四日市市	愛知日産自動車(株)	名古屋市
愛知県美容業生活衛生同業組合	名古屋市	桜渕ニューイヤーズミーティング	新城市
名古屋競馬(株)	名古屋市	タスキハムクラブJE2ZLW	北名古屋市
中央電気工事(株)	名古屋市	税理士法人 のぞみ	名古屋市
宗教法人名古屋ハリストス正教会	名古屋市	清川喜男	名古屋市
庄内川ゴルフ倶楽部	名古屋市	福島厚子	名古屋市
みなと医療生活協同組合	名古屋市	愛知県ボウリング場協会	稲沢市
ヤマトホールディングス(株)	東京都	ミッドランド税理士法人アライアンス	岐阜市
(株)名古屋三越	名古屋市	さなげカントリークラブ	豊田市
あいち知多農業協同組合	常滑市	青山学	四日市市
(社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	(公社)日本ダンス議会中部総局	名古屋市
ジュニアチャリティカップ実行委員会	名古屋市	名古屋福祉支援チャリティーゴルフ	名古屋市
知多信用金庫	半田市	おおやま歯科医院	名古屋市
二科会東海支部	岡崎市	(株)サンセイテクニカルサービス	名古屋市
(株)三清社	名古屋市	(株)リカーマウンテン	京都市
(株)木村屋シオン会館	江南市	(株)アプロコーポレーション	名古屋市
デポー(株)	海津市	ナゴヤアドベンチャーマラソン実行委員会	名古屋市
近藤総一郎	名古屋市	近藤産興(株)	名古屋市
国際ソロプチミスト名古屋	名古屋市	新・洋竜会	四日市市
加藤等	名古屋市	(株)カナオコーポレーション	尾張旭市
大野つぎ子	名古屋市	中日ドラゴンズ昇竜会	名古屋市
東郷産業(株)	名古屋市	協栄会・協友会	東海市
松本三良記念福祉会	東海市	昼川三津男	刈谷市
名古屋トヨペット(株)	名古屋市	中部日本書道会	名古屋市
宗教法人妙巖寺	豊川市	名古屋中ロータリークラブ	名古屋市
(株)真城ホールディングス	名古屋市	新東工業(株)	名古屋市
トヨタ紡織係長会・職長会	刈谷市	安藤滴水	名古屋市
黒野清宇	名古屋市	碧海信用金庫碧友会	安城市

高額寄付(一般)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
AIRG(あいある)	名古屋市	尾西作家協会河出幸之助	一宮市
(株)コロムビア	稲沢市	五月会	名古屋市
名古屋千種ロータリークラブ	名古屋市	稲沢市職員互助会	稲沢市
トヨタカローラ愛知(株)	名古屋市	伏見稲荷大社 三重県大安支部	いなべ市
藤田保健衛生大学病院	豊明市	岡崎美術協会	岡崎市
(社)名古屋東法人会	名古屋市	清水屋春日井店	春日井市
愛知県中古自動車販売商工協同組合	飛島村	名古屋駐車場案内システム協会	名古屋市
日本特殊陶業(株)	名古屋市	鞍馬山 別院弘恵寺	豊田市
愛知県経済農業協同組合連合会	名古屋市	(株)丸栄	名古屋市
(社)愛知県LPガス協会	名古屋市	島村秀	西尾市
加藤好章	刈谷市	ネットヨタ中部(株)	名古屋市

高額寄付(一般)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

北陸支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
こばと保育園・第2こども園	小松市	石川交通(株)	金沢市

東海支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
浜松仏教会	浜松市	アベル(株)	浜松市
竹林寺 手作りバザーの会	浜松市	浜松現代書作家展	浜松市
第34回ふるさと知名人チャリティー色紙展	浜松市	静岡第三同志会	袋井市
浜松倉庫(株)	浜松市	(株)佐野 善行の会	袋井市
竜ヶ岩洞	浜松市		

東京支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
匿名	川崎市	坂東流坂東会	千代田区
匿名	豊島区	「小さな親切」運動ちばぎん支部	千葉市

岐阜支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
岐阜県歌謡研究会	岐阜市	NTTボランティアひまわり	岐阜市
三匹の仕事師	岐阜市	岐阜県遊技業協同組合	岐阜市
ぎふ国際高校	岐阜市	中部書道会	岐阜市
小島修	岐阜市	ロータス岐阜	岐阜市
ゾンタクラブ	岐阜市	GIFUクラフトフェア事務局	岐阜市
指定寄付自動車教習所協会	岐阜市	岐阜県中日会	岐阜市

高額寄付(災害・指定)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
熊谷電工株式会社	彦根市	ネパール地震救援金
大須観音 宝生院	名古屋市	ネパール地震救援金
大須観音 参詣寄付者	名古屋市	ネパール地震救援金
渡辺 登美子	知立市	ネパール地震救援金
三永(株) KarL Park Lane	名古屋市	ネパール地震救援金
中部鋼鉄(株)	名古屋市	ネパール地震救援金
名古屋競馬(株)	名古屋市	ネパール地震救援金
高橋晃	豊橋市	ネパール地震救援金
矢作建設工業(株)	名古屋市	ネパール地震救援金
矢作建設工業(株) 社員ご一同	名古屋市	ネパール地震救援金
ネパールを愛しむ仲間の会	碧南市	ネパール地震救援金
東海レディス・プラザ	江南市	ネパール地震救援金
日本車輜労働組合	名古屋市	ネパール地震救援金
(株)フィールコーポレーション	名古屋市	ネパール地震救援金
(株)真城	名古屋市	関東・東北水害救援金
カネ美食品(株)	名古屋市	関東・東北水害救援金
寺澤松郎・康江	名古屋市	関東・東北水害救援金
PSM協力会	名古屋市	関東・東北水害救援金
渡辺登美子	知立市	関東・東北水害救援金
名古屋競馬(株)	名古屋市	関東・東北水害救援金
中日ドラゴンズ選手会	名古屋市	関東・東北水害救援金
ナゴヤドーム来場者有志御一同	名古屋市	関東・東北水害救援金
トヨタホーム愛知(株)	名古屋市	関東・東北水害救援金
愛知県更生保護女性連盟	名古屋市	関東・東北水害救援金
佐藤 義徳	みよし市	関東・東北水害救援金
愛三工業労働組合	大府市	関東・東北水害救援金
浅野潔	津島市	関東・東北水害救援金
東海学園高等学校生徒会	名古屋市	関東・東北水害救援金
(株)フィールコーポレーション	名古屋市	関東・東北水害救援金
渡辺登美子	知立市	台湾地震救援金
中央電気工事(株)	名古屋市	東日本復興支援金
熊谷定實	愛西市	東日本復興支援金
協栄興業(株)	東海市	東日本復興支援金
株式会社 アサヒハウジング	日進市	東日本復興支援金
大日本アガ(株)	名古屋市	東日本復興支援金
山本博	東海市	東日本復興支援金

※東日本大震災義援金指定の高額寄託者は、多数のため省かせていただきました

高額寄付(災害・指定)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
高津修市	名古屋市	東日本復興支援金
愛知県美容業生活衛生同業組合	名古屋市	東日本復興支援金
(株)豊田自動織機	刈谷市	大相撲名古屋場所招待
名古屋溜会	名古屋市	大相撲名古屋場所招待
成田山名古屋別院大聖寺	犬山市	難病者激励金
成田山 索の会	犬山市	難病者激励金
おおやま歯科医院 大山吉徳	名古屋市	たすけあい名古屋ほか
桑名石取祭保存会	桑名市	あしなが育英会(震災遺児支援)
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	脳外傷友の会みずほ
無量寺	蒲郡市	愛知健康づくり振興事業団
セントポーリアの会	日進市	国連難民高等弁務官事務所
名古屋栄ライオンズクラブ	名古屋市	日本介助犬協会
アントニオ古賀とゆかいな仲間	名古屋市	中部盲導犬協会
川島倭文子	名古屋市	中部盲導犬協会
徳弘妙子	名古屋市	中部盲導犬協会
福島厚子	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知県中古自動車販売商工組合	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知日野自動車(株)親和会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
岩瀬清	幸田町	中日青葉学園
今枝久美子	名古屋市	中日青葉学園

※東日本大震災義援金指定の高額寄託者は、多数のため省かせていただきました

高額寄付(災害・指定)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

東海支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
松浦梱包輸送(株)	掛川市	ネパール地震救援金
松浦梱包輸送(株) 社員一同	掛川市	ネパール地震救援金
新井吉明	磐田市	関東・東北水害救援金
株式会社ユタカ技研	浜松市	関東・東北水害救援金
松浦季秋	掛川市	関東・東北水害救援金
松浦梱包輸送(株)	掛川市	関東・東北水害救援金
ネットヨタ浜松(株) 懇話会	浜松市	交通遺児義援金

東京支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
匿名	さいたま市	たまきはる福島基金
匿名	中央区	東日本復興支援金
匿名	あきる野市	東日本復興支援金
匿名	八王子市	東日本復興支援金
横田浩史	武蔵野市	東日本復興支援金
匿名	豊島区	関東・東北水害救援金
本浄寺	豊島区	関東・東北水害救援金
匿名	文京区	関東・東北水害救援金
質屋21協同組合	墨田区	関東・東北水害救援金
匿名	狭山市	関東・東北水害救援金
佐山あや子	川崎市	関東・東北水害救援金
野口明洋・智代	足立区	関東・東北水害救援金
(株)中日新聞社東京本社広告局	千代田区	関東・東北水害救援金
城南信用金庫	品川区	関東・東北水害救援金
匿名	世田谷区	ネパール地震救援金
匿名	中央区	ネパール地震救援金
匿名	豊島区	ネパール地震救援金
(一社)川崎市子ども会連盟	川崎市	ネパール地震救援金
本浄寺	豊島区	台湾地震救援金
匿名	豊島区	南太平洋サイクロン被害

※東日本大震災義援金指定の高額寄託者は、多数のため省かせていただきました

高額寄付(災害・指定)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

岐阜支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
NPO法人長良川走ろう会	岐阜市	たまきはる福島基金
岐阜県少林寺拳法	岐阜市	東日本復興支援金
十六銀行	岐阜市	東日本復興支援金
NPO法人長良川走ろう会	岐阜市	東日本復興支援金
佐藤クリニック	八百津町	ネパール地震救援金
美濃加茂市立西中学校	美濃加茂市	関東・東北水害救援金
マルエイグループ	岐阜市	台湾地震救援金
(株)東和製作所	美濃加茂市	台湾地震救援金
岐阜県遊技業協同組合	岐阜市	花いっぱい運動へ
岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市	花いっぱい運動へ

※東日本大震災義援金指定の高額寄託者は、多数のため省かせていただきました

社会福祉法人 **中日新聞社会事業団**

	所 在 地
本 部 事 務 局	〒460-8511 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号 中日新聞名古屋本社内 Tel. 052-221-0580 Fax. 052-221-0839
北 陸 支 部	〒920-8573 石川県金沢市駅西本町二丁目12番30号 中日新聞北陸本社内 Tel. 076-233-4644 Fax. 076-233-7831
東 海 支 部	〒435-8555 静岡県浜松市東区薬新町45番地 中日新聞東海本社内 Tel. 053-421-6217 Fax. 053-421-5987
東 京 支 部	〒100-8505 東京都千代田区内幸町二丁目1番4号 中日新聞東京本社内 Tel. 03-6910-2520 Fax. 03-3503-1438
岐 阜 支 部	〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地 中日新聞岐阜支社内 Tel. 058-265-0283 Fax. 058-263-7010
児童養護施設・情短施設 中日青葉学園	〒470-0131 愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164 Tel. 0561-72-0134 Fax. 0561-74-2315

はじめに

「社会福祉法人中日新聞社会事業団」は本部並びに北陸、東海、東京、岐阜の4支部及び児童福祉施設（所在地：愛知県日進市）の「中日青葉学園あおば館」、情緒障害児短期治療施設「中日青葉学園わかば館」の運営など幅広い活動を行っている。

当法人は児童福祉施設を運営していることもあり、児童福祉施設やファミリーホームなどの行うイベントなどに対する支援を柱とし、障がい者や高齢者福祉事業などへの支援も行っている。また、地域性やニーズに対応し、支部独自の事業を展開もしている。

発生から5年が経過した東日本大震災への義援金や復興支援金もまだまだ続いており、それに加え27年度は、国内外問わずネパール地震、関東・東北水害、台湾地震と多くの災害に見舞われ、「災害援護事業」も大きな事業展開となった。

支援や事業実施を行うための財源として寄付金の減少を食い止めるべく、情報発信と紙面での告知などに力も入れ、わずかではあるが、減少から現状維持となっている。

この場をお借りして、ご支援、ご協力をいただいている皆様方に感謝を申し上げ、今後、より一層のご理解を賜ることをお願いし、独自性を活かしながら皆様方のご期待に添うよう社会福祉法人としての社会的使命を果たしていく所存である。

平成28年5月
社会福祉法人 中日新聞社会事業団

中日新聞社会事業団の沿革

社会福祉法人中日新聞社会事業団は、昭和12年4月設立の新愛知新聞社会事業団、翌年設立の名古屋新聞善行会から始まり、社団法人中部日本弘徳会を前身とし、社会福祉法人中部日本新聞社会事業団を経て、昭和49年に現在の名称となった。昭和32年の事業団創立20周年を機に虚弱児施設の建設を決め、昭和35年、愛知県日進市に「中日青葉学園」の運営を開始した。

現在、施設経営のほか、本部、北陸・東海・東京・岐阜の4支部において年間件の主催、共催、後援事業を行っている。障害者や難病者の自立、社会参加への支援、生活保護家庭や施設入所児童の援助など地域福祉から災害地支援まで、幅広い社会貢献を行っている。

昭和18年7月	新愛知新聞社会事業団と名古屋新聞善行会が合併し、社団法人中部日本弘徳会を設立
昭和22年7月	社団法人「中部日本新聞社会事業団」を設立
昭和34年1月	沢井秀次氏と日進町岩崎区から土地(13,034㎡)の寄付を受ける
昭和35年4月	虚弱児施設中日青葉学園として児童定数30人、職員7人で事業開始
昭和35年7月	社会福祉法人「中部日本新聞社会事業団」として厚生省から認可
昭和37年1月	中日青葉学園を増築し、児童定数70人に増員
昭和49年6月	社会福祉法人「中日新聞社会事業団」と改称
昭和54年12月	中日新聞社会事業団北陸支部(金沢市)を設立
昭和57年3月	中日青葉学園は日本自転車振興会の補助と社会福祉・医療事業団から建設資金を借り入れ、全面改装
昭和58年11月	中日新聞社会事業団東海支部(浜松市)を設立
昭和59年12月	年末助け合い運動の一環として、美術品チャリティー販売の「第1回郷土の美術家100人展」を松坂屋本店で開催する
昭和63年3月	中日新聞社会事業団東京支部(東京都千代田区)を設立
平成10年4月	児童福祉法の改定により児童養護施設中日青葉学園となる
平成12年5月	中日新聞社会事業団岐阜支部(岐阜市)を設立
平成12年6月	「中日福祉ボランティア賞」(愛・三・岐対象)創設
平成14年10月	中国障害者芸術団を招聘し名古屋、岐阜、東京、札幌で7公演を行い、延べ13,000人を動員
平成15年10月	中日青葉学園の新園舎が竣工し、児童養護施設に情緒障害児短期治療施設を併設、複合施設として新たなスタート
平成18年3月	日本自転車振興会からの補助で小・中学校青葉分校新教育棟新築
平成22年4月	児童養護施設「中日青葉学園」創設50周年を迎える

〈主な災害義援金〉

☆阪神大震災義援金	平成7年1月18日～8月18日	84,104件	5,790,979,873円
☆東海豪雨災害義援金	平成12年9月24日～11月10日	2,209件	421,966,342円
☆新潟県中越地震義援金	平成16年10月25日～17年3月31日	7,865件	663,011,769円
☆新潟県中越沖地震義援金	平成19年7月17日～12月13日	1,490件	120,294,971円
☆中国・四川大地震義援金	平成20年5月14日～9月8日	1,569件	101,708,939円
☆東日本大震災義援金	平成23年3月12日～28年3月31日	93,503件	9,019,929,846円
☆フィリピン台風災害義援金	平成25年11月12日～26年3月7日	623件	24,019,977円
☆広島土砂災害義援金	平成26年8月22日～12月26日	802件	30,668,185円
☆台湾地震義援金	平成28年2月8日～29日	437件	4,619,465円

事業件数

	主 催	共 催	後 援	合 計
本 部	5	20	130	155
北 陸 支 部	4	1	3	8
東 海 支 部	8	0	10	18
東 京 支 部	1	1	6	8
岐 阜 支 部	16	5	19	40
合 計	34	27	168	229

寄付金収入一覧

(単位：円)

	本 部		北 陸 支 部		東 海 支 部		東 京 支 部		岐 阜 支 部		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一 般 寄 付 金	400	89,727,954	66	614,652	22	566,147	17	542,199	38	3,462,322	543	94,913,274
年 末 助 け 合 い	247	21,938,075	30	689,908	77	2,992,827	27	1,496,500	55	2,356,625	436	29,473,935
指 定 寄 付 金	191	30,497,371	17	135,000	16	596,561	87	4,782,263	133	5,632,936	444	41,644,131
災 害 義 援 金	1,732	72,779,006	44	1,371,913	123	6,112,198	819	30,556,304	89	3,057,360	2,807	113,876,781
合 計	2,570	214,942,406	157	2,811,473	238	10,267,733	950	37,377,266	315	14,509,243	4,230	279,908,121

主な災害義援金と指定寄付金

東日本大震災義援金

(平成23年3月12日～平成28年3月31日)

	件数	金額(円)
本 部	63,581	7,454,691,746
北 陸 支 部	1,856	81,553,340
東 海 支 部	5,973	489,428,755
東 京 支 部	7,145	195,167,436
岐 阜 支 部	14,948	799,088,569
合 計	93,503	9,019,929,846

東日本復興支援金

(平成26年8月11日～平成28年3月31日)

	件数	金額(円)
本 部	198	25,094,743
北 陸 支 部	0	0
東 海 支 部	5	86,149
東 京 支 部	49	3,971,217
岐 阜 支 部	127	3,738,284
合 計	379	32,890,393

※震災翌日からの合計金額

ネパール地震救援金

(平成27年4月28日～8月13日)

	件数	金額(円)
本 部	340	18,757,239
北 陸 支 部	6	101,408
東 海 支 部	15	897,199
東 京 支 部	75	1,368,500
岐 阜 支 部	27	809,498
合 計	463	21,933,844

関東・東北水害救援金

(平成27年9月11日～11月21日)

	件数	金額(円)
本 部	409	26,255,357
北 陸 支 部	9	80,000
東 海 支 部	41	1,876,634
東 京 支 部	431	15,249,852
岐 阜 支 部	53	1,063,138
合 計	943	44,524,981

本部(名古屋)

社会事業団本部では、各支部と緊密な連絡をとりながら、スムーズな運営に取り組んできた。また、中日新聞名古屋本社と連携し、平成27年度は155件に及ぶ福祉事業を主催・共催・後援をし、地域に密着した取り組みを行った。

◇社会福祉事業

(1) 児童養護施設等支援事業

・第13回スキー村（1月16日～17日・伊那スキーリゾート＝長野県）

児童同士の交流を深めることを目的に、愛知県内の児童福祉施設に入所の中学1、2年生を対象に1泊2日でスキー体験事業を開催した。児童29人と引率18人が参加した。

共催：愛知県児童福祉施設長会、
名古屋市児童養護連絡協議会



スキーを楽しむ子ども達

・第58回福祉施設「海の家」（7月21日～28日・篠島海水浴場＝南知多町）

心身の健やかな発達を促進することを目的に、名古屋市内の児童福祉施設、知的障害者支援施設の入所児童を招待する事業を支援した。6施設延べ120人の児童が参加した。

主催：名古屋市、
名古屋市児童養護連絡協議会



海で遊ぶ子ども達

そのほか、愛知県児童福祉施設長会や名古屋市児童養護連絡協議会などが主催する文化、スポーツ事業（音楽の集い、運動会など）に対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

(2) 第12回名古屋市老人福祉施設作品展

(11月11日～15日・名古屋市民ギャラリー矢田)

名古屋市内の老人福祉施設を利用しているお年寄りが趣味で制作した絵画、書、手芸作品など約3,500点を展示した。手作り体験コーナーや介護相談、福祉講演会などの事業も合わせて行い、会期中に延べ約6,000人が観覧した。

共催：名古屋市老人福祉施設協議会ほか

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

a. 児童

・交通遺児支援事業

「交通遺児のために役立てて」と個人や企業から寄せられた寄付金をもとに交通事故で親を亡くした子ども達を励ますために行う支援事業。東海交通遺児を励ます会が把握している遺児は東海三県で約500人。



これまでの体験をつづった作文を披露する交通遺児ら

7月：大相撲名古屋場所に招待

8月：サマーカヌーキャンプ
(滋賀県近江八幡市)

12月：交通遺児を励ます大会

3月：中学を卒業する交通遺児
を励ます集い

b. 障がい者

平成28年度から施行される障害者差別解消法についての講習会をはじめ、地域社会が障がい者の福祉の増進、理解および交流を深めるため、障がい者団体などが主催する文化、講演会、シンポジウム、研修事業などに対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

c. 高齢者

・第26回長寿社会フォーラム・長寿たすけ愛講演会2015 in 名古屋

(9月4日・ウインクあいち 大ホール)

健康で多様な生き方を選択し、かつどのようにしたら個性を発揮できるのかを探ることを目的に、長寿科学振興財団の祖父江逸郎理事長らの講演会を開催した。

共催：長寿科学振興財団、日本福祉大学、愛知医科大学、
東海テレビ福祉文化事業団

d. その他

・第7回福祉の星フォーラム (10月6日・国際センター)

「福祉」のイメージアップと福祉人材の確保を目指し「本音で語ろうあなたの『気』もち」をテーマに、講演会と現場で働く若者らによるシンポジウムを開催した。日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員・渡辺哲雄さんをコーディネーターに迎えディスカッションを行った。約250人が参加し、交流も深めた。

共催：愛知県社会福祉協議会、NHK厚生文化事業団



語り合う各分野のパネリスト

(2) 社会福祉の向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 児童

・第65回児童園遊会 (5月6日・東山動植物園)

児童福祉週間事業の一つとして、名古屋市内の生活保護受給世帯、母子生活支援施設等入所世帯、宿所提供施設の入所世帯の小学校1年生から3年生の児童と保護者の232世帯を招待した。

共催：名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

・母子寡婦福祉大会「中日賞」贈呈（愛知・岐阜・三重各県）

母子福祉向上を目指す母子寡婦福祉大会において、他の模範となる優良母子家庭の表彰として「中日賞」を岐阜（7月6日・岐阜市民会館）、愛知（11月3日・ウィルあいち）、三重（11月15日・志摩市阿児アリーナ）、各県2名、計6名に贈呈した。



愛知県の受賞者

b. 障がい者

・第53回特別支援教育展「きらめき展」（2月16日～21日・名古屋市博物館）

障害児教育への理解と認識を深めてもらうことを目的として開催。今回は「つなげよう みんなの思い」をテーマに名古屋市内の特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室など約300校で学んでいる児童・生徒らの個性あふれる作品約3,000点を展示した。

共催：名古屋市教育委員会、
同特別支援教育研究協議会



展示作品に見入る来場者

・第20回長良川ふれあいマラソン大会（10月4日・木曽三川公園）



高橋尚子選手と走る参加者

障がい者と健常者が共に参加し、ふれあいを図ることで、障がい者福祉についての関心を深めるマラソン大会を実施した。愛知、三重、岐阜の各県を中心に北陸、関東地区などから約1,000人が参加した。20回を記念して高橋尚子さんもゲストで大会を盛り上げた。

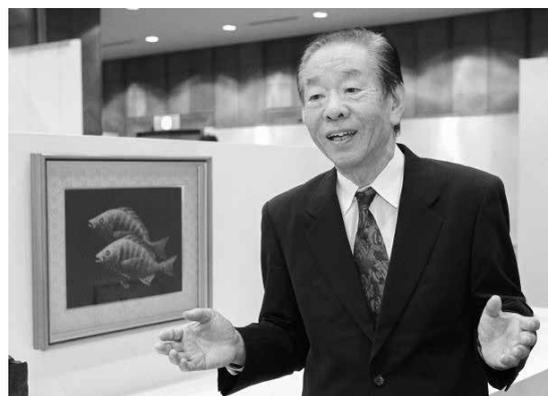
共催：長良川ふれあいマラソン実行委員会
連携：岐阜支部

c. その他

・年末助け合いチャリティー「第32回郷土の美術家100人展」

(12月8日～9日・松坂屋名古屋店南館 マツザカヤホール)

東海三県下で活躍する日本画、洋画、工芸、書の各部門の実力作家や、この地方にゆかりのある人気作家の最新作をチャリティー特別価格で販売した。また、昨年度に引き続き相国寺管長や清水寺貫主などの墨蹟部門も設けた。多くの美術愛好家にご購入いただき、地域の社会福祉のために役立てている。



作品について語る石垣種三さん

・助成を希望する公益事業に対する支援

▽第37回生活保護家庭の小中学生に「お年玉」を贈呈

12月下旬に愛知、岐阜、三重の各県と名古屋市に在住する生活保護家庭の小・中学生合わせて、6,779人に、各県市の福祉事務所を通じて「お年玉」(小学生1,000円、中学生2,000円)を贈呈した。
(昭和54年から継続)



目録を受け取る大村愛知県知事

	小学生		中学生		合計	
	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)
愛知県	1,319	1,319,000	758	1,516,000	2,077	2,835,000
岐阜県	286	286,000	191	382,000	477	668,000
三重県	743	743,000	422	844,000	1,165	1,587,000
名古屋市	1,960	1,960,000	1,100	2,200,000	3,060	4,160,000
合計	4,308	4,308,000	2,471	4,942,000	6,779	9,250,000

※年末助け合い運動(11月24日～12月28日)

寄せられた温かい善意は247件、21,938,075円に達し、この資金から支援をした。

▽第59回東海地区特別支援教育振興資金贈呈（6月26日・中日新聞名古屋本社）



特別支援教育研究5団体への贈呈

心身障害児や高機能自閉症児、学習障がい（LD）児らの教育研究、実践啓発活動を行っている愛知、岐阜、三重、静岡の各県と名古屋市の5つの特別支援教育研究団体に研究助成金として1団体20万円を贈呈した。

▽第44回難病者激励金贈呈

成田山名古屋別院大聖寺（犬山市）と同信徒団体「索（なわ）の会」から寄託された激励金（2,727,103円）を計18の難病者団体に贈呈した。愛知県8団体（9月3日）、岐阜県5団体（9月10日）、三重県5団体（9月17日）。



愛知県の8団体

県	団体名	県	団体名
愛知	NPO法人愛知県難病団体連合会	岐阜	つぼみの会 愛知・岐阜 岐阜支部 (日本小児糖尿病を守る会)
	愛知県筋ジストロフィー協会		岐阜県肝炎の会
	愛知心臓病の会 (全国心臓病の子どもを守る会愛知県支部)		岐阜県パーキンソン病友の会
	愛知県脊柱靭帯骨化症患者・家族友の会 (あおぞら会)		(公社)日本てんかん協会岐阜県支部
	つぼみの会 愛知・岐阜 愛知支部 (1型糖尿病の患者・家族の会)		日本ALS協会岐阜県支部(筋萎縮性側索硬化症)
	もやの会中部ブロック (もやもや病の患者と家族の会)	三重	NPO法人三重難病連
	NPO法人日本マルファン協会		日本リウマチ友の会三重支部
	全国膠原病友の会愛知県支部		三重もやの会
	三重県腎友会(腎臓病)		
			みえalsの会(筋萎縮性側索硬化症)

(3) 災害援護に関する事業

・東日本復興支援金

行政の支援の行き届かない東日本大震災被災地支援団体などを支援する「東日本復興支援金」を平成26年8月に創設。平成27年2月24日有識者による第三者配分委員会で配分先を決定。第2回目の配分として3月11日に下記6団体に贈った。

団体名	所在地
MPO法人MMサポートセンター	宮城県名取市
NPO法人アスイク	同県仙台市
山元町共同作業所「工房地球村」	同県山元町
NPO法人愛ネット高田	岩手県陸前高田市
NPO法人かまいし共生会「グループホームかみくり荘」	岩手県陸前高田市
NPO法人「居場所」創造プロジェクト	同県大船渡市

・東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対し、翌日の12日から義援金の受け付けを行い、本部に寄せられた義援金は、平成28年3月31日現在で63,581件、7,454,691,746円となった。他支部に寄せられた義援金と合わせて9,013,822,096円を各県に贈った。宮城（14回：4,741,625,000円）、岩手（14回：2,317,875,000円）、福島（13回：1,741,322,096円）、千葉（1回：1億円）、茨城（4回：113,000,000円）。

・ネパール地震救援金

平成27年4月に発生した地震災害に対し、本部に寄せられた義援金は340件、18,757,239円となった。他支部から寄せられた義援金と合わせて総額21,933,844円をネパール大使館などに贈った。

・関東・東北水害救援金

平成27年9月に発生した水害に対し、本部に寄せられた義援金は409件、26,255,357円となった。他支部から寄せられた義援金と合わせて総額44,524,981円を宮城、茨城、栃木各県に贈った。

・台湾地震救援金

平成28年2月に発生した地震災害に対し、本部に寄せられた義援金は358件、3,670,825円となった。他支部から寄せられた義援金と合わせて総額4,619,465円を日本赤十字社に贈った。

事業一覧

(本部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/1~3/31	中日青葉学園ボランティア「あおば友の会」助成	共催	中日青葉学園	中日青葉学園(日進市)
4/5	愛の音ALL for ONE! MUSIC for ALL! 第一楽章	後援	愛の音実行委員会	Dream Cube
4/12	第35回愛知県聴覚障害者体育大会	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会	西尾市総合体育館ほか
4/18 ~5/24	平成27年度愛知県障害者スポーツ大会	後援	(福)愛知県社会福祉協議会ほか	星ヶ丘ボウルほか
4/19	第5回ジョギング・フェスティバル	後援	(公財)スペシャルオリンピックス日本・愛知	瑞穂公園田辺陸上競技場ほか
4/19	第3回チャリティーマラソンin庄内緑地 介助犬の活動を応援しよう!	後援	名古屋栄ライオンズクラブ	庄内緑地公園内周回コース
4/19~3/20	名古屋手をつなぐ育成会青年教室	共催	(福)名古屋手をつなぐ育成会	手をつなぐ育成会福祉会館ほか
4/26	地域で生きるが自分らしい ~障がいがあっても関係ない~	後援	愛知県重度障害者団体連絡協議会	刈谷市総合文化センター アイリス
4/26	第7回豊田通商・あいおいニッセイ同和損保カップ 東海車椅子ツインバスケットボール刈谷大会	後援	東海車椅子ツインバスケットボール委員会	ウイングアリーナ刈谷
4/28	中部善意銀行ボランティア '15チャリティー芸能まつり	後援	(福)中部善意銀行	愛知県芸術劇場大ホール
5/3~4	第42回中日本グランドソフトボール愛知大会	後援	中日本グランドソフトボール連盟	愛知県一宮総合運動場
5/6	第65回児童園遊会	共催	名古屋市、(福)名古屋市社会福祉協議会	東山動植物園
5/8~11/22	第12回名古屋市障害者スポーツ大会	後援	名古屋市ほか	名古屋市瑞穂公園陸上競技場 ほか
5/9	第36回名古屋市聴覚障害者親睦ソフトボール大会	後援	名古屋市聴覚障害者協議会	名古屋市志段味スポーツランド 第2少年野球場
5/17	第52回日本リウマチ友の会愛知支部大会	後援	(社)日本リウマチ友の会愛知支部	ウインクあいち 小ホール1
5/21~23	第18回国際福祉健康産業展~ウェルフェア2015~	後援	名古屋市国際見本市委員会ほか	ポートメッセなごや
5/24	第30回わだちまつり	後援	わだちまつり実行委員会、AJU自立の家 後援会	AJU自立の家サマリアハウス ほか
5/28~10/16	平成27年度地域レクリエーション教室 (療育キャンプ)	後援	(一財)三重県知的障害者育成会	アクアトト、 昭和村(岐阜県)ほか
5/30~31	第21回日本電動車椅子サッカー選手権 中部ブロック予選大会	後援	中部ブロック電動車椅子サッカー協会	静岡市東部体育館
5/31	第58回自然に親しむ集い	後援	名古屋市視覚障害者協会	長良川国際会議場(岐阜市)
6/6~7	第15回全国障害者スポーツ大会 車椅子バスケットボール競技北信越東海地区予選大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	美浜町総合体育館(福井県)
6/7	第4回知的障がい者ボウリング大会	後援	三重県知的障がい者ボウリング協会	津グランドボウル
6/7、2/14	福祉レクリエーション講習会	共催	愛知県レクリエーション協会	愛知県教育会館
6/11~12/21	平成27年度面接教育相談事業	後援	(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団	愛知県教育会館ほか
6/13~14	東北大震災復興支援厚生労働大臣杯争奪 第28回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会	後援	日本車椅子ツインバスケットボール協会	パークアリーナ小牧
6/13	第51回重度在宅児・者研修旅行	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	ラグーナテンボス(蒲郡市)
6/14	平成27年度全国膠原病友の会愛知県支部総会と 医療講演会	後援	全国膠原病友の会愛知県支部	名古屋市 総合社会福祉会館7階
6/21~7/12	第19回サウンドテーブルテニスはなのき杯卓球大会	後援	愛知S.T.Tクラブ連盟	福祉の村友愛の家体育館 (岡崎市)
6/26	平成27年度東海地区特別支援教育振興資金贈呈式	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社第2会議室

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
7~12月	第29回ふれあいフォトコンクール	後援	(福)愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉協議会
7/4	子どもセンター「パオ」9周年イベント	後援	NPO法人子どもセンター「パオ」	名古屋市女性会館 イーブルなごや
7/5	第32回愛知県聴覚障害者大会	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会	長久手市文化の家
7/6	平成27年度岐阜県母子寡婦研修大会	後援	(一財)岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜市民会館
7/8	東海地区盲学校第28回野球大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	三重県身体障害者 総合福祉センター
7/10~12	第15回陶工房鳴海作陶展 第13回チャリティーバザー	後援	陶工房鳴海、東海丸二陶芸	東桜会館
7/10~21	現代高僧・名僧直筆大墨蹟展 「心に響くことば」チャリティー特別展示会	後援	NPO法人夢・同人	美術の森(岐阜県)
7/11~12	平成27年度療育事業(キャンプ)	後援	愛知県知的障害者育成会	光風閣くわるび(山梨県)
7/12	愛知県肝友会 第34回定時総会記念療養相談会	後援	愛知県肝友会	増子記念病院 第3会議室
7/12	第51回名肢体登山大会	後援	名古屋市肢体障害者福祉連合会	奈良県若草山
7/12	ソーシャルワーカーデー2015inあいち	後援	ソーシャルワーカーデー2015 in あいち 実行委員会	日本福祉大学東海キャンパス
7/18	第8回まいまい狂言会	後援	まいまい狂言会	名古屋能楽堂
7/18~8/31	平成27年度高校生ボランティア活動 並びに体験文募集	後援	(福)中部善意銀行	愛知県内社会福祉施設
7/21~28	第58回福祉施設「海の家」	共催	名古屋市児童養護連絡協議会ほか	篠島海水浴場
7/23	児童虐待防止啓発募金活動	後援	NPO法人子どもハートクラブ	一宮市本町アーケード 剣正幼稚園駐車場内
7/25~26	2015愛知県車いすテニス大会inNAGOYA (第53回東海車いすテニス大会)	後援	愛知県車いすテニス協会ほか	名古屋市 東山公園テニスセンター
7/26	愛の音 ALL for ONE MUSIC for ALL! 第二楽章	後援	愛の音実行委員会	BL Café
8/1	第15回アートセラピーを学ぼう 講演・一日体験	後援	アートセラピー研究会、 日本描画テスト・描画療法学会	中京大学名古屋キャンパス
8/1~2	2015FIDジャパン・チャンピオンシップ バスケットボール大会(第20回)	後援	日本FIDバスケットボール連盟	パークアリーナ小牧
8/3~5	サマーカヌースクール	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	休暇村近江八幡
8/5~27	第24回AICHI高校生交流会	共催	愛知県児童福祉施設長会、 AICHI高校生交流会	愛知県社会福祉会館ほか
8/6	第57回名古屋市立小中学校特別支援学級 ・特別支援学校連合運動会	共催	名古屋市特別支援教育研究協議会ほか	日本ガイシホール
8/7、9/3、 9/11、10/14	平成27年度赤十字健康教室	後援	日本赤十字社愛知県支部、 名古屋第二赤十字病院	名古屋第二赤十字病院 3 病棟 1 階研修ホール
8/8~9	D-NUGGETS CUP 2015全国ジュニア選抜 車椅子バスケットボール大会in愛知	後援	東海北陸ブロック 車椅子バスケットボール連盟ほか	名古屋市稲永スポーツセンター
8/8~10	第47回親子なかよしキャンプ	後援	愛知県自閉症協会・つぼみの会	乙女溪谷キャンプ場(岐阜県)
8/14~18	第42回東海地区小児糖尿病サマーキャンプ	後援	東海地区小児糖尿病サマーキャンプ研究会	四日市市少年自然の家
8/16~22	第30回中部ブロック動作法セミナー	後援	三重県心理リハビリテーション連合会	三重県立鈴鹿青少年センター
8/17	平成27年度愛知県児童福祉施設入所児童 ソフトボール大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	幸田町とほね運動場
8/18~23	第43回愛知心理療育キャンプ	後援	愛知心理療育親の会	ホテルボンセジュール (蒲郡市)
8/19	平成27年度愛知県児童福祉施設入所児童卓球大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	日進市スポーツセンター

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
8/23	第33回昭和区の福祉まつり	後援	昭和区の福祉まつり実行委員会	昭和区役所講堂
8/23~11/22	愛の音 大衆古典芸能「講談」教室・講談会	後援	愛の音実行委員会	山ちゃん本丸ホールほか
8/29~30	第20回登校拒否・不登校問題全国のつどいin愛知	後援	登校拒否・不登校問題全国のつどい in 愛知実行委員会	名鉄犬山ホテル
8/30	平成27年度愛盲文芸大会	後援	(福)愛知県盲人福祉連合会	豊橋市明生会館
8/30	優利民謡会第33回チャリティー民謡発表会	後援	優利民謡会	日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
8/30~12/20	平成27年度青少年の自立支援事業 「トライアルキャンプ2015」	後援	(公財)愛知県教育・スポーツ財団	愛知県教育会館ほか
9/3,10,17	平成27年成田山難病者激励金贈呈式	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社本社、岐阜支社、 三重総局
9/4	第26回長寿社会フォーラム・長寿たすけ愛講演会 2015 in 名古屋	共催	日本福祉大学、愛知医科大学ほか	ウイंकあいち
9/6	平成27年度東海北陸ブロック 車椅子バスケットボール定期前期岡崎大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	岡崎市中央総合体育館
9/10~11	2015年度南障会一泊研修旅行	後援	南区障害者関係団体連絡会	伊東ホテル聚楽
9/10~12/10	第63回「手足の不自由な子どもを育てる運動」	後援	愛知県肢体不自由児協会	愛知県内の市町村、学校、 事業所、福祉団体
9/12	愛知障害フォーラム(ADF)	後援	愛知障害フォーラム(ADF)	北区役所講堂
9/12~13	平成27年度愛知県ファミリーホーム協議会 篠島研修交流会	後援	愛知県ファミリーホーム協議会	南知多篠島
9/16~22	現代高僧・名僧大墨蹟展「おもてなしの心」 チャリティー特別法話会	後援	NPO法人夢・同人	名古屋三越栄店 美術画廊
9/20	第25回中部ブロック電動車椅子サッカー定期大会	後援	中部ブロック電動車椅子サッカー協会	名古屋市稲永スポーツセンター
9/20	第33回名古屋障害者青年学級合同運動会	後援	名古屋障害者青年学級協議会	中村スポーツセンター
9/20~22	第16回全日本グランドソフトボール選手権大会	後援	全日本グランドソフトボール連盟	愛知県一宮総合運動場
9/25	第17回チャリティーコンサート	後援	(一社)名古屋東法人会	名古屋市熱田文化小劇場
9/26~27	第2回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会名古屋大会 併催：第48回手をつなぐ育成会東海北陸大会	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋国際会議場 センチュリーホールほか
10/1~8	第67回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール	後援	愛知県共同募金会ほか	NHK名古屋放送局センタービル 1階
10/3	生き生き長寿フェア2015「はつらつ健康プラザ」	後援	愛知県、(福)愛知県社会福祉協議会	あいち健康の森公園(大府市)
10/4	第20回長良川ふれあいマラソン大会	共催	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会 ほか	木曾三川公園特設会場
10/5	平成27年度作品展“てをつなぐ”	後援	愛知県知的障害者育成会	豊橋市こども未来館ニコニコ
10/6	第8回ふれあいアート展	後援	(一社)愛知県知的障害児者生活サポート 協会	電気文化会館
10/6	平成27年度福祉の星フォーラム	共催	愛知県社会福祉協議会ほか	名古屋国際センター
10/7	東海レディス・プラザ第43回チャリティーバザー	後援	東海レディス・プラザ	ダイテックSAKAE6階 クリエイトホール
10/9	第52回全国聾学校陸上競技大会	後援	全国聾学校体育大会	ウェーブスタジアム刈谷
10/11	シンポジウム「無農薬野菜が食べたい！」	後援	(一社)名古屋醫新の会	ウイंकあいち大ホール
10/12	愛知県難病団体連合会第43回定期大会	後援	NPO法人愛知県難病団体連合会	ウイंकあいち小ホール
10/14~11/21	第71回ボランティアスクール	共催	(福)あさみどりの会	さわらび園

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
10/15	第2回名古屋福祉支援チャリティーゴルフ (障害者チャリティーゴルフ)	後援	名古屋福祉支援チャリティーゴルフ事務局	東名古屋カントリークラブ (豊田市)
10/18	「待ちきれないハロウィンパーティー」愛の音 第三楽章	後援	愛の音実行委員会	ボトムライン名古屋
10/18	第27回東海障害者バドミントン選手権大会	後援	東海障害者バドミントン連盟	名古屋市障害者 スポーツセンター体育館
10/24	第62回児童福祉施設運動会	後援	名古屋市、 名古屋市児童養護連絡協議会ほか	瑞穂公園レクリエーション広場
10/24	名古屋城パディウォーク	後援	名古屋スマイルマイル	名古屋城
10/25	第15回土井貴紅子チャリティーコンサート	後援	セント・ポーリアの会	名古屋市千種文化小劇場
10/28～30	第11回労災重度被災者作品展	後援	(一財)労災サポートセンター	名古屋市中小企業振興会館
10/30	第63回愛知県社会福祉大会	後援	(福)愛知県社会福祉協議会ほか	愛知県体育館
10/31	脳外傷リハビリテーション講習会	後援	脳外傷リハビリテーション講習会 実行委員会ほか	名古屋市中区役所ホール
11/1	第39回'15愛のフェスティバル	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋手をつなぐ育成会福祉 会館・ひろば
11/1	エンターテイメントサーカス2015 10周年記念公演	後援	エンターテイメントサーカス実行委員会	ボトムライン名古屋
11/1	第14回車いすテニス岩倉大会	後援	愛知県車いすテニス協会ほか	岩倉市野寄テニスコート
11/3	AJUワインフェスタin多治見修道院(第12回)	共催	(福)AJU自立の家ピア名古屋	神言会多治見修道院
11/3	第60回名古屋市身体障害者福祉大会	後援	(福)名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市中区役所ホール
11/3	平成27年度愛知県母子寡婦福祉大会	後援	(福)愛知県母子寡婦福祉連合会	ウィルあいち
11/8	第61回東海車椅子ツインバスケットボール 定期大会(松本大会)	後援	東海車椅子ツインバスケットボール委員会	松本総合体育館(長野県)
11/11～15	第12回名古屋市老人福祉施設作品展	共催	名古屋市老人福祉施設協議会ほか	名古屋市民ギャラリー矢田
11/12	全国児童福祉安全委員会連絡協議会 第7回全国大会(愛知大会)	後援	全国児童福祉安全委員会連絡協議会全国大会 運営・実行委員会	岡崎ニューグランドホテルほか
11/15	平成27年度三重県母子寡婦福祉大会	後援	(一財)三重県母子寡婦福祉連合会	志摩市阿児アリーナ
11/15	第48回愛知県視覚障害者福祉大会 半田大会	後援	(福)愛知県盲人福祉連合会	アイプラザ半田
11/15	第14回あいち障害者フライングディスク競技大会	共催	あいち障害者フライングディスク協会	愛知県体育館
11/21	第37回音楽の集い「東三河大会」	共催	愛知県児童福祉施設長会、 (福)愛知県社会福祉協議会	豊川市文化会館
11/24～12/28	平成27年度「年末助け合い運動」	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社会事業団事務局、 支社、総・支局、通信部・局
11/27	第15回全国障害者芸術・文化際かごしま大会	後援	厚生労働省、鹿児島県、鹿児島市	かごしま県民交流センター
11/28	第53回愛知県子ども会大会	後援	愛知県子ども会連絡協議会ほか	名古屋市公会堂
11/29	第12回なごや手話フェスティバル	後援	名古屋市聴言障害者協会	名古屋市北文化小劇場
12/5	第33回愛知県心身障害児(者)福祉大会	後援	愛知県心身障害児 (者)福祉団体連絡協議会ほか	愛知県白壁庁舎 愛知県社会福祉会館
12/6	平成27年度東海北陸ブロック車椅子バスケットボール 定期大会後期富山大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	富山県滑川市 総合体育センター
12/8～9	中日新聞年末助け合いチャリティー 第32回「郷土の美術家100人展」	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	松坂屋名古屋店南館8階 マツザカヤホール
12/9	第20回中部善意銀行～年末たすけあい～ 愛のチャリティーバザー	後援	(福)中部善意銀行	名鉄百貨店本店本館10階 クローバーサロン

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
12/10	平成27年度社会貢献活動推進センター	後援	(福)愛知県社会福祉協議会	ナディアパークデザインホール
12/11	第13回尾西作家協会展チャリティー展	後援	尾西作家協会	一宮市三岸節子記念美術館
12/19	第55回東海車いすテニス大会in鈴鹿	後援	三重県車いすテニス協会	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿
12/20	第55回愛知県身体障害者福祉大会	後援	(一社)愛知県身体障害者福祉団体連合会 ほか	豊田市民文化会館
12/23	名古屋少年少女合唱団が贈る チャリティークリスマスコンサート	後援	三井住友海上しらかわホール	三井住友海上しらかわホール
12/23	第49回交通遺児を励ます大会	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
12/23	2015中日青葉学園招待スケート教室	共催	名古屋スポーツセンター	名古屋スポーツセンター
12/25	平成27年度第6回愛知県児童福祉施設入所児童 フットサル大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	テバオーシャンズアリーナ
12/26	第21回東海地区特別支援学校知的障害教育 サッカー大会	後援	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会	長良川サービスセンター
12/27	地球組コンサート2015“祈りの風景”	後援	少年少女合唱団 地球組	名古屋市公会堂
12/28	日本特殊陶業(株)がお贈りする ファミリーミュージカル	後援	日本特殊陶業(株)	日本特殊陶業市民会館
1/16~17	平成27年度第13回スキー村	共催	愛知県児童福祉施設長会	伊那スキーリゾート(長野県)
1/21~26	第39回世界の貨幣まつり	後援	日本貨幣商協同組合	丸栄8階大催事場
1/30	あした天気にな〜れ	後援	愛知県精神保健福祉士協会	熱田区役所講堂
2/7	NHKハートフォーラム名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋講演会	後援	名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋ほか	ウインクいあいち
2/7	平成27年度第30回愛知県児童福祉施設 親善マラソン大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	新城総合運動公園競技場 および周辺道路
2/9	第50回名古屋市障害者作品展示会	後援	名古屋市、 (福)名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市博物館
2/11	第1回愛知学習支援実践報告会	後援	虹色リボン運動事務局	日本福祉大学東海キャンパス
2/16~21	第53回特別支援教育展「きらめき展」	共催	名古屋市特別支援教育協議会	名古屋市博物館
2/18	第4回「あ・い・ち・ふ・く・し」シンポジウム	共催	(福)愛知県社会福祉協議会	中日パレスクラウンホール
2/20	第8回福祉セミナー	後援	(福)昭徳会	法音寺 開山堂
2/21	認知症のひとと家族の会愛知県支部 「35周年記念講演会」	後援	(公財)認知症のひとと家族の会愛知県支部	ユウナル東海
2/28	第31回名古屋手をつなぐ育成会交流スポーツ大会	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市昭和スポーツセンター
3/1~17	第36回障害者作品即売会「福祉の店」	後援	(一財)愛知県セルフセンターほか	イオンモールナゴヤドーム前 ほか
3/5	虹の架け橋陶芸教室	後援	虹の架け橋から養育者を支援する里親・ 家庭養護の会	中日新聞社北館ホール
3/5~6	内閣総理大臣杯争奪第44回日本車椅子バスケット ボール選手権大会東海北陸地区予選愛知大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	名古屋市東区 スポーツセンター
3/6	第34回耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会ほか	豊川市文化会館
3/8~13	知的な障害のある人の作品展 第4回「アートi」展	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市民ギャラリー矢田
3/12	第1回パールオープン交流卓球大会	後援	西尾パール卓球クラブ	西尾市総合体育館
3/12	愛知障害フォーラム(ADF)地域フォーラム	後援	愛知障害フォーラム(ADF)	昭和区役所講堂

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
3/13	第22回全日本選抜フロアバレーボール愛知大会 ANGEL CUP	後援	愛知県フロアバレーボール協会	愛知県体育館
3/13	全国福祉レクリエーションネットワーク 東海・北陸ブロックセミナー	後援	あいち福祉レクリエーション・ネットワーク	あいたぴア
3/19	青葉学園卒業祝い	主催	中日青葉学園、(福)中日新聞社会事業団	中日青葉学園(日進市)
3/20	第45回中学を卒業する交通遺児を励ます集い	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
3/21	第14回日本ブラインドテニス中部日本大会	後援	日本ブラインドテニス連盟中部地域協会	名東スポーツセンターほか

北陸支部

本部や中日新聞北陸本社と緊密な連携をとりながら北陸三県内の関係機関、団体などの協力を得て平成27年度の事業を推進した。

◇社会福祉事業

(1) 社会福祉事業に関する助成を行う事業

・大井中日就学（職）支援（3月11日～31日・石川県下児童養護施設）

七尾市の中高生の就学を支援してきた「大井中日奨学福祉財団」の解散に伴い、平成24年3月に引き継いだ残余財産を、趣旨及び継続を考慮した「大井中日就学・就職支援金」として27年度も実施した。

県内にある児童養護施設8施設で暮らす中学校の卒業生に贈呈。卒業後高校に進学、就職する子どもたち24人に新生活の準備に役立ててもらおう。

※「大井中日奨学福祉財団」（事務局：七尾市社会福祉協議会）は1985（昭和60）年に七尾市和倉温泉で旅館経営をしていた大井安次夫妻（当初は社会事業団への寄託）、1988年には息子の大井昭平夫妻から地域の児童福祉にと寄託された寄付金を基に、長年七尾市の中高生の就学を支援してきたが、その後の社会環境などの影響により事業運営が困難になり解散した。経過としては2012（平成24）年の理事会で解散決議。13年残余財産処分許可、中日新聞社会事業団北陸支部に引き渡した。

(2) その他

a. 招待事業

・「大恐竜ワールド」招待（8月6日～23日・めいてつ・エムザ）

石川県内の児童養護施設4施設に入所している児童155名を招待。

b. 助成を希望する障がい者関連施設に対する支援

・年末助け合い運動（11月24日～12月28日・石川県下）

年末助け合い運動を11月24日から12月28日まで中日新聞北陸本社と連携をとり、広く募金活動を展開。支部では、30件、689,908円の募金が集まり、石川県内の障がい者支援施設6施設へ届けた。

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

- ・あすなる親の会（ひきこもりを考える会）例会（月1回・石川県内各所）

ひきこもりの子どもを持つ親たちが、月1回石川県内の会場にて意見交換会や、ひきこもりへの理解を深めるため講師を招いて講演会を開いた。

(2) 社会福祉、保健医療の向上を目的とする事業の実施及び支援

a. 障がい者

- ・「第36回金沢手をつなぐ親の会水泳大会」を支援

(11月23日・金沢市西部市民体育館プール)

障がいのある子どもたちの保護者らで運営している金沢手をつなぐ親の会が開催。日常の体育訓練を通して、知的障がい児の身体的、心理的発達、社会的適合の促進向上を目指した水泳大会の参加者に、今回もメダルや参加賞を贈った。

b. その他

- ・平成27年度 中日ボランティア賞

石川、富山、福井各県で地道な社会活動や、子どもたちの隠れた善行、他の模範となるボランティア活動を続けている個人、グループや団体を顕彰した。

従来の「中日ボランティア顕彰」（成人対象）と「中日あおば賞」（青少年対象）を統合し、8回目。

北陸三県の福祉・教育関係機関、社会福祉協議会、公民館や図書館、病院、中日新聞北陸本社の支社、支局などから52件の推薦があり、社内外の選考会で32件(石川14件、福井8件、富山10件)が選ばれた。12月19日(土)、ANAクラウンプラザホテル金沢で表彰式を行い、受賞者に賞額、記念品を贈った。

後援：石川県、



富山県、福井県、
三県教育委員会、
三県社会福祉協議会、
金沢市教育委員会

(3) 災害救援に関する事業

・東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災における義援金が、5年を過ぎても多く寄せられた。

・たまきはる福島基金

平成24年3月1日より受け付けを開始した、福島原発事故で避難を余儀なくされた子どもや若者などを精神的、経済的に支援する「たまきはる福島基金」を引き続き受け付けた。

・ネパール地震救援金

平成27年4月に発生した地震災害に対し、支部に寄せられた救援金は6件、101,408円となった。

・関東・東北水害救援金

平成27年9月に発生した水害に対し、支部に寄せられた救援金は9件、80,000円となった。

・台湾地震救援金

平成28年2月に発生した地震災害に対し、支部に寄せられた救援金は7件、43,640円となった。

(4) その他

・東日本大震災チャリティーストリートライブ

永村幸治with Sound splash vol.7 (5月31日・金沢駅東広場)

津軽三味線奏者の永村幸治さんが中心となって東日本大震災の復興支援を目的としたライブを行い、寄付を募った。集まった寄付金は義援金として、支部を通し被災地へ送った。

事業一覧

(北陸支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
5/29~31	第34回百万石さつき盆栽展	後援	(社)日本阜月協会金沢支部	金沢市市民芸術村
5/31	東日本大震災 チャリティ ストリート ライブ vol.7	後援	永村幸治 with Sound Splash	金沢駅東広場(鼓門)
8/6~23	「大恐竜ワールド」招待	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
11/23	第36回金沢手をつなぐ親の会水泳大会	後援	金沢手をつなぐ親の会	金沢市西部市民体育館プール
11/24~12/28	年末助け合い運動	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
12/19	平成27年度中日ボランティア賞 表彰式	主催	北陸中日新聞社会事業団ほか	ANAクラウンプラザホテル金沢
3/11	大井中日就学(職)支援金贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
毎月	あすなろ親の会(ひきこもりを考える会)例会	共催	あすなろ親の会	石川県

東海支部

静岡県内を対象に中日新聞東海本社と緊密な連携を取り、地域社会の人々や関係機関、各種団体などの積極的な協力を得て、平成27年度の事業を実施した。

◇社会福祉事業

(1) 児童養護施設等支援事業

- ・「トリックアートとふしぎな視覚展」に児童福祉施設入所者招待

(7月8日・浜松市役所)

7月18日～8月30日に浜松科学館で開催された「トリックアートとふしぎな視覚展」(中日新聞東海本社など主催)の招待券189枚を、浜松市内の児童養護施設4カ所に贈り、入所者に同展を楽しんでもらった。

- ・第44回静岡県児童福祉施設夏季球技大会(8月20日・湖西市みなと運動公園)

静岡県内の児童福祉施設12カ所の入所児童・生徒による、中・高生部門、小学生部門に分かれてのソフトボール大会。大会を後援し、盾と参加賞を贈り大会運営に協力した。

主催：静岡県児童養護施設協議会

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

- ・第38回静岡県ボランティア研究集会(28年2月14日・プラザヴェルデ)

静岡県内でボランティア活動に関わる人が集い、情報交換や話し合いを通じた学習・ネットワークづくりを強化することを目的とした集会。集会を後援し、運営援助金50,000円を贈った。

主催：特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会、公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会

・東日本大震災5年の集い ふじのくに三陸復興応援フォーラム

(28年3月26日・静岡県勤労者総合会館)

風化しつつある震災の現状を憂い、復興支援を目的に開催されたフォーラム。集いを後援し、運営援助金30,000円を贈った。

主催：東日本大震災5年の集い実行委員会

(2) 社会福祉の向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 障がい者

・第26回東海聴覚障害者体育大会（6月20日、21日・藤枝市民体育館ほか）

東海地区の聴覚障害者が野球やバレーボールなどのスポーツを通して心と体を鍛え、自立や社会参加を促すことを目的とした大会。大会を後援し、開催を支援した。

主催：東海聴覚障害者連盟、藤枝市

・第29回静岡オレンジマラソン大会

(11月14日・静岡県草薙総合運動場陸上競技場)

福祉を育てる民間運動行事の一環として、毎年行われている知的障害者のマラソン大会。大会を後援し、メダルを贈った。

主催：静岡県知的障害者福祉協会、静岡県手をつなぐ育成会、NPO法人 静岡県作業所連合会・わ

b. その他

・第32回中日ボランティア賞（贈呈式=10月21日・ホテルコンコルド浜松）

静岡県内で積極的なボランティア活動に取り組む団体を発掘するとともに、その活動を支援するため優秀な受賞団体に奨励金を贈る主催事業。静岡県、同県社会福祉協議会、同県ボランティア協会、浜松市が後援し、浜松市を除く後援3団体より26件の推薦があった。受賞7団体（静岡県西部3団体、中部3団体、東部1団体）



第32回中日ボランティア賞贈呈式=浜松市で

を選考委員会で決定。10月21日、ホテルコンコルド浜松で贈呈式を行い、賞状・奨励金(1団体150,000円)を贈った。

・年末助け合い運動（11月24日～12月28日・中日新聞東海本社ほか）

中日新聞東海本社と連携をとり、広く募金活動を展開した。寄付金は77件、総額で2,992,827円となった。

・生活保護家庭の中学生に図書カード贈呈（12月15日・静岡県西部地区）

静岡県西部地区在住で生活保護を受けている家庭の中学生233人（浜松市206人、湖西市2人、磐田市13人、袋井市6人、掛川市6人）に、激励として図書カード1人5,000円分を贈った。



生活保護家庭の小・中学生や保護者から寄せられた礼状の一部

・生活保護家庭の小学校新入学児童に図書カード贈呈

（28年2月12日・静岡県西部地区）

静岡県西部地区在住で新年度小学校へ入学する生活保護家庭の児童53人（浜松市47人、磐田市1人、袋井市3人、掛川市2人）に図書カード1人3,000円分を贈った。

・年末助け合い

第34回ふるさと知名人チャリティー色紙展

（12月2日～4日・遠鉄百貨店8階スペース8）

静岡県にゆかりのある知名人（画家・書道家・版画家など）から、チャリティーで作品提供を受け、展示中に来場者が1枚4,000円で購



市民らでにぎわう第34回ふるさと知名人チャリティー色紙展＝浜松市で

入、その売上金を寄付する主催事業。中日新聞東海本社と連携をとり、浜松市の遠鉄百貨店8階スペース8で開催。経費を除いた売上金（520,000円）の半額を年末助け合い運動資金に、半額を12月14日に静岡県社会福祉協議会に贈った。

・寿会ゴルフ大会（毎月1回・豊岡国際カントリークラブ）

高齢のゴルフ愛好者で構成される、寿会が開催する「寿会ゴルフ大会」を後援した。

主催：豊岡国際カントリークラブ

・第22、23回スズキビジネスチャリティーゴルフ大会

（7月16日、12月3日・いなさゴルフ倶楽部浜松コース）

地元企業が主催するチャリティーゴルフ大会。困窮している浜松市のペルー人学校を支援する目的で寄付を募って社会福祉活動に貢献しており、本大会を後援した。

主催：株式会社スズキビジネスチャリティーゴルフ大会実行委員会

・2015浜松市民チャリティーゴルフ大会inいなさGC

（10月7日・いなさゴルフ倶楽部浜松コース）

浜松市ゴルフ連盟が主催し参加費の一部を浜松市津波対策事業に寄付するチャリティーゴルフ大会。大会を後援し支援した。

主催：浜松市ゴルフ連盟

・静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成（5月・静岡県）

昭和52年に民間のボランティア活動推進機関として設立された静岡県ボランティア協会が平成19年4月に30周年を迎えた。これを記念し、同協会ではその後毎年年次レポートを発行しており、今年も助成金として50,000円を贈った。

主催：特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

・社会福祉事業資金造成 第32回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会

（28年3月16日・豊岡国際カントリークラブ）

豊岡国際カントリークラブで開催し、上位入賞者にトロフィーを贈呈。参加費の一部をチャリティー寄付金とし、88,000円の社会福祉事業資金が集まった。

・交通遺児義援金の贈呈（28年3月25日・浜松市）

浜松市および近郊在住の人々から寄せられた交通遺児義援金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ届けた。今年度は478,798円。

(3) 災害援護に関する事業

・災害義援金

読者からの東日本大震災義援金は23年3月11日の地震発生後5年目となった27年度も64件3,293,804円の寄付があり、発生から27年度末までに東海支部に寄せられた義援金は計4億8900万円を超えた。

このほか、4月25日に発生したネパール地震救援金には15件897,199円、台風18号の影響により9月10日に鬼怒川の堤防が決壊した関東・東北水害救援金には41件1,876,634円が寄せられ、本部を通じて被災地へ届けられた。

事業一覧

(東海支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
27年4月～ 28年3月	寿会ゴルフ大会	後援	豊岡国際カントリークラブ	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
27年5月	静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	静岡県
6/2021	第26回東海聴覚障害者体育大会	後援	東海聴覚障害者連盟 藤枝市	藤枝市民体育館ほか
7/8	「トリックアートとふしぎな視覚展」に 浜松市内児童福祉施設入所者招待(贈呈)	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市子ども家庭部 (展覧会開催=浜松科学館)
7/16	第22回スズキビジネスチャリティーゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネスチャリティー ゴルフ大会実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
8/20	第44回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	後援	静岡県児童養護施設協議会	湖西市みなと運動公園
10/7	2015浜松市民チャリティーゴルフ大会 in いなさGC	後援	浜松市ゴルフ連盟	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
10/21	第32回中日ボランティア賞贈呈式	主催	中日新聞社会事業団東海支部	ホテルコンコルド浜松 (浜松市)
11/14	第29回静岡オレンジマラソン大会	後援	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県手をつなぐ育成会 NPO法人静岡県作業所連合会・わ	静岡県草薙総合運動場 陸上競技場(静岡市)
11/24～12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団東海支部	中日新聞東海本社ほか
12/2～4	第34回ふるさと知名人チャリティー色紙展	主催	中日新聞社会事業団東海支部	遠鉄百貨店8階スペース8 (浜松市)
12/3	第23回スズキビジネスチャリティーゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネスチャリティー ゴルフ大会実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
12/15	静岡県西部地区生活保護家庭中学生に 図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
28年2/12	静岡県西部地区生活保護家庭 小学校新入学児童に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
2/14	第38回静岡県ボランティア研究集会	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	プラザヴェルデ コンベンション ホールBほか(沼津市)
3/16	社会福祉事業資金造成 第32回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会	主催	中日新聞社会事業団東海支部	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
3/25	交通遺児義援金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市役所
3/26	東日本大震災5年の集い ふじのくに三陸復興応援フォーラム	後援	東日本大震災5年の集い実行委員会	静岡県勤労者総合会館 (静岡市)

東京支部

本部および中日新聞社東京本社（東京新聞）と緊密な連携をとりながら、新聞の発行エリアである東京都を中心に、「東京新聞社会事業団」名義で活動を行った。

◇障がい者福祉事業

・第19回全日本IDバレーボール選手権大会

（8月15、16日・浦安市運動公園総合体育館）

全日本IDバレーボール大会が開催され、東京新聞・東京中日スポーツと東京支部が後援。副賞（参加チームから各1名に優秀選手賞）を贈呈した。

◇東日本大震災・東京電力福島第一原発事故関連事業

（1）避難者支援事業

埼玉県への避難者が地元住民らと立ち上げた交流サロンのうち、別表の団体に活動費用の一部、合計75万円を助成した。

活動地区	団体名・活動名称	代表者名	主な活動場所
埼玉県新座市	震災支援ネットワーク新座	谷森 櫻子	新座市・国家公務員住宅集会所
埼玉県越谷市	越谷避難者の会	石上 清	コーププラザ越谷 ほか
埼玉県所沢市	青空あおぞら	岡田 恭子 震災支援ネットワーク埼玉	所沢市公民館
埼玉県春日部市	春日部つながりカフェ	震災支援ネットワーク埼玉	コーププラザ春日部
埼玉県加須市	双葉町民によるボランティアカフェ	震災支援ネットワーク埼玉	いきいきサポートセンター （双葉町 社会福祉協議会加須事務所内）

◇福祉事業

・レイプクライシスセンターTSUBOMIに助成金

都内に本部を置き、男女性暴力被害者からの電話・メール・面接・法律各相談と裁判所や病院への付き添い活動を行っている「レイプクライシスセンターTSUBOMI」（望月晶子代表）に本年も48万円を助成した。助成は4年目。

◇資金造成事業

（1）年末助け合い運動

11月28日から12月28日まで東京本社と同支局などの協力を得て読者らに呼びかけた。期間中に27件、1,496,500円の善意が寄せられ、従来の4団体に加え、新たに関東地方にある児童福祉施設への助成を複数年かけて行う事とした。助成額は各団体10万円とし、残額は社会福祉のための資金とした。

【継続助成団体】あしなが育英会、交通遺児育英会、東京都社会福祉協議会・東京善意銀行、日本点字図書館

【児童福祉施設】恩賜財団慶福育児会・麻布乳児院、二葉乳児院、白百合ベビーホーム、聖園ベビーホーム、唐池学園ドルカスベビーホーム、鳳雄会・乳児院エンジェルホーム、聖愛乳児園、富士見乳児院、康保会玉淀園、愛育乳児園

（2）東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で大きな被害を受けた被災者への義援金を募るため、翌12日より東京本社と協力して実施。昨年度に引き続き、郵便振替、東京本社や支局、ショッパー社、中日新聞社友会東京支部の総会での募金など善意が多数寄せられ、今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた義援金は198件13,244,952円。また東京支部の所轄であり、大きく報道されていないが津波・ライフライン被害が大きく現在も義援金を受け付けている茨城県へ500万円を贈った。茨城県への贈呈額は総額1億1300万円。

（3）たまきはる福島基金

東京電力福島第一原発事故で避難を余儀なくされた人たちを経済的精神的に支援する同基金への寄託を社会事業団でも実施。今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた義援金は58件、995,226円。

(4) 東日本復興支援事業

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手・宮城・福島3県の行政ではできない復興支援活動の為、昨年度に続き、今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた支援金は25件、3,709,037円。

(5) 関東・東北水害救援金

平成27年9月に発生した関東・東北水害は本支部管内の茨城県と栃木県で大きな被害が出た。直ちに義援金募集を行い、両県に義援金を届けた。

事業一覧

(東京支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/1~3/31	NPO法人「レイプクライシスセンターTSUBOMI」 助成の件	共催	NPO法人「レイプクライシスセンターTSUBOMI」、 中日新聞社会事業団東京支部	東京都内(東京都千代田区)
4/1~3/31	平成27年度震災・原発事故避難者支援 事業助成金の件	後援	震災支援ネットワーク埼玉、 越谷避難者の会	埼玉県内各地
4/1~3/31	第18回「がんばれ先生！東京新聞教育賞」	後援	中日新聞社東京本社	東京新聞紙上
8/15~16	第19回全日本IDバレーボール選手権大会	後援	日本IDバレーボール連盟	浦安市運動公園総合体育館
10/3	第13回本間一夫記念 日本点字図書館チャリティコンサート	後援	社会福祉法人 日本点字図書館	東京文化会館 小ホール
10/7~9	第42回国際福祉機器展	後援	全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会	東京ビッグサイト東展示ホール
10/12	2015グリーンリボンランニングフェスティバル	後援	中日新聞社東京本社	駒沢競技場
11/13~15	第52回全国聾学校卓球大会 千葉大会	後援	全国聾学校体育連盟	千葉ポートアリーナ
2/1	年末助け合い運動募金の配分について	主催	中日新聞社会事業団東京支部	社会福祉法人 中日新聞社会事業団東京支部

岐阜支部

岐阜県内を対象に本部・中日新聞岐阜支社と緊密に連携、関係機関・各種団体などの協力を得て地域に密着した福祉事業を企画・実施した。

◇社会福祉事業

(1) 社会福祉事業に関する助成を行う事業

・社会福祉施設花いっぱい運動（5月23日・県内50社会福祉団体）

社会福祉施設の環境美化を図るとともに、心に潤いのある生活を願って、県内の各社会福祉施設に苗・種子・球根を贈り、運動の成果を冊子にまとめ関係者に配布し、施設の内容や頑張りを紹介した。

協力：岐阜県遊技業協同組合

岐阜県中日新聞販売店会

岐阜県内社会福祉事業協力会



施設紹介を兼ねた報告冊子

◇公益事業

(1) 保健医療相談事業

・心の病家族相談センター

（毎週火、木曜日・特定非営利活動法人岐阜県精神保健福祉連合会事務所）

精神疾患に伴う悩みを抱えている人に相談窓口「心の病」を開設し、精神疾患者や、家族の支援をした。

共催：特定非営利活動法人岐阜県精神保健福祉連合会

・薬物依存症医療相談の実施。

（毎月第2水曜日・特定非営利活動法人岐阜ダルク事務所）

薬物依存症自立支援団体「岐阜ダルク」の協力で、同症の自立支援および啓発活動として、薬物依存症患者に対しての電話相談を実施

共催：特定非営利活動法人岐阜ダルク

・介護者のつどいの実施（年間72回・中日新聞岐阜支社など県内7ヶ所）

認知症の介護経験を持つ相談員による介護相談を、認知症の人と家族の会の協力で、県内7ヶ所で年間72回開催。

共催：公益社団法人認知症の人と家族の会岐阜県支部

(2) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

a. 研修会

- ・中部地区母子寡婦福祉研修大会（9月6日・岐阜グランドホテル）他

b. 講演会

- ・犯罪被害者支援講演会（11月26日・大垣市情報工房）他

c. 講座

- ・視覚障害者への理解講演会（11月29日・恵那市総合センター）他

(3) 社会福祉の向上を目的とする事業

a. 各種スポーツ大会や文化的事業（障がい者）

- ・第13回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

（11月15日・岐阜市、メモリアルセンター長良川競技場）

障がいのある人も手軽に楽しむことができるグラウンド・ゴルフを通して、全国の障がい者が交流と親睦を深めるとともに、グラウンド・ゴルフの一層の振興及び障がい者の自立と社会参加の促進に資することを目的に開催。中日新聞社ヘリによる祝賀飛行と花束の投下もあった。



熱戦を繰り広げた、グラウンド・ゴルフ始球式

共催：岐阜県身体障害者スポーツ協会

連携：本部

- ・岐阜県知的障害特別支援学校チャレンジ陸上競技大会

（10月4日・岐阜メモリアルセンター長良川競技場）

岐阜県内の特別支援学校の児童・生徒に、広く陸上競技の進行を通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに、相互の親睦を深め、社会性を育てることを目的に開催。

後援：岐阜県特別支援学校体育連盟

- ・CPサッカー全日本選手権（10月17、18日・長良川メドウ）

CPサッカーの認知度を高め、組織強化に繋げ、肢体不自由者のスポーツ参加の機会を促進する目的で、脳性麻痺のサッカー全国大会を開催。

後援：日本脳性麻痺7人制サッカー協会

- ・第24回手話スピーチコンテスト（11月14日・中部学院大学各務原キャンパス）

聴者と聴覚障がい者の共生ができる社会をめざし、手話の普及と聴覚障害者福祉の推進を目的に、手話によるスピーチコンテストを開催。

共催：中部学院大学、(社)岐阜県聴覚障害者協会

・第68回全国盲人福祉大会（5月29日～31日・岐阜市、都ホテル）

全国の視覚障がい者が一堂に会し、直面する課題や、日常の社会的バリアの解消に向け討論。

後援：岐阜県視覚障害者福祉協会

b. 子育て支援事業

・中日劇場「コロッケ公演」招待
（10月18日・中日劇場）

岐阜県内の各種福祉団体関係者を、名古屋中日劇場で開催されていた「コロッケ公演」に招待した。当コロッケさんが母子家庭に育ったこともあって、当日は母子家庭の親子が楽屋訪問し、歓迎を受けた。



コロッケさんの楽屋を訪ねた親子

・岐阜市母子寡婦福祉大会（7月5日・岐阜市民センター）

・岐阜県母子・父子家庭観劇会（8月14日・ヒマラヤアリーナ）

・岐阜市内の母子家庭親子を東京ディズニーランド旅行へ招待

（8月21日～23日・東京ディズニーリゾート）

岐阜市内の母子家庭の親子を対象に夏休みの思い出作りを目的に、バス2台を用意し、東京ディズニーランド旅行に招待した。岐阜社会福祉事業協力会より同事業に指定寄付を受け、6月に中日新聞の紙面や岐阜市の広報を通じ募集し、2泊(車中)3日で実施。

共催：岐阜市母子寡婦福祉連合会



キャラクターと興じる参加親子

c. その他

・社会福祉団体共催金・助成金贈呈式（8月5日・中日新聞岐阜支社）

岐阜県難病団体連絡協議会など、岐阜県内の各種社会福祉団体19団体に対し195万円を、今年度の事業共催金・助成金として贈呈した。

・岐阜県縦断プロジェクト 高山→岐阜市（7月11日～12日・高山市→岐阜市）



岐阜県庁に到着、歓迎を受ける走者

下肢まひのパラリンピックアスリート2名が、岐阜県高山市から岐阜市まで160^{キロ}を、ハンドサイクル、競技用車いすで縦断し岐阜県内のバリアフリー状況を体験しながら、障がい者に対する理解を深め、ハンドサイクリング、競技用車いすの楽しさを伝えて走った。

後援：岐阜県縦断プロジェクト

・年末助け合い運動（11月24日～12月28日・岐阜支社管内）

岐阜県内の福祉施設や福祉団体の支援のため、中日新聞岐阜支社と各支局・通信局部、販売店などの協力を得て、中日新聞紙面を通じ年末助け合い運動を展開した。

・郷土の美術家ぎふ展（12月5日～9日・岐阜高島屋シネックスホール）

東海3県内で活躍する日本画・洋画・工芸・書の各部門の実力作家や人気作家の最新作150余点を販売、当日は開場前から100人ほどが並び好評を得た。また、今回試験的に閉会后ネット販売を実施、28年度実施への道を模索した。

・岐阜ダルクチャリティーコンサート（9月26日・カトリック多治見教会）

薬物依存症自立支援団体、岐阜ダルクの活動に対し、協賛した音楽活動家によるチャリティーコンサートを支援。

後援：岐阜ダルク

・各種作品展

アートステーションぎふ・特別支援学校作業作品展など支援。

（4）災害援護に関する事業

・自然災害発生の援護活動

東日本大震災・関東・東北災害やネパール地震災害・台湾地震災害などの自然災害発生に際し義援金の受付などを実施した。また、中日新聞の紙面を通じ広く読者に支援を呼びかけた。

（5）その他

・招待事業

長良川球場で行われたプロ野球や、大相撲名古屋場所、各種美術展・イベントの招待券を福祉関係者に贈呈した。

事業一覧

(岐阜支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/2他	「心の病」家族相談センター開設(毎週火・木)	共催	岐阜県精神保健福祉連合会	県精神保健福祉連合会 (岐阜市)
4/8他	介護者のつどい(72回開催)	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜中日ビルほか(岐阜市)
4/10他	薬物依存症医療相談(11回開催)	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜ダルク(岐阜市)
4/22	チャリティーライブ(10回開催)	後援	岐阜県歌謡研究会	スタジオ105(岐阜市)
5/23	岐阜県社会福祉施設「花いっぱい運動」贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県内50施設
5/29~31	第68回全国盲人福祉大会	後援	日本盲人会連合会	都ホテルほか(岐阜市)
7/5	岐阜市母子寡婦福祉大会	後援	岐阜市母子寡婦福祉連合会	市民センター(岐阜市)
7/11~12	岐阜県縦断プロジェクト高山→岐阜市	後援	第30回長良川国際トライアスロン大会 実行委員会ほか	岐阜県内高山市~岐阜市
7/24	聴覚障害者への理解講演会	後援	中日新聞社会事業団岐阜支部	総合福祉センター(多治見市)
7/15	大相撲名古屋場所に福祉施設関係者を招待	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	愛知県体育館(名古屋市)
8/5	社会福祉団体共催・助成金等贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日新聞岐阜支社(岐阜市)
8/14	岐阜県母子・父子家庭観劇会	後援	岐阜県母子寡婦福祉連合会	ヒマラヤアリーナ(岐阜市)
8/18~31	アートステーションぎふ	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日茶房(岐阜市)
8/20	プロ野球公式戦招待	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	長良川球場(岐阜市)
8/21~23	東京ディズニーランドバス旅行	共催	岐阜市母子寡婦福祉連合会	東京ディズニーランド
9/6	中部地区母子寡婦福祉研修大会	後援	全国母子寡婦福祉団体協議会	岐阜グランドホテル(岐阜市)
9/26	岐阜ダルクチャリティーコンサート	後援	岐阜ダルク	カトリック多治見教会 (多治見市)
10/4	長良川ふれあいマラソン	共催	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会	木曾三川公園特設会場 (海津市)
10/4	岐阜県知的障害特別支援学校チャレンジ陸上競技大会	後援	岐阜県特別支援学校体育連盟	メモリアルセンター(岐阜市)
10/7	第37回岐阜県精神保健福祉研修会	後援	岐阜県精神保健福祉連合会	わかくさプラザ(関市)
10/16~25	三匹の仕事師展	後援	森瀬和廣ほか	シネックスホール(高山市)
10/17~18	CPサッカー全日本選手権	後援	日本脳性麻痺7人制サッカー協会	長良川メドウ(岐阜市)
10/18	第36回岐阜県視覚障害者文化祭	後援	岐阜県視覚障害者協会	市役所地下市民ホール (高山市)
10/18	中日劇場「コロケ公演」チケット贈呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日劇場(名古屋市)
10/24	かがり火講習会	後援	NPO法人ぎふ要約筆記かがり火	中央青少年会館(岐阜市)
10/31	第49回身体障害者飛騨ブロック体育大会	後援	飛騨市身体障害者協会	萩原小学校(下呂市)
11/3~16	アートステーションぎふ	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日茶房(岐阜市)
11/8	第49回岐阜県中濃ブロック身体障害者体育大会	後援	岐阜県中濃ブロック身体障害者協会	美濃市運動公園陸上競技場
11/14	第21回中部手話スピーチコンテスト	共催	中部学院大学、 (社)岐阜県視覚障害者協会	中部学院大学(各務原市)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
11/15	全国身障者グラウンド・ゴルフ大会	共催	岐阜県障害者スポーツ協会	メモリアルセンター(岐阜市)
11/18	ドームやきものワールド招待	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	ナゴヤドーム(名古屋市)
11/24~12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜支社と管内支局通信局部 及び中日新聞販売店
11/26	犯罪被害者支援講演会	後援	ぎふ犯罪被害者支援センター	情報工房(大垣市)
11/29	聴覚障害者への理解講演会	後援	NPO法人ぎふ難聴者協会	総合センター(瑞浪市)
12/5~9	郷土の美術家ぎふ展	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	シネックスホール(岐阜市)
12/9~21	岐阜県関特別支援学校高等部作業製品展	後援	岐阜県関特別支援学校	中日茶房(岐阜市)
12/10	花いっぱい運動冊子配布および感謝状贈呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県内60施設、協力団体
12/17	生活保護家庭の新入学児に図書券進呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県庁
12/17	愛のともしび基金寄付	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県庁
2/17~29	アートステーションぎふ	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日茶房(岐阜市)

中日青葉学園

社会福祉法人中日新聞社会事業団中日青葉学園は、昭和35年4月、虚弱児施設として開設、児童福祉法改正に伴い、平成10年4月、児童養護施設に種別変更、平成15年10月、児童養護施設「あおば館」（定員70人）に新たに児童心理治療施設「わかば館」（定員35人）を加えた複合型児童福祉施設となった。園舎は平成15年、複合型施設に変わった際、全面改築し、あおば館は70人が男女別で集団生活する大舎制から、男女別で15人から18人が4つのグループで生活する中舎制に転換した。「社会的養護」は、児童を大きな集団で育てる「施設養護」から小さなグループで育てる「家庭的養護」へ変わり、あおば館は平成41年までに施設定員を45人とし、生活形態も全て小規模化する家庭的養護推進計画を立て、25年10月、中舎1ホームを小規模2ホームに改造したのを皮切りに、今後、計画に従い小規模化を進めていく。開設当初から、敷地内に日進市立日進中学校・北小学校の青葉分校として学習棟を設け、生活と教育を一体化して社会的養護が求められる児童の支援に当たっている。青葉分校も平成18年5月に建て替えた。

（1）安全安心

児童福祉施設は、虐待など不適切な関わりを受けた子どもたちを預かる場として、子どもたちが「安全で安心して暮らせる」場所であることが求められている。子ども同士の「いじめ」「暴力」には適切に対応、被害が大きくなるように努めるため、「安全安心委員会」の名のもとに、関係職員が連携を取り対応に当たっている。月1回の避難・消火指導を行い、児童全体会で安全マップをもとに学園敷地内の遊び方、自転車の正しい乗り方などを伝えている。業者が遊具点検、グラウンドネット修繕、排水溝整備などをした。

（2）権利擁護

被措置児童虐待防止が児童福祉法に盛り込まれたのを受け、児童間の暴力、職員から児童への不適切な関わりがないように、最優先事項として取り組んでいる。11月の全職員意識レポートなどを通じ、権利擁護への取り組みを再確認した。児童全員が集まる毎月の全体会で①要望や苦情を口頭でも書面でもいつでも伝えてほしい②苦情を言っても不利益にならないと話している。7月、中央児相が児童にミニレターを配布した。

（3）合同職員研修

あおば館、わかば館両館の職員を対象に毎月の合同会議にあわせ研修を行っている。4月(27年度事業計画、県子育てプラン)5月(新入所児童ケース)6月(事業報告、決算)7月(食中毒・熱中症対策、被措置児童虐待防止)9月(入所児童

支援マニュアル)10月(外部講師保護者のためのスマホ教室)11月(マイナンバー)12月(安全委員会、ノロウイルス、インフルエンザ対策)1月(28年学園目標)2月(28年事業計画)3月(第三者評価受審結果)。6月、2班に別れ、児童養護施設「名古屋養育院」を見学した。

アスペ・エルデの会事務局長宮地菜穂子さんが講師となり「スタッフトレーニング」(ST)を両館職員を対象に7回開いた。正しい現状把握(アセスメント)の方法、課題設定の基礎(自立支援計画の策定方法)、具体的な支援方法、自己覚知を促し、よりよい他者理解につなげるチームワーク支援の重要性とコツを理解するなど、現場サイドの視点から方法論を学び援助技術の底上げを図った。

中央児童・障害者相談センターから講師を招き、1月に「被措置児童虐待防止」、2月に「児童面接・聞き取り」について話を聞いた。虐待防止に向け、職員としてどのように向き合えば良いかを豊富な経験と分析に基づき事例を交えながら講義を受け、「虐待はいつでも、誰でも起こしうる」問題であると認識した。面接・聞き取りは「何のために」「何を目的とし」「誰のために」を明確にし、入所児童が話をして良かったと思える展開が職員に求められることを学び、日々のケアワーク全てが、面接・聞き取り時に気をつけなければならない事柄を含んでいることを確認した。受講後、参加職員全員によるレポート提出を実施した。

中央児童・障害者相談センターが児童福祉司向けに作成した「施設入所児童支援マニュアル」を冊子にして職員に配布、児相と施設の協働に理解を深めた。

(4) ボランティア

福祉サービスの援助者として、また、地域に開かれた施設作りの一つとして学園ではボランティア活動に力を入れており、ボランティア組織「青葉友の会」が次のような活動を続けている。

▽「竹の子会」 毎月第3月曜日に多目的ホールで児童の理美容奉仕。活動55年に当たり、感謝状贈呈と懇親会開催▽「児童英語サークル」 月2回、名古屋外国語大学生の英語教室▽「園十会」 月2回、パンジー、チューリップなど季節の花壇づくり▽「ライラック」月8回児童の洗濯物や、衣類の繕い(児童インフルエンザ発症時は休止)▽「クローバー」 月4回、大学生が幼児と小学生と遊ぶ▽「若葉グループ」 社会人が青葉まつりなど各種行事への協力。

日本フラワーデザイナー協会愛知県支部が12月5日、クリスマスリース教室、3月18日、フラワーアレンジ教室を開いた。中日森友隊が12月12日、正面通路横植え込み整理と雑木林下草刈り活動。いちご動物園が3月25日来園。

(5) 恒例行事

夏の目的別活動。▽A班 岐阜県飛騨小坂(小学生)▽B班 静岡県竜ヶ岩洞など(あおば小学生)▽C班 伊那市など(わかば)▽D班 若狭海水浴(中・高

生)▽E班 岐阜県高鷲(幼児)一の5グループに分かれ、両館合同の活動では、子どもたちが行事を通して交流した。

第19回青葉まつりは10月31日、退園生、保護者、地域の子どもたちも集まり、全日本アミューズメント施設営業者協会連合会協力の無料ゲームや子どもたちが運営する模擬店などを楽しんだ。舞台では、あおば、わかば両館の児童が10台の和太鼓で共演した。クリスマス会は愛知中央ライオンズクラブ、もちつき大会はボランティアの協力を得て行った。

(6) 巣立ちの会

退園を祝う「巣立ちの会」を3月19日、開いた。ことしの対象者は、高校卒業し専門学校へ進学するあおば館女子1人、就職するあおば館男子1人、女子1人、わかば館男子1人。中学を卒業、家から進学するわかば館男子1人、女子1人。3人が思い出の写真を見ながら学園生活を振り返り、職員に感謝の気持ちを伝えた。

(7) 問題行動・事故

この1年間に、運動中事故3件(軽傷3人)、ガラス破損2件(軽傷1人)、小中学生の性化行動6件、自転車・バイク事故2件(軽傷2人)、児童間トラブル4件、児童の職員への威嚇・暴力5件、万引き2件、自傷行為4件、侵入盗1件があった。事案ごとに安全安心委員会として「聞き取り、背景分析、当事者への指導、関係者への報告・謝罪、再発防止検討」をした。

(8) 苦情・意見

「遊具を増やして」「いじめられる」「職員が嫌だ」など投書があった。遊具は、今あるものを利用し、今後の検討とする。また、内容から特定できるものは、職員が関係児童に面談、その都度対応に当たっている。児童相談センターへのミニレター1件は、該当職員と児童の個別の関係で、修復が進んでおり、児相の了承を得た。6月中旬、保護者から「子どもが痩せた。虫歯がある。蚊に刺されている」と苦情があった。毎月の健康診断では特に異常はなく、虫歯も治療中。蚊取り対策を講じた。10月末、青葉まつりの会場撤収時、フォークリフトの運用が適切でないとの指摘があり、今後、注意する。

(9) 指導監査

愛知県の指導監査が10月にあり▽児童手当の授与につき、一部書面の不備▽会計面で指名競争入札、リース契約についての指摘があり、是正する措置を取った。労働基準局の監査が2月にあり、指摘事項はなかった。

(10) 学園見学

自治体、学校など次のような施設見学があった。▽7月、愛知総合看護福祉専門学校50人▽8月、愛厚ならわ学園分校▽9月 清須市母子支援相談員30人

▽10月、浜松市民生児童委員30人▽11月、あま市民生児童委員30人12月、愛知
大学法科生7人

(11) 職員表彰

▽特別表彰 わかば館山本秋子心理士、村野知世保育士、辻本千絵美児童指導員。9月上旬、中学生2人の問題行動に際し、迅速に対応し、他の模範となった。▽あおば館川上知幸指導係長 中央児童相談センター施設現状分析を中心となって取りまとめた。▽あおば館加藤有美子児童指導員、瀧本恵保育士 全国秋季セミナーを受講、性・生に関する支援について全職員が見直す機会を作った。▽あおば館野村花枝・篠原江里児童指導員、角谷ひとみ保育士 青葉通信マイホーム自慢執筆特別賞。▽わかば館加藤千聖児童指導員、横井佑太心理士 ドックヒーリングについて日本子ども虐待防止学会第21回学術集会新潟大会で発表。▽わかば館児童指導員大嶋昭範 特別に対応の難しい児童を丁寧にケア。▽第37回音楽の集い東三河大会運営チーム(代表・あおば館浅田将義心理士) 和太鼓同好会初発表、器楽演奏、幕間コントが協調して大会を盛り上げた。

▽勤続表彰 田崎慎太郎事務長(40年)早崎幸代わかば館主任保育士(20年)浅田将義あおば館心理士(10年)磯輪美香、金山千穂美調理員(5年)。

▽愛知県社会福祉協議会会長感謝状 川上知幸指導係長、阿尾匡晃同、鵜飼直樹主任指導員、竜栄貴同、山内早苗主任心理士(あおば館)伊藤洋一主任指導員、岡部匡俊主任心理士(わかば館)園原基治事務主任、有田道子調理員。

(12) 施設整備

館内照明を蛍光灯から効率の良いLEDに切り替え、両館職員室コピー、ファクス複合機更新、専門業者に不要書類の処理を依頼、児童の寝具(リース)を中舎ホームでふとんからマットに変更、小規模ホームはふとんをリースから購入に変更、あおば館園車1台リース更新、あおば館3ホームで冷蔵庫、掃除機更新(CBCチャリティ利用)、栄養管理ソフト更新。

(13) 調理

児童嗜好アンケートを継続し、メニュー作りに生かしている。「食育」としてあおば館ホームで職員が子どもと一緒に夕食作り、わかば館では、女子ホームでおやつ作りをしている。また、ホームキッチンの衛生状態、冷蔵庫の使用状況をチェック、賞味期限切れの食品がある場合は注意するなど衛生管理に当たった。牛乳をビンから紙パックに変更、食材納入業者を一部見直した。

(14) 大学等進学支援

社会事業団の大学等進学支援として、大学、専門学校へ進学したあおば館4人、わかば館1人、あおば館退園生1人の計6人に前年度に引き続き支援金を給付した。うち1人は専門学校を中退、大学に入り直し福祉の道に進む。

(15) 外部との関わり

園長が日進市社会福祉協議会理事、尾張東部圏域保健医療福祉推進会議・尾張部虐待防止連絡会議・日進市保育推進委員会・日進市民生委員選定各委員、28年1月から、愛知警察署の警察署協議会委員を。わかば館長、事務長、指導療育部長兼あおば館指導課長、わかば館指導課長、あおば館指導係長が大学、専門学校で福祉関係者を養成する講座での非常勤講師を。あおば館指導課長、あおば館心理士があおば館での大学、大学院の心理士研修講師を務めた。あおば館わかば館両指導係長が日進市要保護児童対策協議会ネットワーク会議、わかば館指導係長が日進市障害者自立支援協議会子ども部会に参加、地域との連携を深めている。わかば館指導係長が名古屋市教育委員会の依頼を受け、名古屋市立高校で発達障害を含む障害のある生徒に対する就労支援指導・助言に当たった。

11月、日進市健康福祉フェスティバルに出展、パネルで学園紹介をした。

(16) 第三者評価

第三者評価は3年に1回受審が義務付けられ、27年度、評価基準が変更された。前回受審した25年度から2年だが、新しい基準をもとにあおば館は福祉サポートセンター、わかば館は愛知県社会福祉協議会福祉サービス第三者評価事務所に依頼、受審した。「養育治療・支援の基本方針と組織」「施設の運営管理」「適切な養育治療・支援の実施」など86-87項目にわたり評価があり、その結果をケアの改善につなげる。

(17) その他

6月、あいち小児保健医療総合センター主宰の「性の問題について考える会」を開き、施設、病院、児関係者45人が参加した。10月、元中日ドラゴンズ選手・小田幸平さんが来園、子どもたちと昼食を取った後、グラウンドでソフトボールを指導した。

くらちゃんハウスが青葉まつりで模擬店を出したり、年度末の日帰り旅行で「ナガシマスパーランド」へ一緒に行くなどファミリーホーム支援連携をした。

中央児童・障害者相談センターから専門里親研修1人7日間を受け入れた。

児童養護施設あおば館事業報告

あおば館は、中舎(15人)3ホームと小規模ユニット(8人)2ホーム。中舎は2階男子「けやき」3階男子「ひのき」女子「もみじ」。小規模は2階「しらかば」(女子小学生以上人)「さくら」(男女幼児人)。寺井陽一指導療育部長兼指導課長のもと、川上知幸、阿尾匡晃指導係長をはじめ職員21人(うち2人心理士、職員配置最低基準見直しで1人増)、パート職員5人が児童のケアに当たった。

(1) 入所実績

あおば館定員は70人。この1年間に新たに14人(男子10人、女子4人)が入所、15人(男子11人、女子4人)が退所。

27年4月、小学校へ3人(男子1人、女子2人)、中学校へ5人(男子2人、女子3人)、高校へ4人(男子2人、女子2人)それぞれ入学した。28年3月、小学校を5人(男子4人、女子1人)、中学校を5人(男子3人、女2人)、高校を3人(男子1人、女子2人)が卒業。中学校を卒業した5人は高校へ進学、高校を卒業した2人は就職、1人は専門学校に進学した。高校生2人(男子)が退学した。

26年度延べ入所者は21,227人。一時保護は19人、延べ472日。日進市、豊明市、東郷町の子育てショートステイ事業の対象者はなかった。

(2) 生(性)教育(安全安心)委員会

児童間のトラブル、性的な問題についてその都度、安全委員会として取り上げ、情報を共有、関係児童を指導して事が大きくなる前に芽を摘むようにしている。CAP暴力防止プログラムとして職員・幼児・小学低学年・同高学年各ワークショップを、児童間暴力問題の対応としてセカンドステップを取り入れた。このほか、男女別に小グループで性教育を、性的問題を起こした関係児童に対しては、加害者には指導・再教育、被害者には心のケアを行った。他児への暴力対応として男女各1人が一時保護所で一定期間、指導・教育を受けた。

(3) 食育委員会

月1回、各ホームの職員、栄養士、調理員が集まり、「残食を減らす。おいしく楽しく食事するためのマナー向上」について取り組んでいる。調理部と現場(子ども、職員)間で情報交換し、「子どもの声を調理部へ、調理部の声を子どもへ」と相互理解を深めている。また、各ホームで子ども、調理員、現場職員が夕食(ハンバーグ、ギョウザなど)作りをした。メニューを子どもとともに考え、買い物に行き、一緒におかずを作り、家庭的雰囲気の中で食事をした。

(4) 心理対応

常勤2人、非常勤1人の心理士3人体制。カウンセリングやプレイセラピー、

SST（怒りのコントロール）などの個別心理療法を19人に実施。小学生高学年に対して、集団心理療法「心の教室」を15回、「心の勉強会」を9回実施した。進路支援として中学生、高校生を対象に「進路発見応援セミナー」を開催し、職業適性検査を受けた。中学3年生5人には進路相談、面接練習をし全員が高校へ進学した。また、学園近くの椙山女学園大学心理臨床相談室の協力で3人が同大学へ赴き、心理療法を受けた。

（5）個別対応と家庭支援

個別対応職員と家庭支援専門員が児童と保護者の支援に当たっている。個別対応として被虐待児童28人に細やかな生活援助を実施、家庭支援は保護者と児童が再び一緒に暮らせるよう関係調整を進めていくもので11人が家庭復帰した。保護者がいても都合で帰省できない児童について、わかば館家族療法室や退所支援施設「のぞみ」で保護者と児童が生活を共にした。

（6）退所者支援

退所後、就職したが、対人関係から退職した1人について生活場所の確保、再就職など立ち直りを、専門学校に進んだが、中退した1人が大学進学するのを支援した。退所後、応援が必要な男女5人の支援を継続している。お盆、年末年始など中長期休暇期間には退所者が来園、退所支援施設「のぞみ」などで宿泊した。

（7）職員研修

職員の援助技術の向上を図るため、全国児童養護施設協議会、中部児童養護施設協議会、愛知県社会福祉協議会、愛知県児童福祉施設長会、全国児童養護問題研究会、子どもの虹情報研修センター主催の各種研修、子どもの虐待防止セミナー、性教育、心理職研究会などの研修に参加した。

（8）実習生

実習生受け入れは保育実習67人、社会福祉援助技術実習13人、心理実習24人、介護等体験12人、栄養士1人の計117人。

（9）学習

高校進学を目指す中学生8人が近くの塾へ通い、3人が学園内で家庭教師の形で学習指導を受けた。名古屋外国語大学ボランティアの英語教室（隔週）には小中学生が参加した。

（10）スポーツ活動

8月の児童福祉施設入所児童夏季球技大会（県児童福祉施設長会主催）では、ソフトボールで準優勝。卓球は中高生男子の部で3位入賞した。12月のサッカー交流会では準優勝、施設長会フットサル大会で優勝した。2月の親善マラソン大会では、小低男子で3位、小高男子で2、6位、中高女子で2位に入賞した。

(11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「社会福祉実習の受け入れ」「教員養成介護体験」「福祉人材育成」「福祉避難所」「被虐待児の受け入れ」「一時保護」「里親支援」「退所児童支援」の8項目で8.5ポイントを得た。

(12) 子ども会

地域との交流活動として、小学生（希望者7人）が市場町側子ども会に加入、ドッジボール・キックベースボール大会、運動会、清掃活動、夏・冬のお楽しみ会、歓送迎会に参加した。学園マイクロバスでの移動、担当職員の審判派遣などの協力に対し、日進市子ども会連絡協議会から感謝状を受けた。

(13) 現状分析

中央児童・障害者相談センターが進めている施設機能強化策第2弾として、前年度の職員研修「施設の現状と課題」「施設内不適應の理解と対応」に続き、現状分析を受けた。児童の構成、職員体制、過去の事例・対応から見える課題を洗い出し、全職員が共有し、今後のケアにつなげる。

児童心理治療施設わかば館事業報告

青葉学園は一つの理念のもと、あおば館との連携の強化を図り、夏の目的別活動など両館児童の合同行事に積極的に参加をした。

わかば館は、「もえぎ」(男子)「あさぎ」(女子)(いずれも2階)の2ホームで生活、食事は1階食堂でとる。石垣儀郎課長以下、指導員、保育士12人(職員配置最低基準見直しで1人増)、心理5人(同1人増)、看護師1人、パート職員2人が支援している。

暫定定員を解消し安定経営を目指して臨んだ年度であったが、女子2人のスタッフルーム侵入、別の女子2人の激しい自傷行為、男子1人の児童・職員への暴力など厳しい対応に追われた。

(1) 入退所実績

わかば館定員は35人。この1年間に新たに12人(男子8人、女子4人)が入所、11人(男子5人、女子6人)が退所した。27年4月、中学校へ4人(男子1人、女子3人)が入学した。28年3月、小学校を3人(男子3人)、中学校を4人(男子2人、女子2人)が卒業。中学校を卒業した4人は高校へ進学、男子1人と女子1人は家庭復帰し、残りの男女2人はわかば館から通学する。

高校を卒業した男子はグループホームに入所し、就労支援A型を活用しながら自立の道を目指す。

27年度延べ入所者は9,139人。一時保護は4人(男子2人、女子2人)延べ864日。

(2) 心理対応

不登校や情緒不安定な児童のほか、最近は発達障害児や重篤な虐待を受けた児童が増え、生活場面で特別な配慮が求められることが多くなっている。心理職5人がわかば館1階の治療棟で入所児童全員を対象に、小学生は週1回、中学生は隔週1回、箱庭・遊戯療法の心理治療や心理教育プログラムを、高校生には随時、カウンセリングを行った。

また、非常勤の精神科医3人には児童との面談、カンファレンスへの出席、行事への参加など、多様な側面から児童との関わり持って頂いた。児童の状態の見立てや療育方法についてのスーパーバイズを受けた。加えて、職員との面談を通して職員のメンタルヘルスについてもアドバイスを受けた。

(3) 家庭支援

児童一人一人のケアプランに従って生活指導、心理治療に当たっているが、成育歴など状況を調査検討するインテークを実施し家庭復帰に備えた。

被虐待児童が増えたことから、家族再統合に向け家庭支援専門員と生活担当職員が保護者支援にあたり、1人が社会自立し4人が家庭復帰を果たした。

(4) 児童支援

中学を卒業し、高校へ進学した児童については、入学準備金などの公的な社会資源の調整を図った。

医療機関との連携も密に行い、毎月1回9人の児童が通院（あいち小児保健医療総合センター、北津島病院、上林記念病院、月下香庵）し治療効果を向上させた。同センターでの年1回の定期カンファレンス（援助検討会）と虐待ネットワーク会議7回には職員4－5人が参加、日々の療育、心理社会的治療に役立てた。

日々の取り組みでは、男子女子児童ともに、「わかばの暮らしをよくするためのルール作成実行委員会」を組織し、自分たちの生活の向上を目指し実行委員を児童選挙で選出し、日課について話し合い入浴時間などの見直しを行った。また、暴力についての解決方法を話し合った。

(5) 職員研修

児童指導員、保育士、心理士、看護師21人が、全国情緒障害児短期治療施設協議会が主催する研修会をはじめ、専門性の高い各分野の研修に参加。受講後は、職員会議でその成果を発表、情報共有に努めた。

中部ブロックの児童心理治療施設5施設との共同研修として心理部会を年2回、生活部会を年2回、持ち回りで開き、交流を深めながら具体的なケース報告を指導にいかした。また、中部ブロック職員研修運営委員会は伊藤指導員が研修運営委員として活動した。

新潟で開催された第21回日本虐待防止学会学術集会で動物介在療法（ドッグヒーリング）の実践から「児童福祉施設での被虐待児童への療育療法」として3人の職員が発表を行い、高い関心と評価を得た。

(6) 実習生

実習生受け入れでは、保育士実習で大学生30人が8－10日間と、社会福祉士実習で13人の学生が15日間に1人と24日間に12人、合わせて43人（延べ477日間）の実習を行った。

(7) 学習

担当職員、学習ボランティアのアドバイスを受けながら高校受験に向けて中学3年生女子2人と、大学の英語の先生が英語教室のスタイルで学習指導を実施し、成績向上につながった。

(8) 生活訓練

家庭復帰や就職しての寮生活に向け家族療法室を使い、買い物、調理、洗濯など日常生活を体験したりバス、地下鉄の切符を自分で購入する外出のほか、児童がスーパーで材料を購入、自分たちで料理やお菓子を作った。

「ドッグヒーリング」による動物介在療法を取り入れ、小学生を中心に犬との

温かい触れ合いを通して、癒し効果と待つことや相手に合わせることを学ぶことができるようになってきた。

(9) スポーツ活動

愛知県児童福祉施設入所児童夏季球技大会（県児童福祉施設長会主催）では、ソフトボール2部に1チーム参加し初戦突破の健闘を見せた。卓球は個人戦に3人が参加し、ベストを尽くしてよく頑張った。

親善マラソンには11人が参加し、全員が完走を果たした。

(10) 和太鼓同好会

わかば館児童7人とあおば館児童13人の参加を得て、青葉祭りなど各種のイベントの機会を通して太鼓演奏を披露している。言語で表現が苦手な児童には太鼓を叩く・リズムに合わせて音楽を奏でることで、相互の協調性や連帯感を育むことに寄与し生活にはりと意欲を生み出している。

(11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「福祉人材育成」「教員養成介護体験」「福祉避難所」「社会福祉実習受け入れ」「一時保護委託の実施」の5項目で5.5ポイントを上げた。

中日青葉学園人員構成

▽職員構成・職員数（平成28年3月1日）

あおば館 (児童養護施設)	人員	担当職務
館長（学園長）	1	運営管理
指導療育部長（課長兼務）	1	統括（わかば館兼務）
事務長	1	事務統括（わかば館兼務）
指導係長	2	生活指導（統括）
主任指導員	2	生活指導
指導員・保育士	12	生活指導
心理士	2	心理治療（生活指導）
事務員	1	経理事務（生活指導兼務）
栄養士	1	栄養管理
給食係	4	給食実務
嘱託医	1	健康診断
非常勤・パート	4	生活指導補助、心理治療、幼児教育
小計	32	
わかば館 (情緒障害児短期治療施設)	人員	担当職務
館長	1	運営管理
医師（非常勤）	4	医療業務
指導課長	1	指導統括
指導係長	1	生活指導（統括）
主任指導員・保育士	2	生活指導
指導員・保育士	9	生活指導
看護師	1	健康管理
主任心理士	1	心理統括（生活指導）
心理士	4	心理治療（生活指導）
事務	1	経理事務
給食係	3	給食実務
非常勤・パート	2	生活指導補助
小計	30	
合計	62	

▽児童数（平成28年3月1日）

施設別	性別	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
あおば館	男子	1	9	8	8	1	27
	女子	6	10	6	5		27
わかば館	男子		8	5	2	1	16
	女子		2	7	2		11
計		7	29	26	17	2	81

中日青葉学園主な行事

開催日	事業名
4月 6日	北小学校入学式(3人)
7日	日進中学校入学式(9人)
24日	青葉分校スポーツフェスティバル
29日	退園生、退職職員交流の「第5回つつじの会」
5月2～5日	GW外出・名古屋市内、陶芸体験など
6日	マリオカート学園訪問
25日	施設長会総会・児相センター長合同会議
29日	社会事業団理事会で26年度決算・事業報告承認
6月3～5日	中部児童養護施設協議会金沢大会参加
13日	青葉スポーツ大会、ボランティア活動
20日	児童健康診断
26日	性の問題について考える会開催
7月 2日	熱中症・食中毒対策、被措置児童虐待防止の園内研修
18日	安藤産業マイクロバス寄贈式
21、22日	目的別活動A 飛騨小坂
23、24日	目的別活動B 竜ヶ岩洞など、C 伊那市
26、27日	目的別活動D 若狭湾
30、31日	目的別活動E 高鷲
8月 1日	あおば館劇団飛行船白雪姫招待
5日	高校生交流会Ⅰ部参加
19日	施設長会卓球大会参加
21日	施設長会ソフトボール大会参加
26、27日	高校生交流会Ⅱ部参加
21、28日	ボウリング招待
9月 14日	竹の子会理美容奉仕
18日	日進中学校体育大会
21、22日	シルバーウィーク外出(ボウリング、ジブリ展など)
25日	清須市母子支援相談員見学
10月 1日	職員スマホ教室
3日	北小学校運動会
6日	福祉の星フォーラム参加

- 10日 ベタニヤ幼稚園運動会
- 14日 県監査
- 30日 日進中学校文化祭
- 31日 第19回青葉まつり
- 11月 7日 中部善意銀行USJ招待
- 8日 日進市健康福祉フェスティバルに出展
- 14日 愛知韓国青年商工会焼肉訪問
- 16日 北小学校学習発表会、竹の子会55周年で感謝状贈呈
- 21日 音楽の集い東三河大会に参加
- 12月 5日 NFDクリスマスリース教室
- 12日 中日森友隊園内整備
- 13日 ドラゴンズ大島選手来園
- 22日 スケート招待、クリスマス会
- 25日 フットサル大会あおば館優勝、社事団理事会
- 30日 もちつき大会
- 1月 1日 猿投神社初詣
- 16、17日 伊那スキー村に参加
- 17日 ポップサーカス岡崎公演招待
- 19日 児童ホーム部会被措置児童虐待防止研修会
- 27日 被措置児童虐待防止研修会(中央児相)
- 2月 2日 寿し正さんの恵方巻き
- 6日 中部善意銀行テーブルマナー教室
- 7日 親善マラソン大会に参加
- 15日 さくらあんぱんまんミュージアム。竹の子会55年感謝懇親会
- 20日 あおば館3階ナガシマスパーランド
- 27日 わかば館ナガシマスパーランド
- 3月 1日 高校・特別支援学校卒業式(4人)
- 4日 日進中学校卒業式(9人)
- 13日 けやきナガシマスパーランド
- 18日 北小学校卒業式(8人)、UFJ銀行ライフプランセミナー
- 19日 巣立ちの会・お別れパーティ、ベタニヤ幼稚園卒園式(2人)
- 20日 しらかば伊勢旅行
- 25日 いちご動物園来園

主な行事の写真



ゴールデンウィーク外出(5月2日)



ゴールデンウィーク外出(5月5日)



マリオカート学園訪問(5月6日)



青葉スポーツ大会(6月13日)



安藤産業様マイクロバス寄贈(7月18日)



目的別活動川遊び(7月21日)



目的別活動バーベキュー(7月23日)



目的別活動海水浴(7月26日)



施設長会卓球大会(8月19日)



施設長会ソフトボール大会(8月21日)



日進中学校体育大会(9月18日)



職員スマホ教室(10月1日)



北小学校運動会(10月3日)



中部善意銀行USJ招待(11月7日)



竹の子会55年感謝状贈呈(11月16日)



寿し正さん恵方巻き(2月2日)



施設長会マラソン大会(2月7日)



年度末外出ナガシマスパーランド(3月20日)



北小学校卒業式(3月18日)



いちご動物園来園(3月25日)

高額寄付(一般)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
(株)さなる	名古屋市	全ヤマナカ労働組合	名古屋市
(株)ふじや本店	四日市市	愛知日産自動車(株)	名古屋市
愛知県美容業生活衛生同業組合	名古屋市	桜渕ニューイヤーズミーティング	新城市
名古屋競馬(株)	名古屋市	タスキハムクラブJE2ZLW	北名古屋市
中央電気工事(株)	名古屋市	税理士法人 のぞみ	名古屋市
宗教法人名古屋ハリストス正教会	名古屋市	清川喜男	名古屋市
庄内川ゴルフ倶楽部	名古屋市	福島厚子	名古屋市
みなと医療生活協同組合	名古屋市	愛知県ボウリング場協会	稲沢市
ヤマトホールディングス(株)	東京都	ミッドランド税理士法人アライアンス	岐阜市
(株)名古屋三越	名古屋市	さなげカントリークラブ	豊田市
あいち知多農業協同組合	常滑市	青山学	四日市市
(社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	(公社)日本ダンス議会中部総局	名古屋市
ジュニアチャリティカップ実行委員会	名古屋市	名古屋福祉支援チャリティーゴルフ	名古屋市
知多信用金庫	半田市	おおやま歯科医院	名古屋市
二科会東海支部	岡崎市	(株)サンセイテクニカルサービス	名古屋市
(株)三清社	名古屋市	(株)リカーマウンテン	京都市
(株)木村屋シオン会館	江南市	(株)アプロコーポレーション	名古屋市
デポー(株)	海津市	ナゴヤアドベンチャーマラソン実行委員会	名古屋市
近藤総一郎	名古屋市	近藤産興(株)	名古屋市
国際ソロプチミスト名古屋	名古屋市	新・洋竜会	四日市市
加藤等	名古屋市	(株)カナオコーポレーション	尾張旭市
大野つぎ子	名古屋市	中日ドラゴンズ昇竜会	名古屋市
東郷産業(株)	名古屋市	協栄会・協友会	東海市
松本三良記念福祉会	東海市	昼川三津男	刈谷市
名古屋トヨペット(株)	名古屋市	中部日本書道会	名古屋市
宗教法人妙巖寺	豊川市	名古屋中ロータリークラブ	名古屋市
(株)真城ホールディングス	名古屋市	新東工業(株)	名古屋市
トヨタ紡織係長会・職長会	刈谷市	安藤滴水	名古屋市
黒野清宇	名古屋市	碧海信用金庫碧友会	安城市

高額寄付(一般)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
AIRG(あいある)	名古屋市	尾西作家協会河出幸之助	一宮市
(株)コロムビア	稲沢市	五月会	名古屋市
名古屋千種ロータリークラブ	名古屋市	稲沢市職員互助会	稲沢市
トヨタカローラ愛知(株)	名古屋市	伏見稲荷大社 三重県大安支部	いなべ市
藤田保健衛生大学病院	豊明市	岡崎美術協会	岡崎市
(社)名古屋東法人会	名古屋市	清水屋春日井店	春日井市
愛知県中古自動車販売商工協同組合	飛島村	名古屋駐車場案内システム協会	名古屋市
日本特殊陶業(株)	名古屋市	鞍馬山 別院弘恵寺	豊田市
愛知県経済農業協同組合連合会	名古屋市	(株)丸栄	名古屋市
(社)愛知県LPガス協会	名古屋市	島村秀	西尾市
加藤好章	刈谷市	ネットヨタ中部(株)	名古屋市

高額寄付(一般)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

北陸支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
こばと保育園・第2こども園	小松市	石川交通(株)	金沢市

東海支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
浜松仏教会	浜松市	アベル(株)	浜松市
竹林寺 手作りバザーの会	浜松市	浜松現代書作家展	浜松市
第34回ふるさと知名人チャリティー色紙展	浜松市	静岡第三同志会	袋井市
浜松倉庫(株)	浜松市	(株)佐野 善行の会	袋井市
竜ヶ岩洞	浜松市		

東京支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
匿名	川崎市	坂東流坂東会	千代田区
匿名	豊島区	「小さな親切」運動ちばぎん支部	千葉市

岐阜支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
岐阜県歌謡研究会	岐阜市	NTTボランティアひまわり	岐阜市
三匹の仕事師	岐阜市	岐阜県遊技業協同組合	岐阜市
ぎふ国際高校	岐阜市	中部書道会	岐阜市
小島修	岐阜市	ロータス岐阜	岐阜市
ゾンタクラブ	岐阜市	GIFUクラフトフェア事務局	岐阜市
指定寄付自動車教習所協会	岐阜市	岐阜県中日会	岐阜市

高額寄付(災害・指定)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
熊谷電工株式会社	彦根市	ネパール地震救援金
大須観音 宝生院	名古屋市	ネパール地震救援金
大須観音 参詣寄付者	名古屋市	ネパール地震救援金
渡辺 登美子	知立市	ネパール地震救援金
三永(株) KarL Park Lane	名古屋市	ネパール地震救援金
中部鋼鉄(株)	名古屋市	ネパール地震救援金
名古屋競馬(株)	名古屋市	ネパール地震救援金
高橋晃	豊橋市	ネパール地震救援金
矢作建設工業(株)	名古屋市	ネパール地震救援金
矢作建設工業(株) 社員ご一同	名古屋市	ネパール地震救援金
ネパールを愛しむ仲間の会	碧南市	ネパール地震救援金
東海レディス・プラザ	江南市	ネパール地震救援金
日本車輜労働組合	名古屋市	ネパール地震救援金
(株)フィールコーポレーション	名古屋市	ネパール地震救援金
(株)真城	名古屋市	関東・東北水害救援金
カネ美食品(株)	名古屋市	関東・東北水害救援金
寺澤松郎・康江	名古屋市	関東・東北水害救援金
PSM協力会	名古屋市	関東・東北水害救援金
渡辺登美子	知立市	関東・東北水害救援金
名古屋競馬(株)	名古屋市	関東・東北水害救援金
中日ドラゴンズ選手会	名古屋市	関東・東北水害救援金
ナゴヤドーム来場者有志御一同	名古屋市	関東・東北水害救援金
トヨタホーム愛知(株)	名古屋市	関東・東北水害救援金
愛知県更生保護女性連盟	名古屋市	関東・東北水害救援金
佐藤 義徳	みよし市	関東・東北水害救援金
愛三工業労働組合	大府市	関東・東北水害救援金
浅野潔	津島市	関東・東北水害救援金
東海学園高等学校生徒会	名古屋市	関東・東北水害救援金
(株)フィールコーポレーション	名古屋市	関東・東北水害救援金
渡辺登美子	知立市	台湾地震救援金
中央電気工事(株)	名古屋市	東日本復興支援金
熊谷定實	愛西市	東日本復興支援金
協栄興業(株)	東海市	東日本復興支援金
株式会社 アサヒハウジング	日進市	東日本復興支援金
大日本アガ(株)	名古屋市	東日本復興支援金
山本博	東海市	東日本復興支援金

※東日本大震災義援金指定の高額寄託者は、多数のため省かせていただきました

高額寄付(災害・指定)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
高津修市	名古屋市	東日本復興支援金
愛知県美容業生活衛生同業組合	名古屋市	東日本復興支援金
(株)豊田自動織機	刈谷市	大相撲名古屋場所招待
名古屋溜会	名古屋市	大相撲名古屋場所招待
成田山名古屋別院大聖寺	犬山市	難病者激励金
成田山 索の会	犬山市	難病者激励金
おおやま歯科医院 大山吉徳	名古屋市	たすけあい名古屋ほか
桑名石取祭保存会	桑名市	あしなが育英会(震災遺児支援)
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	脳外傷友の会みずほ
無量寺	蒲郡市	愛知健康づくり振興事業団
セントポーリアの会	日進市	国連難民高等弁務官事務所
名古屋栄ライオンズクラブ	名古屋市	日本介助犬協会
アントニオ古賀とゆかいな仲間	名古屋市	中部盲導犬協会
川島倭文子	名古屋市	中部盲導犬協会
徳弘妙子	名古屋市	中部盲導犬協会
福島厚子	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知県中古自動車販売商工組合	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知日野自動車(株)親和会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
岩瀬清	幸田町	中日青葉学園
今枝久美子	名古屋市	中日青葉学園

※東日本大震災義援金指定の高額寄託者は、多数のため省かせていただきました

高額寄付(災害・指定)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

東海支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
松浦梱包輸送(株)	掛川市	ネパール地震救援金
松浦梱包輸送(株) 社員一同	掛川市	ネパール地震救援金
新井吉明	磐田市	関東・東北水害救援金
株式会社ユタカ技研	浜松市	関東・東北水害救援金
松浦季秋	掛川市	関東・東北水害救援金
松浦梱包輸送(株)	掛川市	関東・東北水害救援金
ネットヨタ浜松(株) 懇話会	浜松市	交通遺児義援金

東京支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
匿名	さいたま市	たまきはる福島基金
匿名	中央区	東日本復興支援金
匿名	あきる野市	東日本復興支援金
匿名	八王子市	東日本復興支援金
横田浩史	武蔵野市	東日本復興支援金
匿名	豊島区	関東・東北水害救援金
本浄寺	豊島区	関東・東北水害救援金
匿名	文京区	関東・東北水害救援金
質屋21協同組合	墨田区	関東・東北水害救援金
匿名	狭山市	関東・東北水害救援金
佐山あや子	川崎市	関東・東北水害救援金
野口明洋・智代	足立区	関東・東北水害救援金
(株)中日新聞社東京本社広告局	千代田区	関東・東北水害救援金
城南信用金庫	品川区	関東・東北水害救援金
匿名	世田谷区	ネパール地震救援金
匿名	中央区	ネパール地震救援金
匿名	豊島区	ネパール地震救援金
(一社)川崎市子ども会連盟	川崎市	ネパール地震救援金
本浄寺	豊島区	台湾地震救援金
匿名	豊島区	南太平洋サイクロン被害

※東日本大震災義援金指定の高額寄託者は、多数のため省かせていただきました

高額寄付(災害・指定)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)敬称略、順不同

岐阜支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
NPO法人長良川走ろう会	岐阜市	たまきはる福島基金
岐阜県少林寺拳法	岐阜市	東日本復興支援金
十六銀行	岐阜市	東日本復興支援金
NPO法人長良川走ろう会	岐阜市	東日本復興支援金
佐藤クリニック	八百津町	ネパール地震救援金
美濃加茂市立西中学校	美濃加茂市	関東・東北水害救援金
マルエイグループ	岐阜市	台湾地震救援金
(株)東和製作所	美濃加茂市	台湾地震救援金
岐阜県遊技業協同組合	岐阜市	花いっぱい運動へ
岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市	花いっぱい運動へ

※東日本大震災義援金指定の高額寄託者は、多数のため省かせていただきました

社会福祉法人 **中日新聞社会事業団**

	所 在 地
本 部 事 務 局	〒460-8511 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号 中日新聞名古屋本社内 Tel. 052-221-0580 Fax. 052-221-0839
北 陸 支 部	〒920-8573 石川県金沢市駅西本町二丁目12番30号 中日新聞北陸本社内 Tel. 076-233-4644 Fax. 076-233-7831
東 海 支 部	〒435-8555 静岡県浜松市東区薬新町45番地 中日新聞東海本社内 Tel. 053-421-6217 Fax. 053-421-5987
東 京 支 部	〒100-8505 東京都千代田区内幸町二丁目1番4号 中日新聞東京本社内 Tel. 03-6910-2520 Fax. 03-3503-1438
岐 阜 支 部	〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地 中日新聞岐阜支社内 Tel. 058-265-0283 Fax. 058-263-7010
児童養護施設・情短施設 中日青葉学園	〒470-0131 愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164 Tel. 0561-72-0134 Fax. 0561-74-2315